SONY

デジタルビデオカメラレコーダー | DCR-DVD301

2-186-668-02 (1)

SONY

取扱説明書

はじめにお読みください
準備
撮る
見る
ディスクを他機で再生する
VRモードで使う
パソコンとつなぐ
テレビやビデオとつなぐ
設定を変える
故障かな？と思ったら
その他
各部のなまえ・索引

デジタルビデオカメラレコーダー
HANDYCAM

DCR-DVD301

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

お使いになる前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

録画・録音について

- 事前に必ずためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。DVD-Rでは1度記録した内容は消去できませんので、ためし撮りにはDVD-RW（別売り）のご使用をおすすめします。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権保護のための信号が記録されている映像を本機で録画することはできません。

液晶画面、ファインダーおよびレンズについて

- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

静止画の互換性について

本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“Design rule for Camera File systems”に対応しています。

他機との接続についてのご注意

USBケーブルで、本機とパソコンを接続する場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

本書について

液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

電波障害自主規制について

> この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
>
> 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カールツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

* Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）の略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

他機でのディスク再生について

本機で録画したDVD-RやDVD-RWを他機で再生するには、ファイナライズ処理を行います。ファイナライズを行うと、本機以外のDVDプレーヤーでも再生できるようになります。

ファイナライズの方法について詳しくは、「ファイナライズする」（62 ページ）をご覧ください。

VIDEOモードで録画したディスクのとき

すべての録画を終えてからファイナライズを行ってください。VIDEOモードのディスクをファイナライズすると、その後の録画はできなくなります（DVD-RWの場合、ファイナライズ解除をすれば、追加の録画ができます）。

VRモードで録画したDVD-RWのとき

VRモードはDVD-RWでのみ使える記録フォーマットです。他のDVD-RW対応プレーヤーで再生できない場合に、ファイナライズを行います。VRモードのディスクはファイナライズしたあとも本機で録画を続けて行うことができます。

再生可能な他機：DVD-RWのVRモード対応のDVDプレーヤー

ご注意

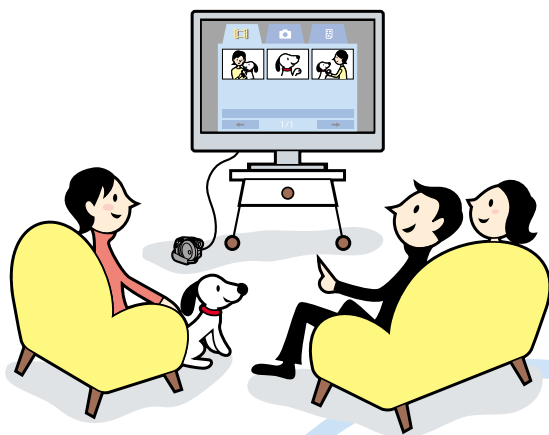
- ファイナライズを行っても、ディスクの状態や再生するDVD プレーヤーの仕様、ピックアップの状態によっては、再生できない場合があります。

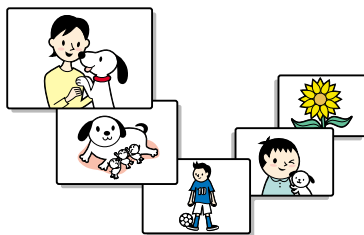
はじめにお読みください

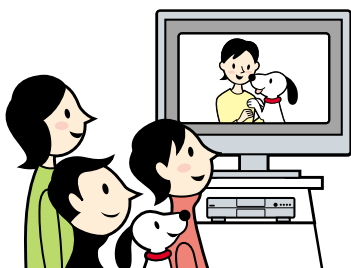
DVDハンディカムでできること

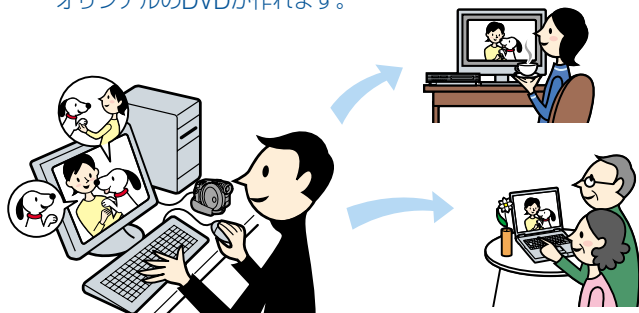
DVDハンディカムでは、DVD-RやDVD-RWに映像を記録します。
テープとはまた違う、新しい楽しみが広がります。

見たい場面は、ビジュアルインデックス画面で、すばやく探せます。

ディスクに記録した動画や静止画を一覧表示することができます。
見たい場面は、一覧表示から探すことができます。

撮影した静止画をスライドショー再生できます。

静止画を次々と表示するスライドショー再生ができます。ファイナライズをすればDVDプレーヤーなどでもスライドショーをお楽しみいただけます。

撮影したディスクは、DVDプレーヤーでも再生できます。

ファイナライズをすれば、家庭用DVDプレーヤーなどのDVD-RやDVD-RWを再生できる機器で見ることができます*1。

パソコンとつなげば、かんたんにコピーしたり編集したりできます。

付属のImageMixer Ver.1.5 for Sony DVD Handycam*2を使うと、そのまま新しいディスクにコピーできるので、いろいろな人にお楽しみいただけます。
また、パソコンでDVDの映像をかんたんに編集して、オリジナルのDVDが作れます。

*1 お使いのプレーヤーの仕様によっては再生できない場合があります。

*2 ImageMixer Ver.1.5 for Sony DVD Handycam は、Windows にのみ対応しています。

DVD-RとDVD-RW、何がちがう？

DVDハンディカムで使うディスクについての疑問にお答えします。

使えるディスクは？

8cm DVD-Rと8cm DVD-RWの2種類です。

ディスクの使い分けは？

8cm DVD-Rと8cm DVD-RWは、記録できる回数が違います。用途に応じて使い分けてください。

8cm DVD-R

DVD-Rは、1回だけ記録できます。

長期保存や複製用に適しています。

VIDEOモードで記録されます。

推奨ディスク：ソニー DMR30（片面記録ディスク）
ソニーDMR60DS（両面記録ディスク）

8cm DVD-RW

DVD-RWは、繰り返し上書きして記録できます。

編集素材や一時的な記録に適しています。

VIDEOモードとVRモードの2つの記録フォーマットを選べます。

推奨ディスク：ソニー DMW30（片面記録ディスク）
ソニーDMW60DS（両面記録ディスク）

上記以外の規格やサイズのディスクは、本機では使えません。

本機で使用できないディスクの例

- 12cm DVD-R
- 12cm DVD-RW
- DVD+R
- DVD-RAM
- DVD+RW
- DVD-ROM
- CD-R
- CD-RW

VIDEOモードとVR（Video Recording）モードについて

VIDEOモード

録画した映像を、より多くの機器で再生できる記録フォーマットのこと。

VRモード

本機での簡易編集ができる記録フォーマットのこと。再生できるプレーヤーが限られます。

再生できる機器は？

撮影後のディスクをファイナライズ（62ページ）すると、他機で再生できます。
8cm DVD-Rと8cm DVD-RWでは、再生できる機器の条件が違います。下記は再生できる機器の例です。すべての機器での再生互換を保証するものではありません*1。

DVD-R（VIDEOモードのみ）

DVDビデオに対応した機器で再生できます。

DVDプレーヤー/DVDレコーダー

DVDドライブ内蔵パソコン

DVD-RW（VIDEOモードの場合）

DVD-RWに対応した機器で再生できます。

DVDプレーヤー/DVDレコーダー

DVDドライブ内蔵パソコン

DVD-RW（VRモードの場合）

VRモードに対応したDVDレコーダーなどで再生できます。

DVDプレーヤー/DVDレコーダー

DVDドライブ内蔵パソコン

かんたんディスク選び

- 録画した映像は絶対に消したくない → **DVD-R**のご使用をおすすめします
- 同じディスクを繰り返し使用したい
  - DVDプレーヤーで再生したい → **DVD-RWにVIDEOモード**で記録することをおすすめします
  - 本機で編集したい → **DVD-RWにVRモード**で記録することをおすすめします

*1 本機で記録したDVD-R/RWディスクは、家庭用DVDプレーヤー、パソコンのDVDドライブ、"PlayStation 2"、および"PSX"で再生できます。*2

*2 すべての家庭用DVDプレーヤー、パソコンのDVDドライブ、"PlayStation 2"、および"PSX"での再生を保証するものではありません。DVDプレーヤー、DVDドライブ、およびゲーム機の種類によっては、光学読みとり装置の機能の制限と、信号の方式の違いのために再生できないことがあります。詳しくは、お使いの再生機器の取扱説明書で、再生可能な記録方式をご確認ください。

DVDハンディカムの使いかたの流れ

準備する

✎ **新しいディスクを用意します。**

- DVD-Rはそのまま使えます。
- DVD-RWは初期化が必要です（71ページ）。

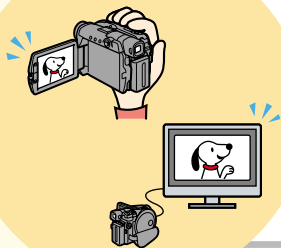
一度使ったDVD-RWを再利用するときも初期化します。

✎ **DVD-RWのときは、記録モード（VIDEOモードかVRモード）を選びます（6ページ）。**

撮る

✎ **静止画も動画も1枚のディスクに一緒に記録されます。**

テープと異なり、自動的にディスクの空いた場所に記録されるので、大切な録画データに誤って上書きすることはありません。ファイナライズをすれば、すぐにDVDプレーヤーなどで再生できます。

見る

✎ **ビジュアルインデックスで見たい場面を選んで再生します（54ページ）。**

ファイナライズすれば、DVDプレーヤーなどでも再生できます。

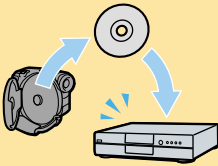
右ページにつづく

編集する

✎ パソコンとつなぎ、付属のソフトウェアを使えば、撮影したディスクのコピーが作れます。

パソコンの推奨使用環境は85ページをご覧ください。

✎ パソコンで編集して、オリジナルDVDが作れます（99ページ）。

ファイナライズする

✎ 他のDVD機器で再生できるようにするには、ディスクをファイナライズ（互換処理）します。

ファイナライズ後は、ディスクの種類や記録フォーマットによっては、追加記録・編集や初期化ができなくなる場合があります。

	追加記録	編集	初期化
DVD-R (VIDEOモード)	×	×	×
DVD-RW (VIDEOモード)	○*1	×	○*3
DVD-RW (VRモード)	○*2	○*2	○*3

*1　ファイナライズ解除が必要。
*2　ファイナライズ解除は不要。
*3　記録内容は消えます。

目次

はじめにお読みください

DVDハンディカムでできること 4
DVD-RとDVD-RW、何がちがう？ 6
DVDハンディカムの使いかたの流れ 8

準備

準備1 電源を準備する 14
バッテリーを取り付ける/取りはずす 14
取り付けたバッテリーを充電する 15
バッテリーの使用状況を確認する
– バッテリーインフォ 17
コンセントにつないで使う 17
準備2 電源を入れる 18
準備3 画面とファインダーを調整する 19
液晶画面の角度と明るさを調整する 19
ファインダーを見やすく調整する 21
準備4 日付・時刻を合わせる 22
準備5 ディスクを準備する 24

撮る

撮影の前に 26
動画を撮る 27
録画モードを選ぶ 29
ズームする 31
対面撮影する 32
静止画を撮る 33
画質や画像サイズを選ぶ 35
連写する 38
明るさを調節する 40
逆光補正する 40
手動で明るさを調整する 40
暗い場所で撮影する – NightShot plus（ナイトショットプラス）など 42
NightShot plus（ナイトショットプラス）を使う 42
Super NightShot plus（スーパーナイトショットプラス）を使う 42
Color Slow Shutter（カラースローシャッター）を使う 43

撮る

セルフタイマーを使う 44
- 動画を撮影する 44
- 静止画を撮影する 44

横長の画面にする – ワイドTVモード 45
自然な色あいに調整する – ホワイトバランス 47
状況に合わせて撮る – プログラムAE 48
手動でピントを合わせる 49
演出効果を加えて撮る 50
- 効果的な場面転換をする – フェーダー（動画のみ）.. 50
- 演出効果を加えて撮る 51

撮影直後に内容を確認/削除する 53
- 直前に撮影した場面を確認する – レビュー 53
- 直前に撮影した場面を削除する（DVD-RWのみ）..... 53

見る

本機でディスクを再生する 54
- 場面を選んで見る – ビジュアルインデックス 54
- いろいろな再生 56
- 再生中に撮影データを表示する－画面表示機能 57
- 撮影した画像を拡大する － 再生ズーム 59
- 静止画を順番に自動再生する － スライドショー 60

テレビにつないで見る 61

ディスクを他機で再生する

ファイナライズする 62
- ディスクのタイトルを変える 64
- DVDプレーヤーなどの機器でディスクを再生する ... 66
- パソコンのDVDドライブでディスクを再生する 67

ファイナライズ後に追加撮影する – ファイナライズ解除（DVD-RW、VIDEOモードのみ）........ 69
ディスクを再利用する – 初期化（DVD-RWのみ）........ 71

VRモードで使う（DVD-RWのみ）

本機での再生順を選ぶ – プレイリスト 73
動画または静止画をプレイリストに登録する 73
ディスク内のすべての静止画を1つの動画に変換する（フォトムービー作成） 75
プレイリストから不要な場面をはずす 76
見たい順番に場面を並べ換える 77
プレイリストに登録した動画を分割する 79
プレイリストを再生する 80
オリジナルの静止画・動画を編集する 82
動画を分割する 82
場面を削除する 83

パソコンとつなぐ

本機とパソコンをつなぐ – はじめに 85
パソコンの推奨使用環境 85
USBドライバをインストールする 86
ソフトウェアをインストールする 87
本機をパソコンにつなぐ 88
ソフトウェアのオンラインヘルプを使う 93
画像をパソコンで見る 94
ディスクの画像を見る 94
複製ディスクを作る – ディスクダビング 96
パソコンから新しいディスクにコピーする 96
画像を編集して保存する 98
動画を編集する 98
画像をパソコンに保存する 98
オリジナルディスクを作る 99
メニューを作る 99
コンテンツを編集する 100
ディスクに書き込む 101

テレビやビデオとつなぐ

他のビデオへダビングする 102
　ビデオを接続する 102
　テープにダビングする 103
ディスクにテレビやビデオからダビングする 104
　テレビやビデオに接続する 104
　映像端子を選ぶ 104
　録画する 105

設定を変える

お買い上げ時の設定を変える 106
　各設定項目の説明 107

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら 114
自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら 122
警告表示 123
こんなメッセージが出たら 124

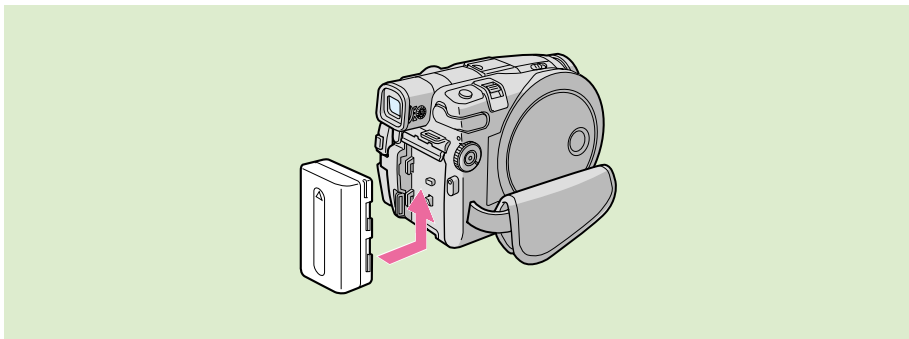
その他

ディスクについて 126
InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて 127
海外で使う 128
取り扱い上のご注意とお手入れ 130
保証書とアフターサービス 132
主な仕様 133

各部のなまえ・索引

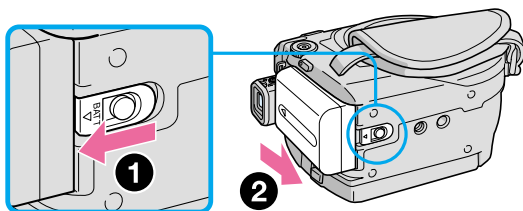
各部のなまえ 135
索引 140

準備1　電源を準備する

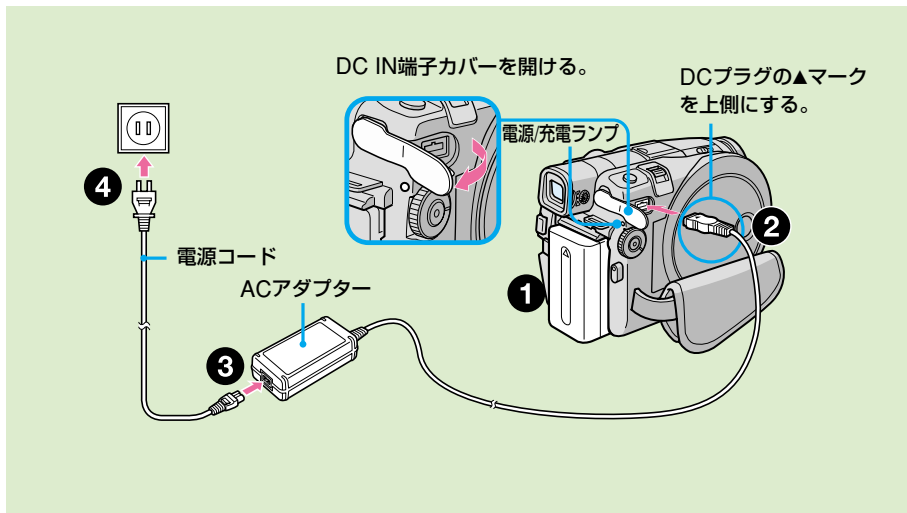
バッテリーを取り付ける/取りはずす

バッテリーを取り付けるには、バッテリーを押しながら、カチッとロックするまで矢印のように上へずらす。

本体から取りはずすには

❶ BATT（バッテリー）取りはずしボタンを押しながら、矢印の方向へずらす。

❷ バッテリーを下にずらして取りはずす。

BATT（バッテリー）取りはずしボタン

取り付けたバッテリーを充電する

本機の電源には、**"インフォリチウム" バッテリー（Mシリーズ）**を使用します（127ページ）。それ以外のバッテリーはお使いになれません。

ご注意

- ACアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターは、コンセントの近くでお使いください。ご使用中に不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 次の場合、電源/充電ランプが点滅することがあります。
  - バッテリーが正しく取り付けられていない。
  - バッテリーが故障している。

1 本機にバッテリーが取り付けられていることを確認する。

2 ACアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACアダプターのDCプラグの▲マークを上側にしてつなぎます。

3 電源コードをACアダプターにつなぐ。

4 電源コードをコンセントにつなぐ。

充電が始まります。電源/充電ランプがオレンジ色に点灯し、終わるとランプは消えます（満充電）。

バッテリーの充電が終わったら

DCプラグをDC IN端子から抜きます。

次のページへつづく

ご注意

- バッテリー残量の表示時間が充分なのに電源がすぐに切れるときは、バッテリーを満充電すると残量が正しく表示されます。
- バッテリーの使用可能時間は、周囲の温度によって変わります。周囲の温度が著しく低いときは、20分程度の使用可能時間が表示されていても録画できないことがあります。このときは、バッテリーを満充電してください。
- NP-FM30は撮影可能時間が短いため、本機でのご使用はおすすめできません。

*1
使い切ったバッテリーを25℃（10～30℃推奨）で充電したときの時間（約　分）。周囲の温度によっては、充電時間が長くなることがあります。
*2
満充電したバッテリーを使ったときの目安時間（約　分）。
*3
録画、スタンバイ、電源の入/切、ズームを繰り返したときの撮影時間の目安。実際の撮影時間はそれよりも短くなることがあります。

充電時間（満充電）*1

バッテリー	満充電時間
NP-FM50（付属）	150
NP-QM71/QM71D	260
NP-QM91/QM91D	360

ファインダー使用時の撮影可能時間*2

バッテリー	連続撮影時	実撮影時*3
NP-FM50（付属）	115	55
NP-QM71/QM71D	285	140
NP-QM91/QM91D	430	215

液晶画面使用時の撮影可能時間*2

液晶画面バックライトボタンが「入」のとき

バッテリー	連続撮影時	実撮影時*3
NP-FM50（付属）	105	50
NP-QM71/QM71D	265	130
NP-QM91/QM91D	400	200

液晶画面バックライトボタンが「切」のとき

バッテリー	連続撮影時	実撮影時*3
NP-FM50（付属）	120	60
NP-QM71/QM71D	300	150
NP-QM91/QM91D	455	225

再生時間*2

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-FM50（付属）	115	125
NP-QM71/QM71D	285	305
NP-QM91/QM91D	430	465

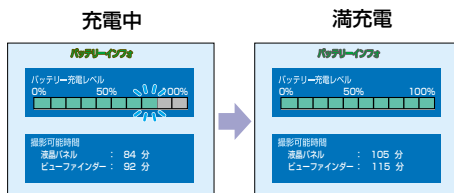
ご注意
- バッテリーインフォは本機の電源が入っているときは表示されません。
- 次の場合、バッテリーインフォが表示されないことがあります。
  – バッテリーが正しく取り付けられていない。
  – バッテリーが故障している。
  – バッテリーが消耗している。
- バッテリーインフォで表示される数値は目安としてお使いください。
- ［チェック中です］と表示されたときはバッテリー残量を計算しています。しばらくすると残量が表示されます。
- バッテリーインフォボタンを押してから、バッテリー残量が表示されるまでしばらく時間がかかることがあります。

ご注意
- バッテリーを付けたままでも使えます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。
- 本機の電源が入っていなくても、本機に接続されたACアダプターがコンセントに接続されている間は、電源は供給されています。

バッテリーの使用状況を確認する – バッテリーインフォ

1 **OPENボタンを押しながら液晶画面を開く。**

2 **画面表示/バッテリーインフォボタンを押す。**

バッテリー充電レベル（バッテリー残量のパーセンテージ）と、液晶画面とファインダー使用時の撮影可能時間を数秒間表示します。

コンセントにつないで使う

バッテリー切れの心配なく使えます。

1 **ACアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。**

DC IN端子カバーを開け、ACアダプターのDCプラグの▲マークを上側にしてつなぎます。

2 **電源コードをACアダプターにつなぐ。**

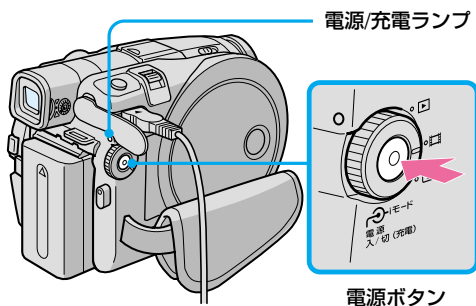
詳しくは15ページをご覧ください。

3 **電源コードをコンセントにつなぐ。**

準備

準備2 電源を入れる

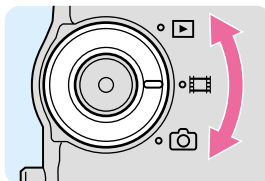
電源ボタンを数秒間押す。

本機の電源が入り、電源/充電ランプが緑色に点灯します。初めて電源を入れたときは、液晶画面に［日時あわせ］画面が表示されます。

電源を切るには

もう一度、電源ボタンを数秒間押す。

電源が切れると電源/充電ランプが消えます。

モードダイヤルを切り換えるには

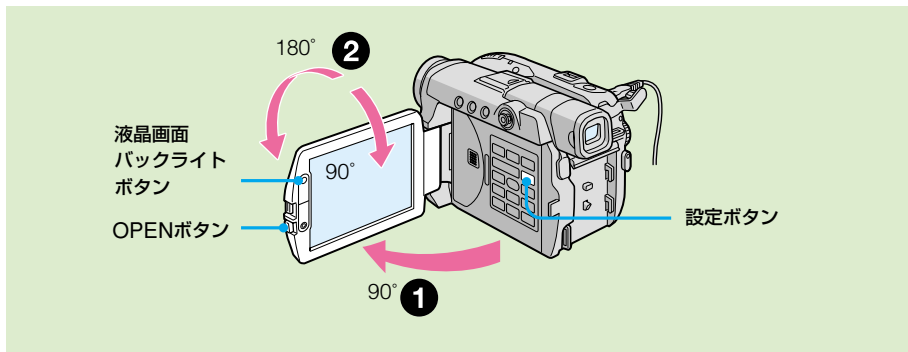
撮影や再生をするときは、目的に合わせてモードダイヤルを回転させる。

▶（見る/編集）：
撮影した動画や静止画を本機の画面で見るときや、簡易編集（VRモードのみ）をするとき。

（動画）：
動画を撮影するとき

（静止画）：
静止画を撮影するとき

準備3 画面とファインダーを調整する

液晶画面の角度と明るさを調整する

液晶画面を見やすい角度に調整します。

ご注意

- 撮影時/撮影スタンバイ時に液晶画面を外側に向けて本体に閉じたときは、[パネルバックライト]は[明るさノーマル]に固定されます。

ちょっと一言

- パネルバックライトの明るさは、バッテリーを取り付けている場合、設定画面の（パネル/VF設定）で変えられます（109ページ）。
- [パネル明るさ]、[パネルバックライト]、[パネル色のこさ]は、調整してもディスクに記録される画像に影響はありません。
- 液晶画面バックライトボタンは、通常は｢入｣にして使用します。屋外など明るい場所で使うときに｢切｣にするとバッテリーを長持ちさせることができます。
- 液晶画面バックライトを「切」にすると、画面にOFFが表示されます。

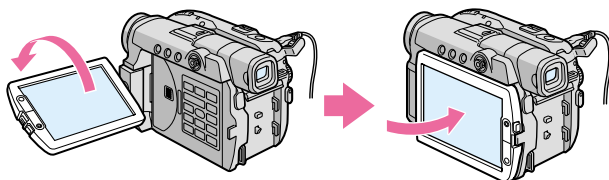
1 OPENボタンを押しながら液晶画面を開く。

2 見やすい向きに画面の角度を調整する。

角度を調整する場合は必ず90°まで開いた状態で行ってください。

下のイラストのように、液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

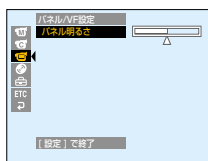
180°回転させる。　閉じる。

次のページへつづく

液晶画面の明るさを調整するには

❶ **設定ボタンを押す。**

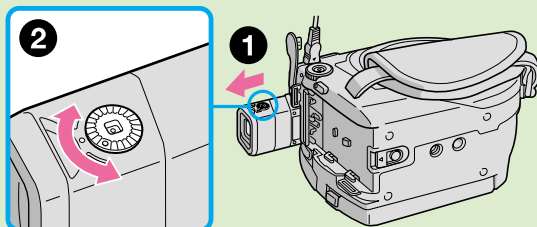
❷ **マルチセレクターで （パネル/VF設定）を選び、押して決定する。**
マルチセレクターの使い方については22ページをご覧ください。

❸ **マルチセレクターで［パネル明るさ］を選び、押して決定する。**

パネル/VF設定
パネル明るさ
ETC
［設定］で終了

❹ **マルチセレクターで見やすい明るさに調整し、押して決定する。**
－：暗くする。
＋：明るくする。
液晶画面が調整した明るさに設定されます。

❺ **設定ボタンを押す。**
設定画面が消えます。

ファインダーを見やすく調整する

液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。

視度調整つまみ

ちょっと一言

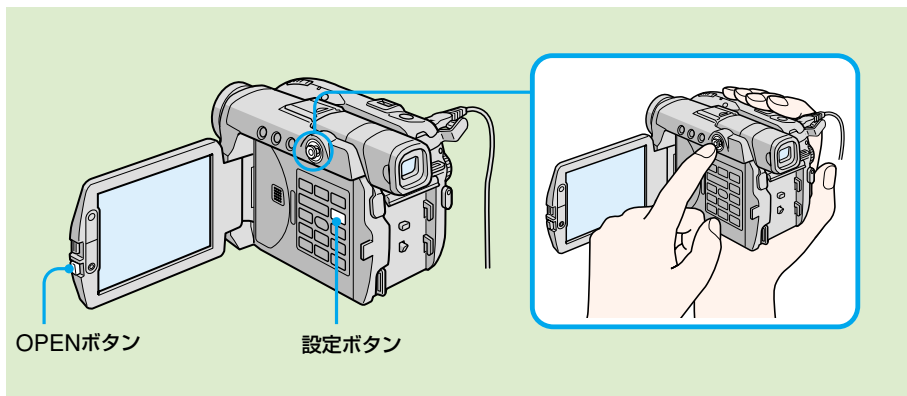
- 容量の大きいバッテリー（NP-QM91/QM91D）を使うときは、ファインダーを伸ばして見やすい角度に調整してご使用ください。
- ファインダーのバックライトの明るさは、バッテリーを取り付けている場合、設定画面の （パネル/VF設定）の［VFバックライト］で変えられます（109ページ）。
- ［VFバックライト］は、調整してもディスクに記録される画像に変化はありません。
- 次のときはファインダーでの撮影をおすすめします。
  - 液晶画面で画像を確認しづらいとき
  - バッテリー切れが心配なとき

1 ファインダーを伸ばす。

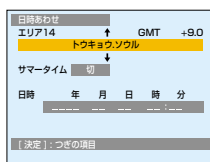
2 自分の視力に合わせて視度調整つまみを動かし、ファインダー内の文字がはっきりみえるように調整する。

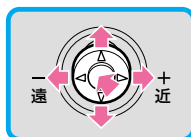
準備4 日付・時刻を合わせる

本機を初めて使うときは、日付・時刻を設定してください。エリア→サマータイム→年→月→日→時→分の順で合わせます。日時を設定しないと、電源を入れたり、モードダイヤルを切り換えたりするたびに［日時あわせ］画面が表示されます。

3か月近く使わなかったときなどは、内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合は、充電式ボタン電池を充電してから設定し直してください。（131ページ）

1 OPENボタンを押しながら液晶画面を開く。

2 電源ボタンを数秒間押して、電源を入れる。

日時あわせ画面が表示されます。

3 マルチセレクターでエリア（使用する地域）を選び、押して決定する。

マルチセレクター

上下左右に傾けて項目を選択し、中央を押して決定します。

ちょっと一言

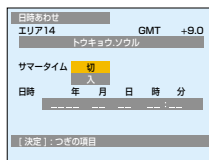
- 手順2で［日時あわせ］画面が表示されないときは、設定ボタンを押して表示される設定画面から（初期設定）→［日時あわせ］を選びます。

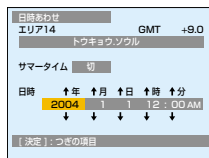
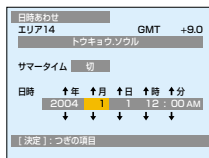
ご注意

- 日時合わせの画面では、項目を戻すことはできません。設定する項目を間違えた場合は、設定ボタンを2回押して、表示される設定画面から(初期設定)→[日時あわせ]を選び、始めから日時合わせをやり直してください。

ちょっと一言

- サマータイムについて詳しくは、112ページをご覧ください。
- 手順6で[分]を合わせた後に設定画面が表示された場合は、設定ボタンを押して画面を消します。

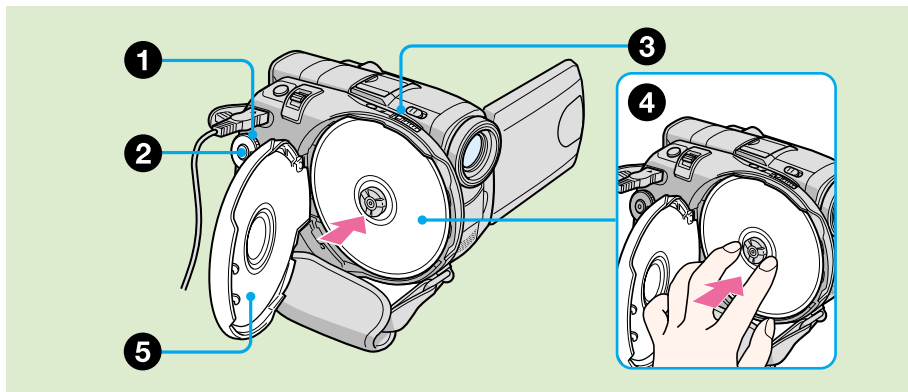
日本国内で使用するときは[トウキョウ、ソウル]を選びます。

4 **マルチセレクターでサマータイム中かどうかを選び、押して決定する。**

日本国内で使用するときは[切]を選びます。

5 **マルチセレクターで[年]を合わせ、押して決定する。**

6 **手順5と同様に[月]、[日]、[時]、[分]を合わせる。**

マルチセレクターで[分]を合わせて時報と同時に押して決定します。時計が動き始めます。

真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

準備5 ディスクを準備する

新しいDVD-RまたはDVD-RWを用意します。準備の手順はDVD-RとDVD-RWとで異なります。DVD-Rは一度記録した内容を削除・上書きできません。DVD-RWは記録内容を削除して、再び記録できます。

ディスクに付着した指紋や汚れは、付属のクリーニングクロスで拭きとっておいてください。

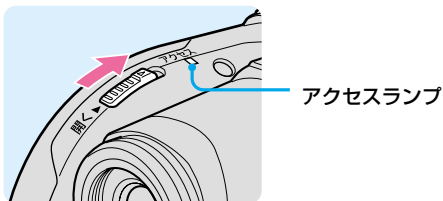
ご注意

- ディスクを出し入れするときは、手や物がカバーの開閉の妨げにならないように、ご注意ください。グリップベルトは、本機の下側へずらして操作を行ってください。
- アクセスランプの点灯中、液晶画面に［ディスク認識中］または［取り出し準備中］と表示されているときは本機に振動や強い衝撃を与えないでください。
- DVD-RWを最初に使うときは、初期化する必要があります。
- ディスクが本機に正しくセットされていない状態でディスクカバーを閉じると、故障の原因となります。

1 モードダイヤルを（動画）または（静止画）にする。

2 電源ボタンを数秒間押して、電源を入れる。

3 ディスクカバーオープンスイッチを矢印（開く）の方向へスライドさせる。

チャイムが鳴り、その後で「ピッピッ…」という音が鳴ります。本機の液晶画面には［取り出し準備中］と表示されます。音が鳴り終わると、自動的にディスクカバーが少し開くので、さらに大きく開いてください。

4 ラベル面が外側になる向きでディスクを入れ、ディスク中央部を押して「カチッ」という音がするまではめ込む。

ご注意
- ディスクの種類や状態によっては、本機がディスクを認識するのに時間がかかることがあります。
- ディスクを入れずにディスクカバーを閉じたとき、本機の内部でモーターが駆動する音が聞こえることがありますが、故障ではありません。
- 初期化中に、バッテリーやACアダプターなどの電源を取りはずさないでください。
- ACアダプターやバッテリーが取り付けてある場合は、本機の電源が入っていないときでもディスクを取り出せます。ただし、ディスクを入れ替えた場合はディスクの認識は行いません。

ちょっと一言
- ディスクを入れ換えると、使用開始日時、およびすでに記録済みエリアなどのディスクに関する情報が、約5秒間表示されます。記録済みエリアの情報は、ディスクの状態によっては正しく表示されないことがあります。
- ディスクの取り扱いについて詳しくは、126ページをご覧ください。

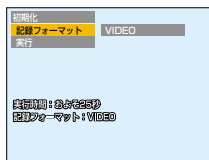
❺ ディスクカバーを閉じる。

ディスクの認識が始まります。

DVD-Rをお使いのとき

液晶画面の［ディスク認識中］の表示が消えたらすぐに撮影を始められます。

DVD-RWをお使いのとき

初期化の画面が表示されます。手順❻に進んでください。

❻ マルチセレクターで[記録フォーマット]を選び、押して決定する。

❼ マルチセレクターで希望の記録フォーマットを選び、押して決定する。

お買い上げ時は、［VIDEOモード］に設定されています。

VIDEOモード、VRモードの違いについては、6ページをご覧ください。

❽ マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

❾ マルチセレクターで［はい］を選び、押して決定する。

初期化が始まります。初期化が完了すると、DVD-RWに記録できるようになります。

ディスクを取り出すには

ディスクの状態や記録内容によっては、取り出しに時間がかかることがあります。

❶ 24ページの❸を行う。

❷ ディスクを取り出す。

撮影の前に

ご注意

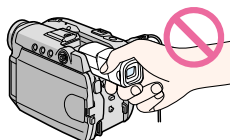
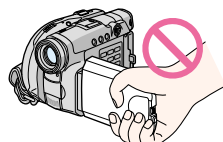
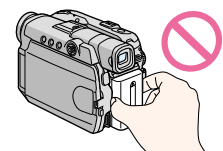
正しく動画/静止画を記録するために、次のことを実行してください。

– 本機を正しく構える。

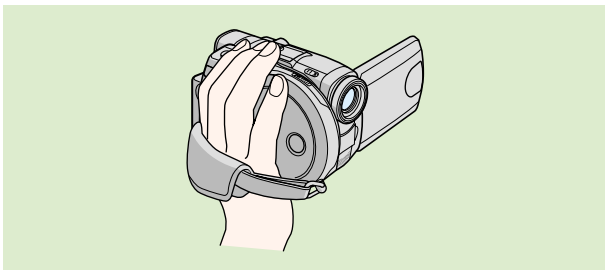
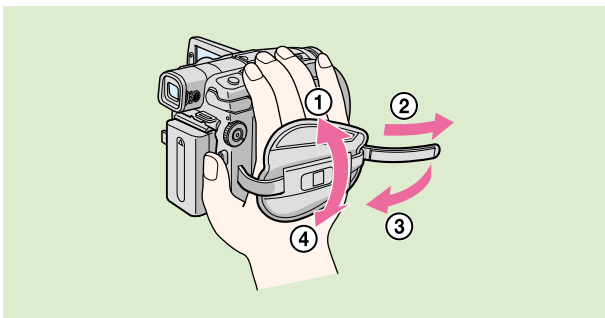
– 撮影中に本機に振動や強い衝撃を与えない。

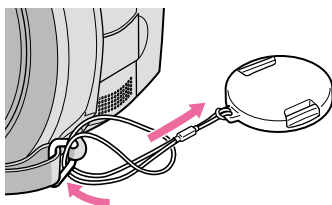
– ディスクに汚れ、指紋、傷などをつけない。

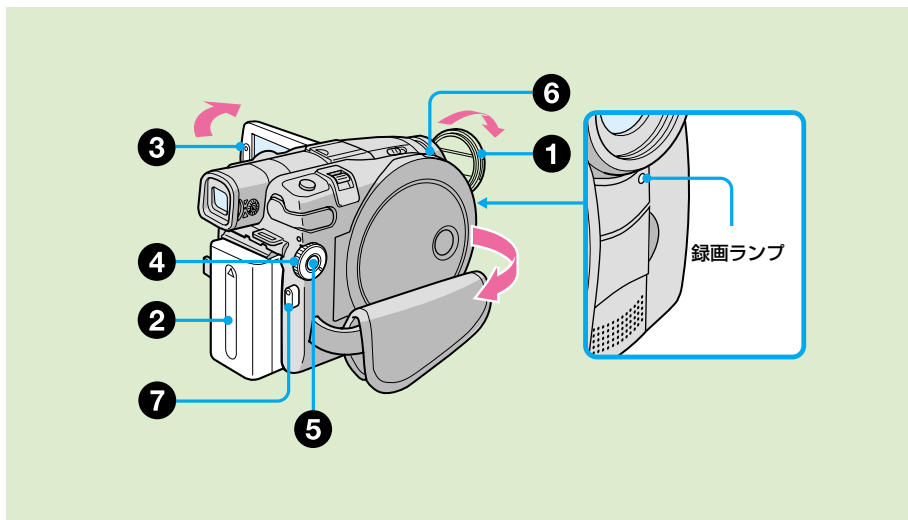
ご注意

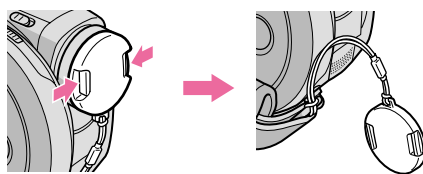
- 以下の部分をつかんで本機を持ち上げないでください。

ファインダー

液晶画面

バッテリー

本機の扱いかた

本機は正しく構えて使ってください。

グリップベルトはしっかりと締めて使ってください。

レンズキャップの取り付けかた

グリップベルトの金具にレンズキャップ（付属）のひもを通して取り付けてください。

動画を撮る

「準備1~5」(14～25ページ)をあらかじめ行っておいてください。
VIDEOモード、VRモード(6ページ)に共通の操作です。

ご注意
- ディスクの出し入れのときに、レンズキャップのひもをディスクカバーにはさまないように注意してください。

❶ **レンズキャップの両側をつまんで取りはずす。**

❷ **バッテリーやACアダプターなどの電源を取り付ける。(14ページ)。**

❸ **OPENボタンを押しながら液晶画面を開く。**
液晶画面を開くと、ファインダーには画像が映らなくなります。

❹ **モードダイヤルを 🎞 (動画) にする。**

次のページへつづく

ご注意

- マイクに手が触れないようにしてください。
- アクセスランプの点灯中はディスクに書き込み中です。特に次の点にご注意ください。データが破損したり、ディスクが使えなくなることがあります。
  – 本機に振動や強い衝撃を与えない
  – 電源を切らない
  – バッテリーやACアダプターなどの電源を取りはずさない
  – ディスクカバーを開けない
- 録画モードによって、ディスクへの書き込み時間は変わります（29ページ）。
- スタート/ストップボタンを押した時と、実際に録画が開始/終了する時間には若干のずれが生じることがあります。
- バッテリーやACアダプターは、電源/充電ランプが消えているのを確認してから取りはずしてください。

ちょっと一言

- バッテリー使用時に5分以上操作をしないと、自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。電源スイッチを数秒間押してもう一度電源を入れてください。
  電源が自動的に切れないようにするには、設定画面で（初期設定）→［自動電源オフ］を［なし］に設定します（111ページ）。

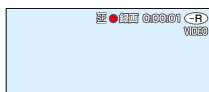
5 電源ボタンを数秒間押して、電源を入れる。

6 ディスクを入れる（24ページ）。

撮影スタンバイになります。

7 スタート/ストップボタン（●）を押す。

撮影が始まると画面に［● 録画］が表示され、同時に本体前面の録画ランプが点灯します。

撮影をやめるときは、もう一度スタート/ストップボタンを押します。

液晶画面横のスタート/ストップボタンでも同じように操作できます。ローアングルの撮影をするときなどに便利です。

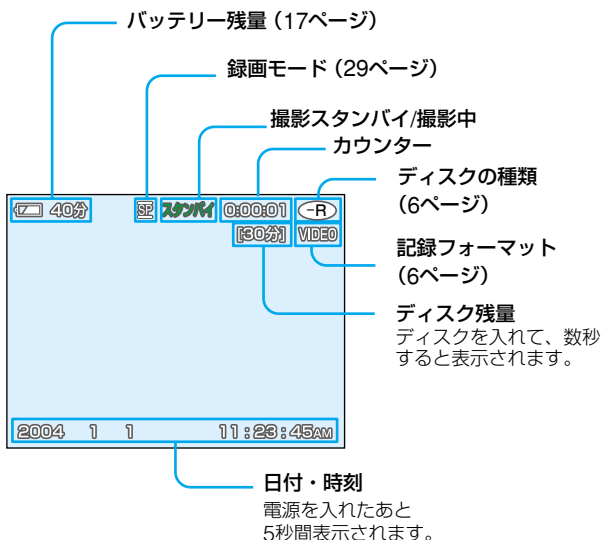
撮影が終わったら

1. ディスクを取り出す（25ページ）。
2. 電源ボタンを数秒間押して、電源を切る。
3. 液晶画面を閉じる。
4. バッテリーやACアダプターなどの電源を取りはずす。

ご注意

- バッテリー残量表示は、連続撮影可能時間の目安です。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しいバッテリー残量時間（分）を表示するのに時間がかかることがあります。
- 撮影中、撮影日時/カメラデータは画面には表示されません。自動でディスク上に記録され、再生時にリモコンのデータコードボタンを押すと見られます（57ページ）。

撮影中の表示

これらの表示はディスクには記録されません。

録画モードを選ぶ

本機はHQ（High Quality）、SP（Standard Play）、およびLP（Long Play）のそれぞれのモードで録画できます。

お買い上げ時は［SP］に設定されています。

1. **モードダイヤルを（動画）にする。**
2. **設定ボタンを押す。**
3. **マルチセレクターで（ディスク設定）を選び、押して決定する。**

撮る

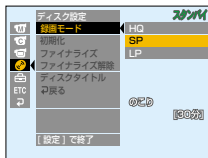
4 マルチセレクターで［録画モード］を選び、押して決定する。

5 マルチセレクターで希望の録画モードを選び、押して決定する。

録画モード	録画時間	意味
HQ	約20分	高画質での録画が可能
SP	約30分	標準の画質
LP	約60分	長時間の録画が可能

- **上記の時間は目安です。動きの速い映像を撮影すると録画時間は短くなります。**
- 上記は、片面ディスクを使った場合の時間の目安です。
  両面ディスクを使った場合は、録画時間は約2倍になります。

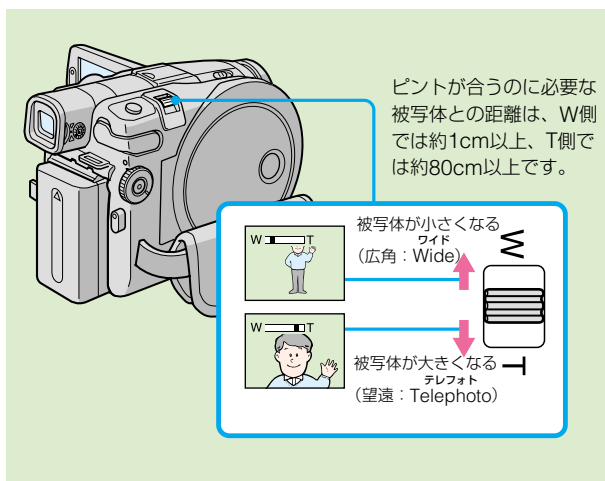
6 設定ボタンを押す。

設定画面が消えます。

ご注意
- LPモードは、SPモードと比べると多少画質が粗くなりますが、長時間録画できます。
- 動きの速い映像ではブロックノイズが出ることがあります。
- VIDEOモードでは、録画モードが［LP］のときは、ワイドTVモードの設定ができません。

ちょっと一言
- 近くのものにピントがうまく合わないときは、いったんズームレバーをW側に動かしてピントを合わせます。

ズームする

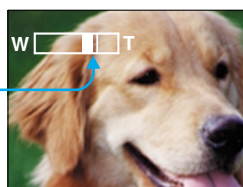
ズームレバーを動かす。

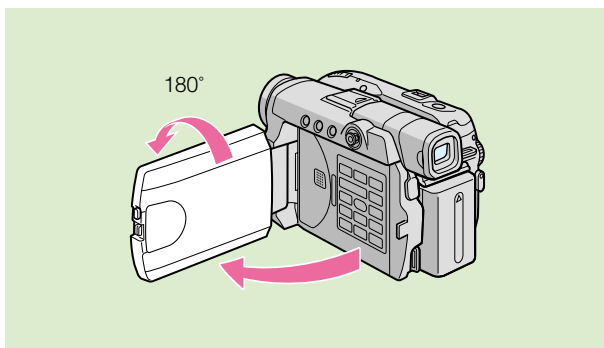
ズームを使いすぎると見づらい画面になるため、効果的にズームしてください。

10倍を超えるズームについて

10倍を超えるズームはデジタルズームになります。デジタルズームを使うと、ズーム倍率は20倍または120倍までになります。デジタルズームは画像をデジタル処理するため、ズームレバーをT側に動かすほど画質が低下します。

お買い上げ時はデジタルズームは［切］に設定されています。デジタルズームを使うには、設定画面の（カメラ設定）で［デジタルズーム］の倍率を選択してください（108ページ）

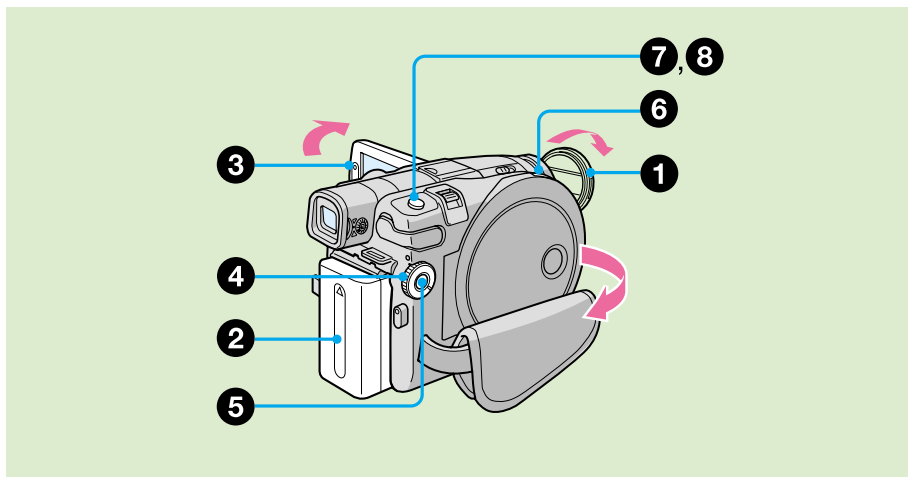
このラインよりT側はデジタルズームになります。メニューで［デジタルズーム］の倍率を選ぶと表示されます。

次のページへつづく

対面撮影する

液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

液晶画面を開き、レンズ方向に180°回転させる。

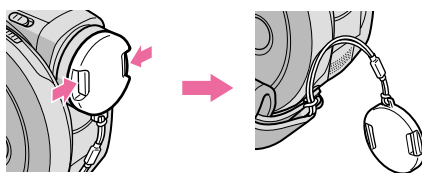
ファインダーと液晶画面に☺が表示されます。
モードダイヤルを 🎞（動画）にしたとき、撮影スタンバイ中には❚❚●、撮影中には●が表示されます。
その他の表示では左右が反転するものもあります。また、表示が出ないものもあります。

静止画を撮る

「準備1~5」（14〜25ページ）をあらかじめ行っておいてください。
VIDEOモード、VRモード（6ページ）に共通の操作です。
静止画も動画と同じディスクに撮影できます。

撮る

💡 ちょっと一言

- 画質・画像サイズの設定、および被写体の状況によって記録枚数は異なります。
- 撮影日時/カメラデータは画面には表示されません。自動でディスク上に記録され、再生時にリモコンのデータコードボタンを押すと見られます。
- 静止画撮影時、画角は動画撮影時に比べて少し広くなります。
- バッテリー使用時に5分以上操作をしないと、自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。電源スイッチを数秒間押してもう1度電源を入れてください。
  電源が自動的に切れないようにするには、設定画面で（初期設定）→［自動電源オフ］を［なし］に設定します（111ページ）。

1 レンズキャップの両側をつまんで取りはずす。

2 バッテリーやACアダプターなどの電源を取り付ける（14ページ）。

3 OPENボタンを押しながら液晶画面を開く。

液晶画面を開けると、ファインダーには画像が映らなくなります。

4 モードダイヤルを 📷（静止画）にする。

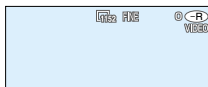
次のページへつづく

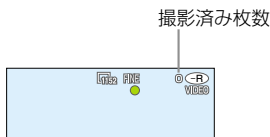
ご注意

- モードダイヤルが （静止画）のときは次の機能は使えません。
  - ワイドTV
  - デジタルズーム
  - 手ぶれ補正
  - Super NightShot plus
  - Color Slow Shutter
  - フェーダー
  - ピクチャーエフェクト
  - デジタルエフェクト
  - プログラムAEのスポーツレッスン（表示が点滅します）
- アクセスランプの点灯中はディスクに書き込み中です。特に次の点にご注意ください。データが破損したり、ディスクが使えなくなることがあります。
  - 本機に振動や強い衝撃を与えない。
  - 電源を切らない。
  - バッテリーまたはACアダプターを取りはずさない。
  - ディスクカバーを開けない。
- 手順7でフォトボタンを軽く押すと画像が瞬間的にまたたきますが、異常ではありません。
- [キャプチャー] 表示中は電源を切ったりフォトボタンを押したりすることはできません。
- ディスクに画像を書き込む時間は、画像サイズによって変わります。

5 電源ボタンを数秒間押して、電源を入れる。

6 ディスクを入れる（24ページ）。

撮影スタンバイになります。

7 フォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

AE/AFロック表示（緑の●）が点滅から点灯に変わると撮影準備完了です。画像の明るさとフォーカスは、画面の中央部分の被写体に合わせて調整されます。

8 フォトボタンを深く押す。

「カシャ」とシャッター音がして、[キャプチャー] と表示されます。バーのスクロール表示が消えると、記録が完了します。

ボタンを深く押したときに画面に映っている画像がディスクに記録されます。
リモコンのフォトボタンを押すと、押した瞬間に映っている画像が記録されます。

画質や画像サイズを選ぶ

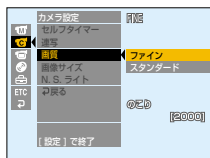
静止画の画質を選ぶには

静止画の画質は［ファイン］と［スタンダード］から選べます。
お買い上げ時は［ファイン］に設定されています。

1 モードダイヤルを 📷（静止画）にする。

2 設定ボタンを押す。

3 マルチセレクターで（カメラ設定）を選び、押して決定する。

4 マルチセレクターで［画質］を選び、押して決定する。

5 マルチセレクターで希望の画質を選び、押して決定する。

撮影できる静止画の枚数は画質によって変わります。

ファイン（FINE）：

画質を優先するときに使います。約1/4に圧縮されます。

スタンダード（STD）：

標準の画質です。約1/10に圧縮されます。

6 設定ボタンを押す。

設定画面が消えます。

次のページへつづく

静止画を撮る（つづき）

静止画の画像サイズを選ぶには

画像サイズは［1152×864］または［640×480］から選べます。
お買い上げ時は［1152×864］に設定されています。

❶ モードダイヤルを 📷（静止画）にする。

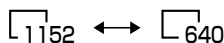
❷ 設定ボタンを押す。

❸ マルチセレクターで ［C］（カメラ設定）を選び、押して決定する。

❹ マルチセレクターで［画像サイズ］を選び、押して決定する。

❺ マルチセレクターで希望の画像サイズを選び、押して決定する。

画面表示は次のように変わります。

1152 ↔ 640

❻ 設定ボタンを押す。

設定画面が消えます。

1枚のディスク（片面）に記録できる枚数の目安

静止画はJPEG方式で圧縮/記録されます。ファイル拡張子は「JPG」です。

- 100-0001:本機の液晶画面に表示されるファイル名
- DSC00001.JPG:パソコン画面に表示されるファイル名

画質、画像サイズの設定および被写体の状況により、記録枚数は異なります。

画質	画像サイズ	記録枚数		
		DVD-RW		DVD-R
		VIDEO	VR	VIDEO
ファイン（表示：FINE）	1152×864	2250	2250	2150
	640×480	5400	5400	5100
スタンダード（表示：STD）	1152×864	4300	4350	4100
	640×480	8600	8600	8100

上記は、片面ディスクを使った場合の枚数の目安です。両面ディスクを使った場合は、記録枚数は約２倍になります。

ちょっと一言

- DVD-RWのVIDEOモードでは、静止画100枚（画質FINE、画像サイズ1152×864の場合）が動画（HQモード）約1分相当の時間になります。

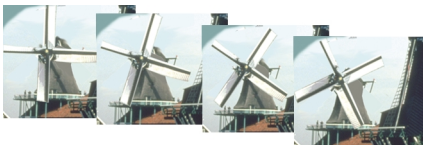
静止画のファイルサイズ

画質	ファイルサイズ	
	640×480	1152×864
ファイン（FINE）	約150Kバイト	約500Kバイト
スタンダード（STD）	約60Kバイト	約200Kバイト

上記の数値は目安です。

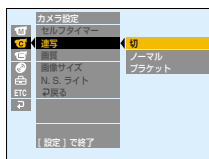
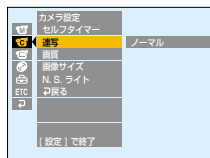
連写する

あらかじめ設定画面で［連写］の設定をして静止画を撮影すると、以下の撮影ができます。

ノーマル
約0.6秒間隔で1152×864で4枚、640×480で12枚までの静止画を連続して撮影します。

BRK ブラケット
約0.6秒間隔で自動で露出を変えて3枚の画像を連続して撮影します。

1. モードダイヤルを （静止画）にする。
2. 設定ボタンを押す。
3. マルチセレクターで （カメラ設定）を選び、押して決定する。
4. マルチセレクターで［連写］を選び、押して決定する。

ご注意
- 画像サイズとディスクの残量によって最大枚数まで撮影できないことがあります。
- 連写撮影時はフラッシュ（別売り）は発光しません。
- 連写撮影は通常の静止画撮影に比べてディスクへの書き込みに時間がかかります。画面のバーのスクロール表示とアクセスランプの点灯が消えてから、次の静止画を撮影してください。

ちょっと一言
- セルフタイマーまたはリモコンを使って撮影したときは、自動的に最大枚数まで連続して撮影します。
- ブラケット撮影の効果は液晶画面上では違いがわかりにくい場合があります。テレビモニターやパソコン画面などで効果を確認することをおすすめします。

❺ **マルチセレクターで［ノーマル］または［ブラケット］を選び、押して決定する。**

❻ **設定ボタンを押す。**

設定画面が消えます。

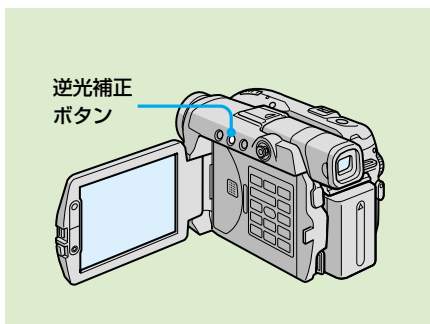
❼ **フォトボタンを深く押す。**

設定した条件で連写されます。

［ノーマル］では、フォトボタンを深く押している間、最大枚数まで連続して撮影されます。

明るさを調節する

逆光補正する

被写体の後ろに光源があり、被写体が暗く映るときなどに明るさの補正をします。

❶ **モードダイヤルを 🎞（動画）または 📷（静止画）にする。**

❷ **逆光補正ボタンを押す。**
液晶画面に逆光補正表示が出ます。

逆光補正を解除するには

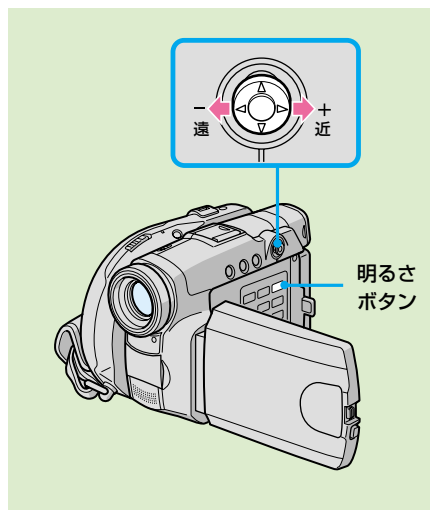
逆光補正ボタンをもう一度押す。

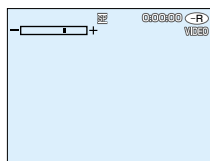
ご注意

- 逆光補正中に明るさボタン（40ページ）を押すと、逆光補正は解除されます。

手動で明るさを調整する

下記のようなときは手動で調整してください。

- 逆光補正を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき
- 夜景など、暗い場面を撮影したいとき

❶ **モードダイヤルを 🎞（動画）または 📷（静止画）にする。**

❷ **明るさボタンを押す。**
カメラ明るさ調整表示が表れます。

❸ **マルチセレクターで好みの明るさに調整する。**

＋：明るくする。

－：暗くする。

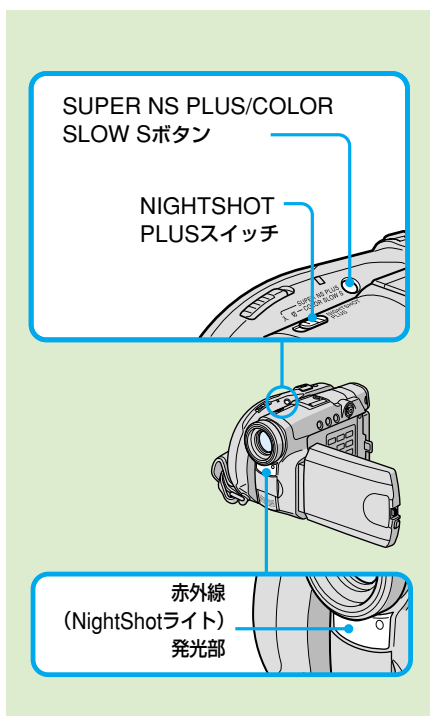
自動調整に戻すには

もう一度明るさボタンを押す。

ご注意

- 明るさ調整中は以下の操作ができません。
  – Color Slow Shutter
  – 逆光補正
- 以下の場合、明るさは自動調整に戻ります。
  – プログラムAEの効果を変えたとき
  – 明るさ調整中にNIGHTSHOT PLUSスイッチを「入」にしたとき

暗い場所で撮影する – NightShot plus（ナイトショットプラス）など

暗いままで被写体を撮影するときは、赤外線を利用したNightShot plusやSuper NightShot plus、またはColor Slow Shutterが便利です。
NightShot plusやSuper NightShot plusは、より明るい画像を、Color Slow Shutterは、実際の色に忠実な画像を撮影できます。

NightShot plus（ナイトショットプラス）を使う

❶ **モードダイヤルを 🎞（動画）または 📷（静止画）にする。**

❷ **NIGHTSHOT PLUSスイッチを「入」にする。**

液晶画面に◉と［"NIGHTSHOT PLUS"］が点滅します。

NightShot plusを解除するには

NIGHTSHOT PLUSスイッチを「切」にする。

ご注意

- 昼間の屋外など、明るいところでは使わないでください。故障の原因になります。
- NightShot plusで撮影中、フォーカスが合いにくい時は、手動でピントを合わせてください。
- NightShot plusで撮影中は、指などで赤外線発光部（NightShotライト）をさえぎらないでください。
- NightShot plusで撮影中は、次の操作ができません。
  – カメラ明るさ調整
  – プログラムAE（表示が点滅します）
  – ホワイトバランス

Super NightShot plus（スーパーナイトショットプラス）を使う

NightShot plusを使って撮影した場合に比べて、最大16倍の感度で被写体を明るく撮影できます。

1 モードダイヤルを ▯▯ （動画）にする。

2 NIGHTSHOT PLUSスイッチを「入」にする。

3 SUPER NS PLUSボタンを押す。

液晶画面にS◉と［"SUPER NIGHTSHOT PLUS"］表示が点滅します。

Super NightShot plusを解除するには

もう一度SUPER NS PLUSボタンを押す。

ご注意

- Super NightShot plusは動画撮影時のみ使えます。
- Super NightShot plus時のシャッタースピードは明るさによって自動的に変わります。このとき画像の動きは遅くなります。
- Super NightShot plus中は、次の操作ができません。
  - フェーダー
  - カメラ明るさ調整
  - デジタルエフェクト
  - プログラムAE
  - ホワイトバランス

NightShotライトを使うには

NightShotライトを使うと画像がよりはっきりします。

NightShotライトは、赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。

設定画面の▣（カメラ設定）で［N.S.ライト］を［入］にします（108ページ）。

（お買い上げ時は［入］に設定されています。）

Color Slow Shutter（カラースローシャッター）を使う

暗い場所でも被写体を明るくカラーで撮影することができます。

まったく光のない場所では、Color Slow Shutterが正しく働かない場合があります。

1 モードダイヤルを ▯▯ （動画）にする。

2 NIGHTSHOT PLUSスイッチを「切」にする。

3 COLOR SLOW Sボタンを押す。

液晶画面に▣と［COLOR SLOW SHUTTER］表示が点滅します。

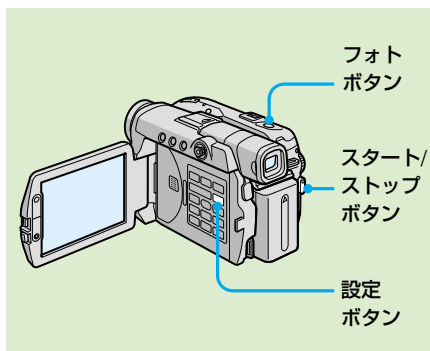
Color Slow Shutterを解除するには

もう一度COLOR SLOW Sボタンを押す。

▣が消えます。

ご注意

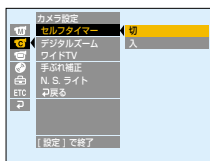
- Color Slow Shutterは動画撮影時のみ使えます。
- Color Slow Shutter時のシャッタースピードは明るさによって自動的に変わります。このとき画像の動きは遅くなります。
- Color Slow Shutter中は次の操作ができません。
  - フェーダー
  - カメラ明るさ調整
  - デジタルエフェクト
  - プログラムAE

セルフタイマーを使う

動画を撮影する

❶ モードダイヤルを（動画）にする。

❷ 設定ボタンを押す。

❸ マルチセレクターで（カメラ設定）を選び、押して決定する。

❹ マルチセレクターで［セルフタイマー］を選び、押して決定する。

❺ マルチセレクターで［入］を選び、押して決定する。

❻ 設定ボタンを押す。

撮影画面に戻り、セルフタイマー表示が出ます。

❼ スタート/ストップボタンを押す。

セルフタイマーの秒読みが始まります。秒読み中はブザー音が鳴り、約2秒前にブザー音が速くなります。ボタンを押してから約10秒後に、自動的に録画が始まります。

静止画を撮影する

❶ モードダイヤルを（静止画）にして「動画を撮影する」の手順❷～❻を行う。

❷ フォトボタンを深く押す。

セルフタイマーの秒読みが始まります。秒読み中はブザー音が鳴り、約2秒前にブザー音が速くなります。ボタンを押してから約10秒後に、自動的に撮影されます。

セルフタイマーを解除するには

撮影スタンバイ中に、もう一度設定画面の（カメラ設定）の［セルフタイマー］で［切］を選択して、セルフタイマー表示を消す。

ご注意

- セルフタイマー撮影を実行したあとは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影は撮影スタンバイ中のみ操作できます。
- 静止画撮影時は、フォトボタンを押してもセルフタイマーの秒読みを中止できません。

ちょっと一言

- 動画撮影時に秒読みを一時停止するには、スタート/ストップボタンを押します。再開するにはもう一度押します。

横長の画面にする – ワイドTVモード

ワイドテレビで見るときに、画面いっぱいに映るように動画を撮影できます。

16：9のワイドモードを選択して撮影すると、液晶画面の上下に黒い帯が出ます。ID-1/ID-2（46ページ）対応テレビに接続した場合、またはS（S1）に接続した場合、自動的に横長の画面で表示されます。

接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイドTVモードで撮影すると

液晶画面・ファインダーで見たとき

ワイドテレビで再生したとき*1

通常のテレビで再生したとき*2

画像が縦長になります。

テレビがフルモードに切り換わると

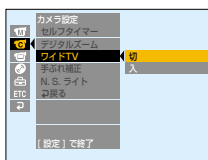
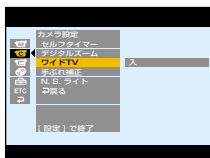
*1 ワイドテレビがフルモードに切り換わると、画面いっぱいに正しい比率で映ります。

*2 通常のテレビ（4：3モード）で再生すると、画像が縦長に映ります。ワイドモードで再生すると、液晶画面・ファインダーで見たときと同じように映ります。

1 **モードダイヤルを（動画）にする。**

2 **設定ボタンを押す。**

3 **マルチセレクターで（カメラ設定）を選び、押して決定する。**

4 **マルチセレクターで［ワイドTV］を選び、押して決定する。**

5 **マルチセレクターで［入］を選び、押して決定する。**

6 **設定ボタンを押す。**

設定画面が消えます。

ワイドTVモードを解除するには

手順5で［切］を選ぶ。

撮る

次のページへつづく

ご注意

- ワイドTVモードを設定しているときは、オールドムービー（51ページ）の操作はできません。
- VIDEOモードでは、ワイドTVモードに設定中に、録画モードを［LP］にするとワイドTVモードは解除されます。
- ワイドTVモードで撮影された場面は、通常のサイズには戻せません。

ちょっと一言

- 16：9のワイドTVモードで撮影した場面は、次のとき自動的に画面いっぱいに表示されます。
  – ビデオIDシステム（ID-1/ID-2）に対応したテレビに本機を接続したとき
  – テレビのS映像端子に本機を接続したとき
- ID-1方式とは、ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比（16：9、4：3またはレターボックス）の情報を通信するシステムです。
- ID-2方式とは、本機をAV接続ケーブルを使って他機に接続したときに、ID-1方式に加え、ビデオ信号の間に著作権保護のための信号を送るためのシステムです。
- S1映像信号とは、通常のS映像信号にワイド表示自動選択用の信号が加算されている信号です。

自然な色あいに調整する – ホワイトバランス

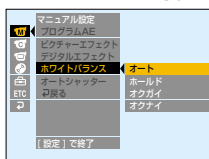
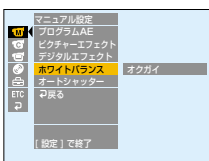
通常本機は、自動的に色あいを調整していますが、次のようなときは手動で調整してください。

- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮影するとき
- 夜景やネオンサインなどを屋外で撮影するとき

1 モードダイヤルを （動画）または （静止画）にする。

2 設定ボタンを押す。

3 マルチセレクターで （マニュアル設定）を選び、押して決定する。

4 マルチセレクターで［ホワイトバランス］を選び、押して決定する。

5 マルチセレクターで希望のホワイトバランスの設定を選び、押して決定する。

HOLD［ホールド］	単一色の被写体や背景を撮影するとき
☀［オクガイ］	• 夜景やネオン、花火などを撮影するとき • 日の出、日没などを撮影するとき • 昼光色蛍光灯の下で撮影するとき
［オクナイ］	• パーティー会場など照明条件が変化する場所 • スタジオなどビデオライトの下で撮影するとき • ナトリウムランプや水銀灯の下で撮影するとき

6 設定ボタンを押す。

設定画面が消えます。

ホワイトバランスを自動調整に戻すには

［ホワイトバランス］を［オート］に設定する。

ご注意

- ホワイトバランスを［ホールド］にしたままで次のように撮影条件を変えたときは、ホワイトバランスを一度［オート］にして、しばらくしてから［ホールド］に戻してください。
  – プログラムAEの効果を変えたとき
  – 屋外と屋内を行き来したとき
- 電源をはずして5分以上経つと、ホワイトバランスの設定は自動的に［オート］に戻ります。

ちょっと一言

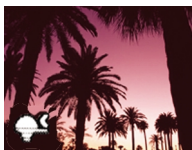
- スタジオ照明やビデオライト（別売り）を使用する場合は［オクナイ］に設定して撮影することをおすすめします。
- 蛍光灯照明下で撮影する場合は、ホワイトバランスを［オート］にするか、［ホールド］に設定して撮影することをおすすめします。［オクナイ］に設定して撮影すると、ホワイトバランスが正しく調整されない場合があります。
- ホワイトバランスを［オート］にしたままで次のように撮影条件を変えたときは、電源を入れてから10秒間くらい白っぽい被写体に向けるとよりよい色あいに調整されます。
  – バッテリーを交換したとき
  – 画像の明るさを固定させたまま屋外と屋内を行き来したとき
- NIGHTSHOT PLUSスイッチを「入」にすると、ホワイトバランスの設定は自動的に［オート］になります。

状況に合わせて撮る – プログラムAE

スポットライト*1
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ソフトポートレート
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。

スポーツレッスン*1
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。

ビーチ&スキー*1
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

サンセット&ムーン*2
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。

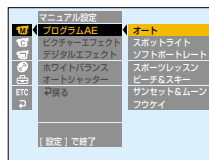
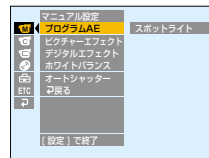
フウケイ*2
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせます。風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

*1 近くのものにピントが合わないようになります。
*2 遠景のみにピントが合うようになります。

1 モードダイヤルを （動画）または （静止画）にする。

2 設定ボタンを押す。

3 マルチセレクターで （マニュアル設定）を選び、押して決定する。

4 マルチセレクターで［プログラムAE］を選び、押して決定する。

5 マルチセレクターで希望の効果を選び、押して決定する。

6 設定ボタンを押す。
設定画面が消えます。

プログラムAEを解除するには

［プログラムAE］を［オート］に設定する。

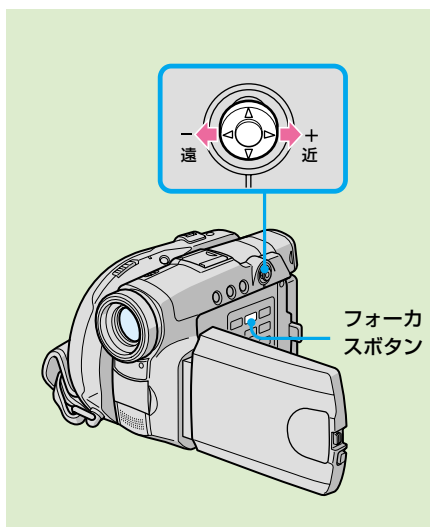
ご注意
- プログラムAE中は以下の操作ができません。
  – Color Slow Shutter
  – オールドムービー
- NIGHTSHOT PLUSスイッチが「入」のときは、プログラムAEは使えません（表示が点滅します）。
- モードダイヤルが （静止画）のときは、スポーツレッスンの操作はできません（表示が点滅します）。

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

自動ではピントが合いにくい、次のような被写体を撮るときに使います。

– 水滴の付いた窓の向こうの被写体
– 横じまの多い被写体
– 背景とコントラストの弱い被写体
– 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき

– 三脚で撮影する静止した被写体

❶ モードダイヤルを （動画）または （静止画）にする。

❷ フォーカスボタンを押す。
手動ピント合わせ表示が表示されます。

❸ ファインダーまたは液晶画面を見ながら、マルチセレクターでフォーカスを調整する。

自動調整に戻すには

もう1度フォーカスボタンを押す。

遠くの被写体を撮影するには

表示が出るまでマルチセレクターを動かす。

焦点は無限遠に固定されます。

ちょっと一言

- ズームをT側（望遠）でピントを合わせたあと、なるべくW側（広角）で撮影するようにズームを調整するとピントが合いやすくなります。
- 近づいて大きく撮影したいときは、ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。
- 手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります。
  – 無限遠にあるとき
  – それ以上近くにピント合わせをすることができないとき

撮る

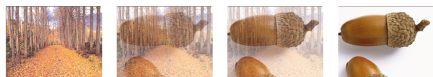
演出効果を加えて撮る

効果的な場面転換をする – フェーダー（動画のみ）

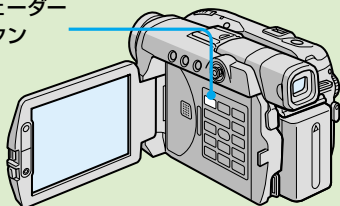
余韻を残して場面を変えたり、徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）して、効果的な場面転換を演出できます。

フェードイン

ノーマルフェーダー

オーバーラップ *

ワイプ *

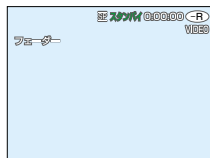
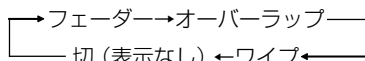
フェードアウト

* フェードインのみ使えます。

❶ **モードダイヤルを ▯▯（動画）にする。**

❷ **フェードイン：**
撮影スタンバイ中に、希望のフェーダーが表示されるまで、フェーダーボタンを繰り返し押す。
フェードアウト：
撮影中にフェーダーボタンを押す。

設定した効果のフェーダー表示が点滅します。

フェーダーボタンを押すたびに

→フェーダー→オーバーラップ→ワイプ→切（表示なし）→

のように表示が切り換わります。

前回選択した効果が、次回最初に表示されます。

❸ **スタート/ストップボタンを押す。**

設定したフェーダーの表示が点滅から点灯に変わります。フェードイン、またはフェードアウトが終了すると消えます。

フェーダーを解除するには

手順❷で、画面表示が消えるまでフェーダーボタンを繰り返し押す。

ご注意

- フェーダーを使っている間は、次の操作ができません。同様に、次の操作をおこなっている間、フェードイン、フェードアウトはできません。
  – デジタルエフェクト
  – Super NightShot plus
  – Color Slow Shutter
- スタンバイ時に［オーバーラップ］または［ワイプ］が表示されると本機が自動的に動作し、画面が静止画として記憶されます。記憶中は画面上の表示が速く点滅し、一時的に被写体を映した画面が消えます。

演出効果を加えて撮る

動画にデジタル加工を加えて、映画やテレビの映像のような効果を出せます。

ピクチャーエフェクト

セピア
古い写真のような色合いにする。

モノトーン
白黒にする。

パステル
パステル画のように淡くする。

モザイク
タイルを組み合わせたようにする。

デジタルエフェクト

ルミキー（ルミナンスキー）
あらかじめ取りこんだ静止画の明るい部分に、動画をはめ込む。

静止画

オールドムービー
画面を横長、画像をセピア、シャッタースピードを遅くして、昔の映画のように撮影する。

撮る

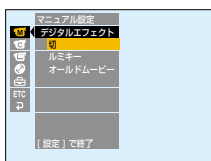
次のページへつづく

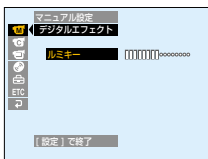
演出効果を加えて撮る（つづき）

❶ **モードダイヤルを 🎞（動画）にする。**

❷ **設定ボタンを押す。**

❸ **マルチセレクターで M（マニュアル設定）を選び、押して決定する。**

❹ **マルチセレクターで［ピクチャーエフェクト］または［デジタルエフェクト］を選び、押して決定する。**

❺ **マルチセレクターで希望の効果を選び、押して決定する。**

ルミキーを選んだときは
押したときの画像が静止画として記憶されます。マルチセレクターを動かして、静止画の、動画を取りこむ部分の明るさの度合いを調整します。

バー表示：
ルミキーのときに表示されます。

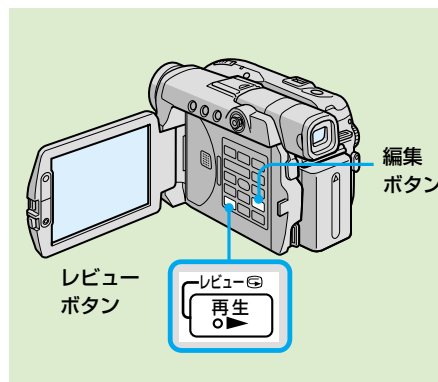
❻ **設定ボタンを押す。**
設定画面が消えます。

エフェクトを解除するには

手順❺で［切］を選ぶ。

ご注意

- デジタルエフェクト操作中は、次の操作ができません。
  – フェーダー
  – Super NightShot plus
  – Color Slow Shutter
- ピクチャーエフェクト操作中は、オールドムービーの操作ができません。
- オールドムービーを選ぶと、以下の操作ができません。
  – ワイドTVモード
  – ピクチャーエフェクト
  – プログラムAE

撮影直後に内容を確認/削除する

直前に撮影した場面を確認する－レビュー

直前に撮影した場面を確認できます。

❶ **モードダイヤルを （動画）または （静止画）にする。**

❷ **レビューボタンを押す。**
直前に撮影した場面が再生されます。

撮影画面に戻るには

もう一度レビューボタンを押す。

ご注意

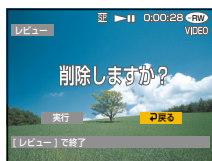
- レビュー画面ではデータコードは表示できません。

ちょっと一言

- 連写した静止画を再生するときは、⏮/⏭で前後の画像を見られます。

直前に撮影した場面を削除する（DVD-RWのみ）

レビューで確認した場面が不要なときは、その場で削除できます。

❶ **レビュー再生中に、編集ボタンを押す。**
削除の確認画面が表示されます。

❷ **マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。**
直前に撮影した場面が削除されます。

削除を中止するには

手順❷で［戻る］を選ぶ。

ご注意

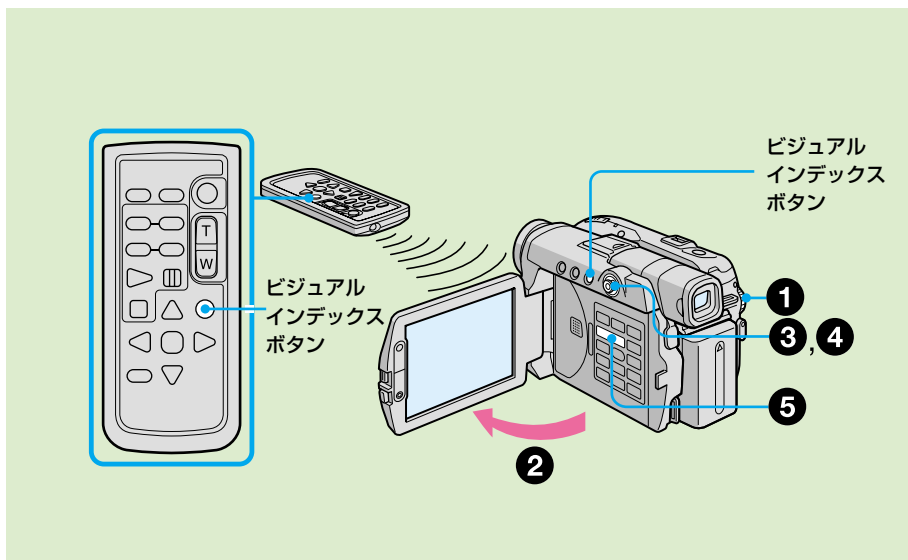
- DVD-RWでのみ削除できます。DVD-Rは一度記録した内容は削除できません。
- 削除できるのは、直前に撮影した場面のみです。VRモードの場合は、自由に場面を削除できます。詳しくは「場面を削除する」（83ページ）をご覧ください。
- 連写した静止画は、撮影した画像すべてが一度に削除されます。VRモードの場合は、特定の静止画を削除できます（83ページ）。
- 次の場合は、最後に撮影した場面の削除ができません。
  – モードダイヤルを切り換えたとき
  – いったん電源を切ったとき
  – ディスクを取り出したとき

本機でディスクを再生する

場面を選んで見る – ビジュアルインデックス

撮影した場面は、ビジュアルインデックス画面で一覧表示されます。見たい場面を選んですばやく見ることができます。動画の場合、撮影した場面の冒頭部分が表示されます。

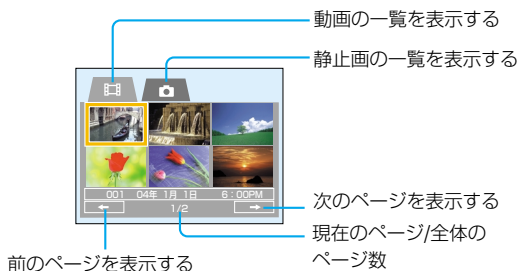
液晶画面を閉じるとファインダーでも見られます。

リモコンでも操作できます。リモコンを初めて使うときは絶縁シートを抜いてください（138ページ）。

1 **モードダイヤルを ▶（見る/編集）にする。**

2 **OPENボタンを押しながら液晶画面を開く。**

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

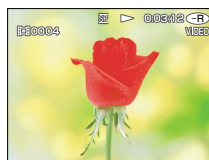
ちょっと一言

- 手順2で ビジュアルインデックス画面が表示されないときは、ビジュアルインデックスボタンを押します。

❸ 動画を見たいときは画面上の (動画) タブを、静止画を見たいときは (静止画) タブを、マルチセレクターで選ぶ。

動画または静止画の一覧が表示されます。

❹ 一覧の中から、見たい動画または静止画をマルチセレクターで選び、押して決定する。

動画では、選んだ場面から動画の最後の場面まで続けて再生されます。

静止画は、選んだ画像が全画面表示されます。

❺ 動画を再生しているときは、音量ボタンの「+/−」を押して音量を調節する。

液晶画面を閉じているときは、音は出ません。

ビジュアルインデックス画面に戻るには

ビジュアルインデックスボタンを押す。

再生を止めるには

■ボタンを押す。

再び▶ボタンを押すと、■ボタンを押した場所から再生が始まります。

次のページへつづく

いろいろな再生

ご注意
- 動画の早送りや早戻しをするとき、表示まで若干時間がかかることがあります。

ボタンのマークについて
本体とリモコンではボタンのマークが異なります。

本体のマーク：

►	再生
❚❚	一時停止
■	停止
►►❙	次
❙◄◄	前

リモコンのマーク：

►	再生
❚❚	一時停止
■	停止
►►❙	次
❙◄◄	前
⏩❙►	スキャン/スロー（次へ）
◄❙⏪	スキャン/スロー（前へ）

動画

動画を変速再生中は音声は出ません。

一時停止するには
再生中に❚❚ボタンを押す。
もう一度押すと、ふつうの再生に戻ります。

次の場面を見るには
再生中に►►❙ボタンを押す。

場面の先頭に戻るには
再生中に❙◄◄ボタンを押す。

前の場面を見るには
再生中に❙◄◄ボタンを繰り返し押す。

画像を見ながら早送り/早戻しするには
再生中に►►❙ボタンまたは❙◄◄ボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻ります。
リモコンの場合は◄❙⏪ボタンまたは⏩❙►ボタンを押す。*
続けて押すと5倍速と10倍速が切り換わります。

スロー画を見るには（スロー再生）
再生一時停止中にリモコンの⏩❙►ボタンを押す。*
逆方向にスロー再生するときは、◄❙⏪ボタンを押す。逆スローは0.5秒間隔で戻ります。

*►ボタンを押すとふつうの再生に戻ります。

静止画

次の場面を見るには
►►❙ボタンを押す。

前の場面を見るには
❙◄◄ボタンを押す。

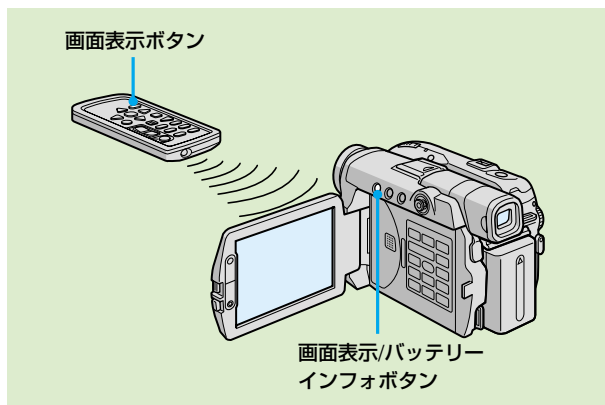
再生中に撮影データを表示する－画面表示機能

本機の画面表示/バッテリーインフォボタン、またはリモコンの画面表示ボタンを押す。

ボタンを押すたびに、（表示）←→（非表示）と 切り替わります。

日付データなど、さまざまな設定を表示するには

本機は撮影時、自動的に、撮影時の日付・時刻を記録した日付データと、撮影したときのビデオカメラの設定を記録したカメラデータの2種類をディスクに記録します（データコード）。

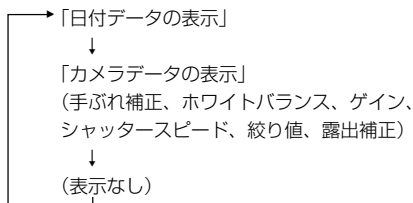
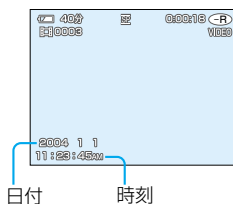
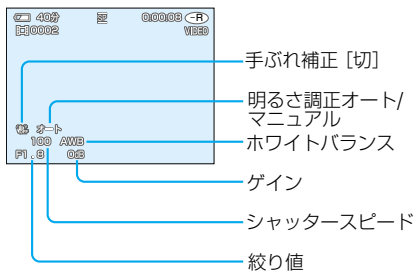
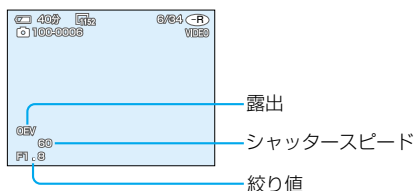
日付データとカメラデータの両方のデータコードを表示させるときは、設定画面の ETC（その他）で［データコード］→［日付/カメラデータ］を選びます。

ちょっと一言

- 次のときは、「--- -- ----」と表示されます
  - – ディスクの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
  - – 映像/音声端子からダビングしたカメラデータ
- データコードは、本機でのみ表示されます。本機の再生画像をテレビにつないで見る場合は、テレビ画面にも表示されます。

次のページへつづく

画面表示を日付データとカメラデータで切り換えるには

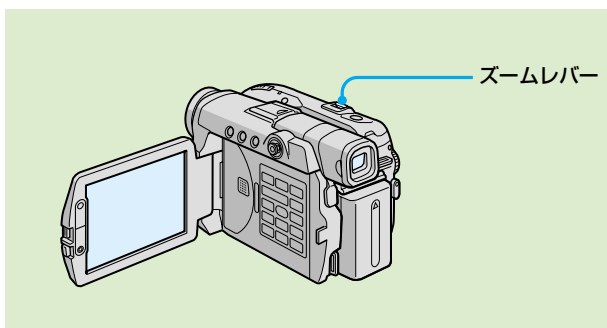
再生中にリモコンのデータコードボタンを押す。

押すたびに次のように表示が変わります。

日付データの表示

カメラデータの表示（動画）

カメラデータの表示（静止画）

撮影した画像を拡大する – 再生ズーム

ご注意

- 外部入力している画像に再生ズームを加えて見ることはできません。
- 画像の周辺部分を拡大したものを画面中央に表示させることはできません。

ちょっと一言

- 一度撮った画像にズームを加えたものを記録するには、本機を再生機として他のビデオへ記録します。本機のディスクには記録できません。
- 再生ズームは、早送り・早戻し・スロー再生中も操作できます。
- 再生ズームは、⏮/⏭ボタンで場面を切り換えると解除されます。

1 **再生中、再生一時停止中またはレビュー中に、ズームレバーを動かす。**

ズームは約1.1倍から5倍までの間で選べます。

W：倍率を低くする。

T：倍率を高くする。

2 **見たい位置に合わせてマルチセレクターを動かす。**

再生ズームを解除するには

マルチセレクターを押す。

ズームレバーをW側いっぱいに動かしても解除されます。

見る

次のページへつづく

静止画を順番に自動再生する – スライドショー

ディスクに記録されているすべての静止画を順番に自動再生します。

❶ **モードダイヤルを ▶（見る/編集）にする。**

❷ **設定ボタンを押す。**

❸ **マルチセレクターで （アプリケーション）を選び、押して決定する。**

❹ **マルチセレクターで［スライドショー］を選び、押して決定する。**

❺ **マルチセレクターを押す。**
静止画が順番に再生されます。
すべて再生すると自動的に止まります。

お好みの画像からスライドショーを始めるには

手順❹の後で、⏮/⏭ボタンで最初の画像を選んでおく。

選んだ画像から再生が始まり、一巡すると、止まります。

スライドショーを中止するには

設定ボタンを押す。

スライドショーを一時停止するには

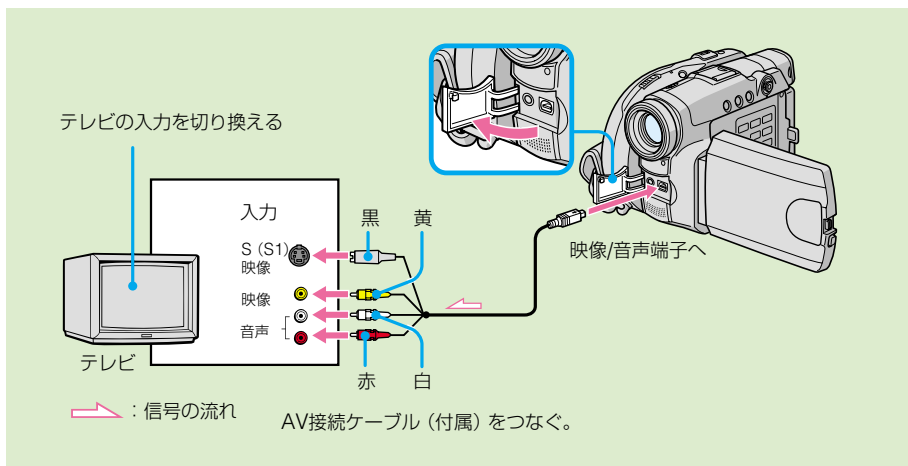
マルチセレクターを押す。

一時停止を解除するにはもう一度マルチセレクターを押します。

テレビにつないで見る

撮影したディスクをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。

電源は付属のACアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします（17ページ）。接続するテレビの取扱説明書もご覧ください。

本機の端子カバーはあらかじめ開けておきます。付属のAV接続ケーブルで本機とテレビを接続し、テレビ/ビデオの選択スイッチをテレビからビデオに切り換えます。

ちょっと一言

- S映像端子を使うと、より忠実に画像を再現できます。接続先の機器にS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）のかわりにS映像プラグを接続先の機器のS（S1）映像端子につないでください。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。
- テレビ画面のカウンターなどの表示を消すには、設定画面の ETC（その他）で設定［画面表示］→［ビデオ出力/パネル］にし（112ページ）、画面表示/バッテリーインフォボタンを押します。出すときはもう1度押します。

本機に付属のAV接続ケーブルには映像端子とS映像端子があります。お使いになる機器にあわせて、使用する端子のみを相手機につないでください。

すでにテレビにビデオがつながっているときは

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

接続するテレビがモノラル音声のときは

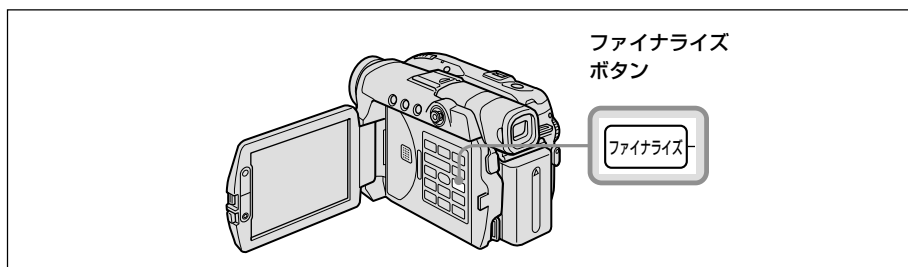
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。

白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

ファイナライズする

「ファイナライズ」とは、撮影が終了したディスクを他の機器で再生できるようにするための処理です。VIDEOモードで記録したディスクをファイナライズすると、市販のDVDビデオソフトと同じ形式になり、DVDプレーヤーなどの機器で再生できます。

VIDEOモードで記録したディスクには、ファイナライズするとそれ以上書き込めなくなりますのでご注意ください。ただしDVD-RWはファイナライズ解除すれば、再び書き込めます。

VRモードで記録したディスクは、ファイナライズしても再生できない機器がありますので、再生機器との互換性を確認してください。詳しくは、お使いの再生機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- ファイナライズ中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- ファイナライズ中はACアダプターを抜かないでください。正しくファイナライズされず、ディスクが使えなくなることがあります。やむを得ずACアダプターを抜くときは、本機の電源を切り、電源/充電ランプが消えてから抜いてください。もう一度ACアダプターを接続して電源を入れると、ファイナライズが再開します。このときは、ファイナライズが完了するまでディスクを取り出すことはできません。

ちょっと一言

- 次の方法でもファイナライズ画面を表示させることができます。
  設定ボタンを押して、マルチセレクターで（ディスク設定）→［ファイナライズ］を選び、押して決定する。

本機は安定したところに置いてください。ファイナライズにかかる時間は約1分から最大で数時間です。撮影した時間が短い場合は、長くかかります。

❶ ACアダプターを本機のDC IN端子につなぎ、電源コードをコンセントにつなぐ。

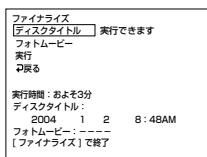
ファイナライズ中に電源が切れないように、必ずACアダプターをお使いください。

❷ 電源ボタンを数秒間押して、電源を入れる。

❸ ファイナライズボタンを押す。

ファイナライズ画面が表示されます。

ファイナライズ
ディスクタイトル　実行できます
フォトムービー
実行
戻る

実行時間：およそ3分
ディスクタイトル：
2004　1　2　8：48AM
フォトムービー：－－－－
［ファイナライズ］で終了

ディスクタイトルを変更するときは、マルチセレクターで［ディスクタイトル］を選び、押して決定します。その後、65ページの手順❹から操作を行ってください。

ご注意

- ここで作成したフォトムービーは静止画を他機で再生するための設定です。本機のVIDEOモードでフォトムービーの再生はできません。本機で静止画を連続再生するときは、「静止画を順番に自動再生する－スライドショー」(60ページ)をご覧ください。
- ファイナライズ時に［フォトムービー］を［作成する］に設定すると、ファイナライズに要する時間が長くなります。ディスクに記録されている静止画の数が多いほど、フォトムービーの作成時間は長くなります。
- デジタルスチルカメラなどで撮影した静止画をパソコンからコピーした場合など、本機と互換性のない静止画はフォトムービーに変換できません。
- 再生する機器によっては、場面のつなぎ目で画像が一時停止することがあります。

ちょっと一言

- モードダイヤルが（静止画）または（動画）のときに、ファイナライズが完了して、ファイナライズ画面を消すと、が点滅します。ディスクを取り出してください。
- ファイナライズされたディスクを本機に入れると、画面右上の記録フォーマット表示が下記のようになります。

－ VIDEOモード：VIDEO

－ VRモード：VR

- 静止画から変換された動画にはマークがつきます。

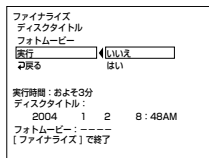
❹ VIDEOモードで記録した静止画がある場合は、マルチセレクターで［フォトムービー］→［作成する］の順に選び、押して決定する。VRモードのときは手順❺に進む。

静止画をDVDプレーヤーなどで再生するには、静止画をMPEG形式に変換する必要があります。

DVDプレーヤーなどでディスクを再生すると、変換された静止画は1つの動画として、連続して再生されます。もとの静止画はJPEGファイルの状態でディスクに保存されています。

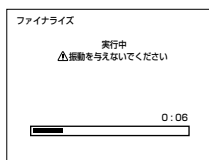
VRモードの場合は、あらかじめ「ディスク内のすべての静止画を1つの動画に変換する（フォトムービー作成）」(75ページ）の操作を行ってください。

❺ マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

確認画面が表示されます。

❻ マルチセレクターで［はい］を選び、押して決定する。

ディスクのファイナライズが始まります。

VIDEOモードでは、DVDプレーヤーの再生メニューが一時的に表示されます。

次のページへつづく

❼ ［完了］と表示されたら、ファイナライズボタンを押す。

ファイナライズ画面が消えます。

ファイナライズを中止するには

手順❸から❻で決定ボタンを押すまでに、ファイナライズボタン、または設定ボタンを押す。

ディスクのタイトルを変える

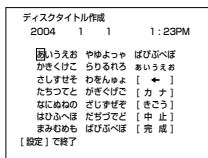
ディスクにタイトルが付けられます。ディスクタイトルは、ディスクを入れ換えたときに約 5 秒間表示されます。タイトルを変更しない場合は、ディスクの使用開始日時が表示されます。

ファイナライズ画面からディスクタイトルを変更する場合は、62ページの手順❸で、マルチセレクターで［ディスクタイトル］を選び、押して決定します。その後、65ページの手順❹から操作を行ってください。

❶ 設定ボタンを押す。

❷ マルチセレクターで 〔アイコン〕（ディスク設定）を選び、押して決定する。

❸ マルチセレクターで［ディスクタイトル］を選び、押して決定する。

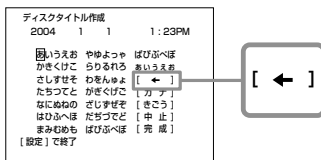
ディスクタイトル編集画面が表示されます。

ご注意

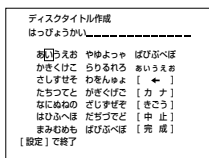
- 他機でタイトルを作成したディスクを入れた場合、本機でタイトルを編集すると、21文字目以降は消去されます。

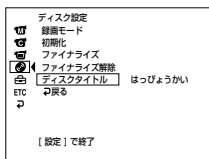
ちょっと一言

- 漢字変換機能はありません。［きごう］にある漢字以外をタイトルに使うことはできません。
- 空白を入れたいときは、［きごう］の中の［&］と［?］の間にある空白キーを選びます。
- 手順6で設定ボタンを押しても、タイトルが記録され、通常の画面に戻ります。

❹ **マルチセレクターで［←］を選び、押して不要なタイトルを消す。**

後ろの文字から消去されます。

❺ **マルチセレクターで入力したい文字を選び、押して決定する。**

タイトルは最大で20文字入力できます。

❻ **すべての文字を入力したら、マルチセレクターで［完成］を選び、押して決定する。**

ディスクタイトルが変更され、設定画面に戻ります。

❼ **設定ボタンを押す。**

設定画面が消えます。

ディスクタイトルの編集を中止するには

手順❹または❺で、マルチセレクターで［中止］を選び、押して決定する。

ディスクを他機で再生する

ファイナライズする（つづき）

ご注意

- **縦置き型のDVDプレーヤーを使用するときは、プレーヤーを水平に設置して再生してください。**
- 8センチCD用のアダプターは使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- お使いの機器によっては、ディスクを再生できない場合があります。
- お使いの機器によっては、一部の機能（静止画の再生など）が使えない場合があります。
- 本機で撮影した静止画を他機で再生するためには、フォトムービーを作成する必要があります（75ページ）。
- フォトムービーに変換された静止画は、鮮明に再生されないことがあります。これは、元の静止画に比べて解像度が下がるためです。

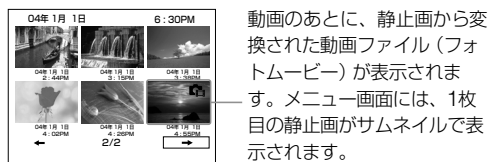
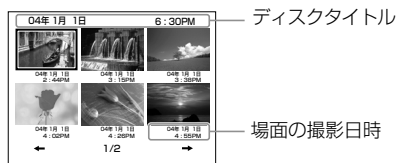
DVDプレーヤーなどの機器でディスクを再生する

ファイナライズしたディスクは、DVD-RまたはDVD-RWに対応したDVDプレーヤーなどで再生できます。

VIDEOモードで記録したディスクを再生するには

VIDEOモードで記録したディスクをファイナライズすると、ビジュアルインデックス画面と同様のメニュー画面が作成されます。メニュー画面には、1ページあたり6場面ずつ表示されます（最大200ページまで）。

DVDプレーヤーのメニューで、再生したい場面を選ぶ。

動画のあとに、静止画から変換された動画ファイル（フォトムービー）が表示されます。メニュー画面には、1枚目の静止画がサムネイルで表示されます。

静止画を再生するには

DVDプレーヤーでは、静止画は約3秒ごとに次々と再生するスライドショーとして表示されます。

静止画の表示中にDVDプレーヤーの⏮/⏭を押すと、10枚ずつジャンプします。

VRモードで記録したディスクを再生するには

VRモードで記録したディスクをファイナライズすると、DVD-RWのVRモードに対応したDVDプレーヤーで再生できます。

DVDプレーヤーのメニューで再生したい場面を選ぶ。

静止画を再生するには

お使いのDVDプレーヤーによって、静止画の再生方法は変わります。詳しくは、お使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

パソコンのDVDドライブでディスクを再生する

お使いのパソコンのOSによって、画面表示や操作方法が異なる場合があります。

動画を再生するには

❶ パソコンを起動する。

❷ ファイナライズしたディスクをパソコンのDVDドライブに入れる。

DVD再生ソフトウェアが自動的に起動し、動画が再生されます。

DVD再生ソフトウェアが自動的に起動しない場合は、パソコンの［スタート］メニューからDVD再生ソフトウェアを選んで起動してください。

静止画を再生するには

❶ パソコンを起動する。

❷ ファイナライズしたディスクをパソコンのDVDドライブに入れる。

パソコンのDVD再生ソフトウェアが自動的に起動した場合は、ソフトウェアを終了してください。

❸ ［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックする。

またはデスクトップの［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。［マイコンピュータ］画面が表示されます。

ご注意
- **8センチDVDの再生に対応したDVDドライブをお使いください。**
- **DVD再生ソフトウェアがインストールされていることが必要です。**
- ディスクから読み込んで再生すると、映像や音声がとぎれることがあります。その場合は、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぎ、付属のソフトウェアを使用して、パソコンのハードディスクにファイルをコピーしてから再生してください。
- お使いのパソコンの種類によっては本機で記録したディスクが再生できないことがあります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言
- DVDドライブのないパソコンでも、本機とパソコンをUSBケーブルでつないで画像を見られます（85ページ）。

次のページへつづく

ファイナライズする（つづき）

ディスクのボリュームラベルには、ディスクの使用開始日時が記録されています。

〈例〉

2004年1月1日午後6時に初期化した場合の
ボリュームラベル名：2004_01_01_06H_00M_PM

4 **ディスクを入れたDVDドライブを右クリックして［開く］をクリックする。**
ディスク内のフォルダが表示されます。

5 **［DCIM］→［100MSDCF］の順にダブルクリックする。**
ディスクに記録された静止画の一覧が表示されます。

6 **見たい静止画をダブルクリックする。**
選んだ静止画が表示されます。

画像の保存先とファイル名

動画、静止画はそれぞれディスクの以下のフォルダ内に保存されています。

動画：　VIDEO_TSフォルダ（VIDEOモード）
　　　　DVD_RTAVフォルダ（VRモード）

静止画：DCIM￥100MSDCFフォルダ

Windows X（VIDEOモード）の例

ファイナライズ後に追加撮影する
– ファイナライズ解除（DVD-RW、VIDEOモードのみ）

VIDEOモードで記録したDVD-RWは、ファイナライズしたディスクをファイナライズ解除することによって、再び記録できる状態になります。VRモードで記録したDVD-RWは、ファイナライズ解除せずにそのまま追加撮影できます。

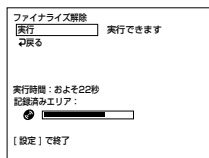
本機にファイナライズしたDVD-RWを入れておいてください。

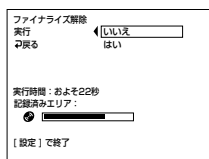
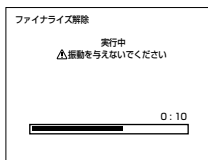
ご注意
- 必ずACアダプターから電源をとってください。
- ファイナライズ解除中にACアダプターを抜かないでください。正しくファイナライズ解除されず、ディスクが使えなくなることがあります。
- ファイナライズ解除中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- ファイナライズ解除はDVD-RWでのみ行えます。DVD-Rは、一度ファイナライズすると、ファイナライズ解除できません。

ちょっと一言
- ファイナライズ解除にかかる時間は約20秒です。

1 **設定ボタンを押す。**
設定画面が表示されます。

2 **マルチセレクターで （ディスク設定）を選び、押して決定する。**

3 **マルチセレクターで［ファイナライズ解除］を選び、押して決定する。**

4 **マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。**

次のページへつづく

❺ マルチセレクターで［はい］を選び、押して決定する。

❻ ［完了］と表示されたら、設定ボタンを押す。

ファイナライズ解除画面が消えます。

ファイナライズ解除を中止するには

手順❷から❹の間で設定ボタンを押す。

ディスクを再利用する – 初期化（DVD-RWのみ）

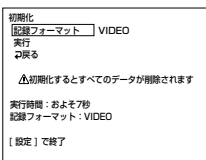
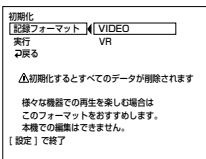
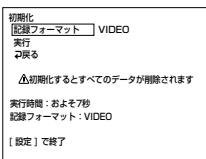
記録済みのDVD-RWを初期化して、新しいディスクの状態に戻せます。初期化すると記録した内容はすべて削除されますので、ご注意ください。
本機に記録済みのDVD-RWを入れておいてください。

ご注意
- 必ずACアダプターから電源をとってください。
- 初期化中にACアダプターを抜かないでください。正しく初期化されず、ディスクが使えなくなることがあります。
- 初期化中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- 初期化はDVD-RWでのみ行えます。DVD-Rでは行えません。

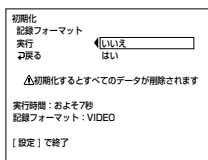
ちょっと一言
- 初期化にかかる時間はVIDEOモードで約10秒、VRモードで約40秒です。
- ファイナライズしたディスクを初期化すると、次のようになります。
  – VIDEOモード：ファイナライズ解除された状態
  – VRモード：ファイナライズされた状態
  VRモードのディスクはファイナライズされた状態で、追加記録や編集ができます。

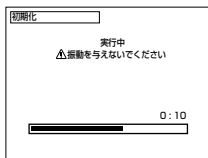
1 設定ボタンを押す。

2 マルチセレクターで （ディスク設定）を選び、押して決定する。

3 マルチセレクターで［初期化］を選び、押して決定する。

4 マルチセレクターで［記録フォーマット］を選び、押して決定する。

5 マルチセレクターで［VIDEO］または［VR］を選び、押して決定する。

次のページへつづく

❻ マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

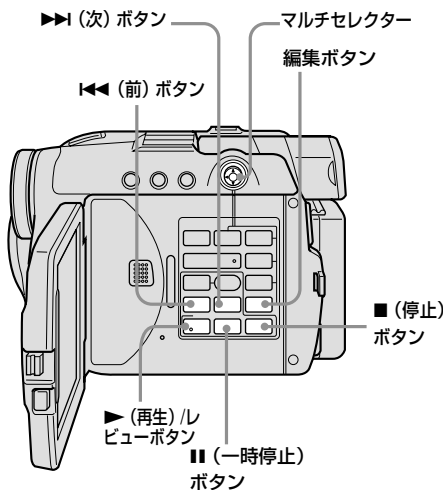
確認画面が表示されます。

❼ マルチセレクターで［はい］を選び、押して決定する。

初期化が始まります。

❽ ［完了］と表示されたら、設定ボタンを押す。

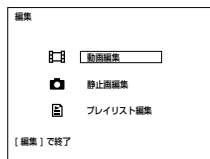
初期化画面が消えます。

ディスクは初期化され、再び記録できるようになります。

本機での再生順を選ぶ－プレイリスト

VRモードで記録したDVD-RWでは、プレイリストの編集ができます。プレイリストとは場面の再生順を好みに合わせて並び替えたものです。プレイリストを変更したり削除したりしても、オリジナルの場面には影響ありません。

ご注意
- プレイリストはVRモードでのみ使えます。
- 編集操作中は、本機からバッテリー、またはACアダプターを取りはずさないでください。ディスクが壊れる恐れがあります。

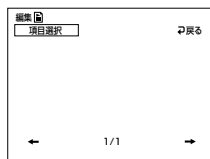
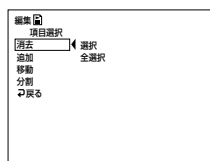
動画または静止画をプレイリストに登録する

本機にVRモードで記録済みのDVD-RWを入れておいてください。

1 モードダイヤルを ▶（見る/編集）にする。

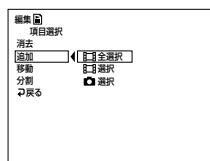
2 編集ボタンを押す。

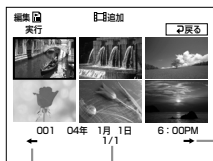
編集対象を選ぶ画面が表示されます。

3 マルチセレクターで［プレイリスト編集］を選び、押して決定する。

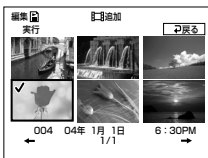
プレイリスト編集画面が表示されます。

4 マルチセレクターで［項目選択］を選び、押して決定する。

5 マルチセレクターで［追加］を選び、押して決定する。

VRモードで使う（DVD-RWのみ）

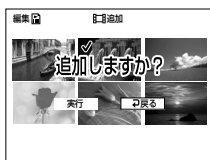
次のページへつづく

❻ マルチセレクターで、動画を登録するときは［🎞 選択］を、静止画を登録するときは［📷 選択］を選び、押して決定する。

ディスク内の動画、または静止画の一覧が表示されます。

❼ マルチセレクターで登録したい場面を選び、押して決定する。

選んだ場面には ✔ マークがつきます。

登録したい場面が複数ある場合はこの手順を繰り返します。

►ボタンを押すと、選んだ場面が再生され内容が確認できます。選択画面に戻るには■ボタンを押します。

❽ マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

確認画面が表示されます。

❾ マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

選んだ場面が、新しいプレイリストとして登録されます。静止画がプレイリストに登録されると、動画変換され新しい動画として動画のフォルダに加わります。登録が完了すると項目選択画面に戻ります。

ディスク内のすべての動画を一度にプレイリストに登録するには

手順❻で［🎞全選択］を選ぶ。

ディスク内のすべての静止画を一度にプレイリストに登録するには

「ディスク内のすべての静止画を1つの動画に変換する（フォトムービー作成）」（75ページ）をご覧ください。

登録を中止するには

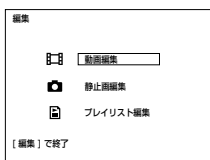
手順❸から❽の間で編集ボタンを押す。

ちょっと一言

- プレイリストには最大で999の場面を登録できます。
- プレイリストに登録できるのはMPEG2方式の動画データのみです。静止画はJPEG方式のデータなので、MPEG方式の動画に変換され、プレイリストに登録されます。もとの静止画はJPEG方式のまま残ります。
- 静止画から変換された動画は、画面上に📷🎞と表示されます。

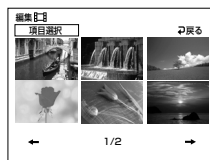
ディスク内のすべての静止画を1つの動画に変換する（フォトムービー作成）

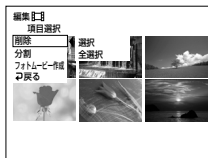
フォトムービーを作成すると、ディスクに記録されているすべての静止画が1つの動画ファイルになります。複数の静止画を1つの動画として扱うことで、より多くの場面をプレイリストに登録できます。

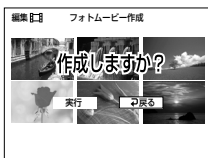
本機に静止画が記録されているDVD-RWを入れておいてください。

❶ モードダイヤルを ▶（見る/編集）にする。

❷ 編集ボタンを押す。

編集対象を選ぶ画面が表示されます。

❸ マルチセレクターで［動画編集］を選び、押して決定する。

動画編集画面が表示されます。

❹ マルチセレクターで［項目選択］を選び、押して決定する。

❺ マルチセレクターで［フォトムービー作成］を選び、押して決定する。

確認画面が表示されます。

❻ マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

ディスク内の静止画が、1つの動画ファイルに変換されます。静止画から変換された動画は、画面上にと表示されます。フォトムービーの作成が完了すると、項目選択画面に戻ります。

変換を中止するには

手順❸から❺の間で編集ボタンを押す。

次のページへつづく

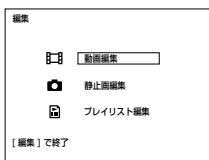
プレイリストから不要な場面をはずす

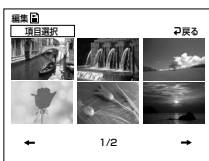
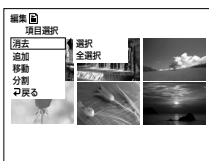
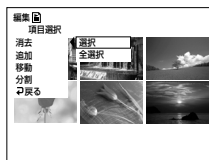
登録した場面をプレイリストからはずしても、オリジナルの場面はディスクからは削除されません。

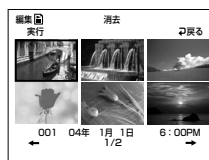
本機にプレイリストが登録されているDVD-RWを入れておいてください。

1 モードダイヤルを ▶（見る/編集）にする。

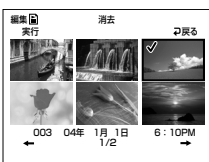
2 編集ボタンを押す。

編集対象を選ぶ画面が表示されます。

3 マルチセレクターで［プレイリスト編集］を選び、押して決定する。

プレイリスト編集画面が表示されます。

4 マルチセレクターで［項目選択］を選び、押して決定する。

5 マルチセレクターで［消去］を選び、押して決定する。

6 マルチセレクターで［選択］を選び、押して決定する。

プレイリストに登録された場面の一覧が表示されます。

7 マルチセレクターでプレイリストからはずしたい場面を選び、押して決定する。

選んだ場面には ✔ マークがつきます。

はずしたい場面が複数ある場合はこの手順を繰り返します。

►ボタンを押すと、選んだ動画が再生され内容が確認できます。選択画面に戻るには■ボタンを押します。

❽ マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

確認画面が表示されます。

❾ マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

選んだ場面がプレイリストからはずされます。

消去が完了すると項目選択画面に戻ります。

すべての場面を一度にプレイリストからはずすには

手順❻で［全選択］を選び、手順❾を行う。

中止するには

手順❸から❽の間で編集ボタンを押す。

ちょっと一言

- プレイリストに登録される静止画は、一度MPEG方式の動画ファイルに変換されます。プレイリストから静止画を消去しても、静止画から変換された動画は残ります。静止画から変換された動画を動画フォルダから削除するには、「場面を削除する」（83ページ）をご覧ください。

見たい順番に場面を並べ換える

本機にプレイリストが登録されているDVD-RWを入れておいてください。

❶ モードダイヤルを ▶（見る/編集）にする。

❷ 編集ボタンを押す。

編集対象を選ぶ画面が表示されます。

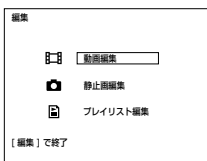
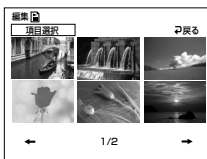
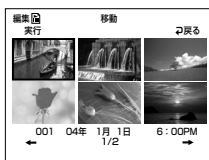
❸ マルチセレクターで［プレイリスト編集］を選び、押して決定する。

プレイリスト編集画面が表示されます。

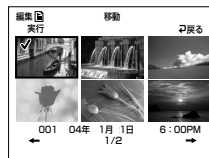
❹ マルチセレクターで［項目選択］を選び、押して決定する。

VRモードで使う（DVD-RWのみ）

次のページへつづく

❺ マルチセレクターで［移動］を選び、押して決定する。

プレイリストに登録された場面の一覧が表示されます。

❻ マルチセレクターで移動させたい場面を選び、押して決定する。

選んだ場面には ✔ マークがつきます。

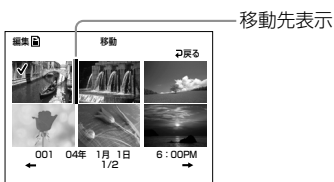
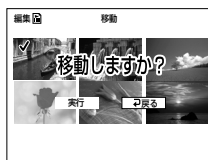
移動させたい場面が複数ある場合はこの手順を繰り返します。

►ボタンを押すと、選んだ動画が再生されます。選択画面に戻るには■ボタンを押します。

❼ マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

移動先選択画面が表示されます。

❽ マルチセレクターで場面の移動先を選び、押して決定する。

確認画面が表示されます。

❾ マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

手順❻で選んだ場面が移動先表示のあとに移動します。

複数の場面を選んだ場合はプレイリストに表示されていた順番で移動します。

移動が完了すると項目選択画面に戻ります。

並べ換えを中止するには

手順❸から❽の間で編集ボタンを押す。

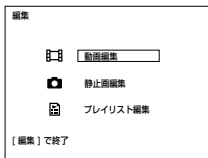
プレイリストに登録した動画を分割する

プレイリスト上で、動画を2つの場面に分割できます。プレイリスト上で分割しても、オリジナルの動画は分割されません。

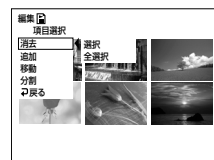
本機にプレイリストが登録されているDVD-RWを入れておいてください。

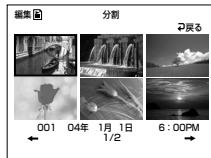
1 モードダイヤルを ▶（見る/編集）にする。

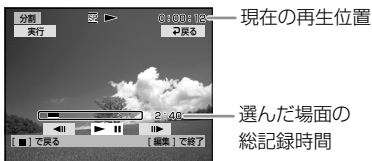
2 編集ボタンを押す。

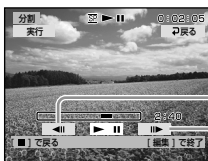
編集対象を選ぶ画面が表示されます。

3 マルチセレクターで［プレイリスト編集］を選び、押して決定する。

プレイリスト編集画面が表示されます。

4 マルチセレクターで［項目選択］を選び、押して決定する。

5 マルチセレクターで［分割］を選び、押して決定する。

プレイリストに登録された動画の一覧が表示されます。

6 マルチセレクターで分割したい場面を選び、押して決定する。

選んだ動画の再生が始まります。

7 分割したいところでマルチセレクターを押す。

動画が一時停止します。

マルチセレクターで◀IIまたはII▶を選んで押すと、分割位置を微修正できます。

ご注意

- 本機では0.5秒ごとに分割点を検出するため、◀II/II▶を選んで決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

次のページへつづく

8 マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

確認画面が表示されます。

9 マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

分割が始まります。

分割が完了すると項目選択画面に戻ります。

分割を中止するには

手順3から8の間で編集ボタンを押す。

ご注意

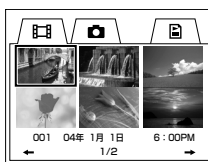
- 動画変換された静止画は分割できません。

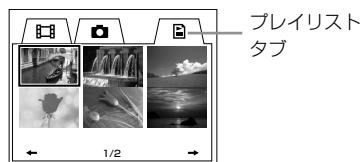
プレイリストを再生する

編集したプレイリストを再生します。

本機にプレイリストが登録されているDVD-RWを入れておいてください。

1 モードダイヤルを ▶（見る/編集）にする。

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

2 マルチセレクターで（プレイリスト）タブを選ぶ。

プレイリストに登録された場面がサムネイルで表示されます。

3 ►ボタンを押す。

プレイリストの再生が始まります。静止画の場合は一定時間表示されます。プレイリストに登録された場面が最後まで再生されるとビジュアルインデックス画面に戻ります。

再生を始める場面を選ぶには

マルチセレクターで再生したい場面を選び、決定ボタンを押す。

選んだ場面からプレイリストが再生されます。

再生中に前後の場面を表示するには

⏮/⏭ボタンを押す。

一時停止するには

⏸ボタンを押す。

再生を中止するには

■ボタンを押す。

オリジナルの静止画・動画を編集する

実際に撮影した動画や静止画をオリジナルといいます。DVD-RWにVRモードで記録すると、オリジナルを編集できます。プレイリストと違い、オリジナルを編集すると記録された内容そのものが変更されます。

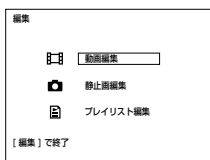
動画を分割する

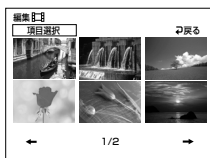
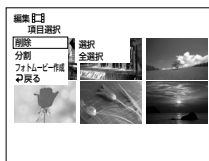
プレイリストでの分割と違い、撮影した動画そのものが分割されるのでご注意ください。

本機に動画が記録されているDVD-RWを入れておいてください。

1 モードダイヤルを ▶（見る/編集）にする。

2 編集ボタンを押す。

編集対象を選ぶ画面が表示されます。

3 マルチセレクターで［動画編集］を選び、押して決定する。

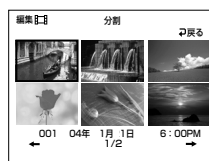
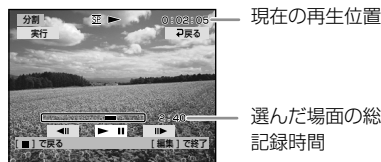
動画編集画面が表示されます。

4 マルチセレクターで［項目選択］を選び、押して決定する。

5 マルチセレクターで［分割］を選び、押して決定する。

ディスク内の動画の一覧が表示されます。

6 マルチセレクターで分割したい場面を選び、押して決定する。

選んだ動画の再生が始まります。

現在の再生位置

選んだ場面の総記録時間

7 動画の再生中に、分割したいところでマルチセレクターを押して決定する。

動画が一時停止します。

マルチセレクターで◀IIまたはII▶を選んで押すと、分割位置を微修正できます。

ご注意
- 本機では0.5秒ごとに分割点を検出するため、◀II/II▶を選んで決定した分割点と実際の分割点とでは若干のズレが生じることがあります。

8 マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

確認画面が表示されます。

9 マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。

分割が始まります。

分割が完了すると項目選択画面に戻ります。

分割を中止するには

手順3から8の間で編集ボタンを押す。

ご注意
- 静止画は分割できません。動画変換された静止画も分割できません。
- 動画がプレイリストに登録されている場合、オリジナルの動画を分割しても、プレイリストの動画は分割されません。

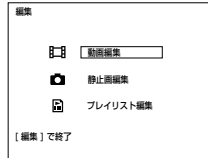
場面を削除する

プレイリストと異なり、実際に撮影した静止画や動画そのものがディスクから削除されるのでご注意ください。

本機に記録済みのDVD-RWを入れておいてください。

1 モードダイヤルを ▶（見る/編集）にする。

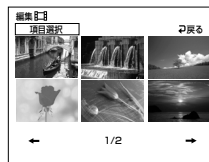
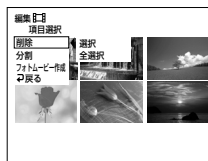
2 編集ボタンを押す。

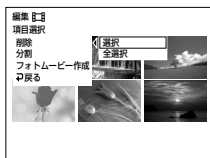
編集対象を選ぶ画面が表示されます。

3 マルチセレクターで［動画編集］または［静止画編集］を選び、押して決定する。

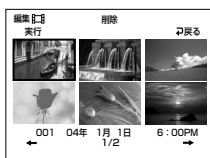
動画/静止画編集画面が表示されます。

4 マルチセレクターで［項目選択］を選び、押して決定する。

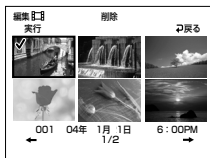
VRモードで使う（DVD-RWのみ）

次のページへつづく

オリジナルの静止画・動画を編集する（つづき）

❺ **マルチセレクターで［削除］を選び、押して決定する。**

❻ **マルチセレクターで［選択］を選び、押して決定する。**

ディスクに記録された動画または静止画の一覧が表示されます。

❼ **マルチセレクターで削除したい場面を選び、押して決定する。**

選んだ場面には ✔ マークがつきます。

削除したい動画や静止画が複数ある場合はこの手順を繰り返します。

►ボタンを押すと、選んだ場面が再生されます。選択画面に戻るには■ボタンを押します。

❽ **マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。**

確認画面が表示されます。

❾ **マルチセレクターで［実行］を選び、押して決定する。**

選んだ動画や静止画が削除されます。

削除が完了すると、項目選択画面に戻ります。

すべての動画や静止画を一括して削除するには

手順❻で［全選択］を選ぶ。

削除を中止するには

手順❸から❽の間で編集ボタンを押す。

ご注意

- 削除した動画がプレイリストに登録されている場合、プレイリストの動画も削除されます。
- 不要な場面を削除しても、ディスク残量がほとんど増えず、追加の記録ができない場合があります。

ちょっと一言

- ディスクに記録されているすべての場面を削除する場合は、初期化を行います（71ページ）。

本機とパソコンをつなぐ – はじめに

本機に付属のCD-ROMには、USBドライバと画像編集ソフトウェアが収録されています。お使いのパソコンにこれらをインストールし、本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、次のようなことができます。

- 撮影した画像をパソコンに取り込む
- 取り込んだ画像をパソコンで見る
- 取り込んだ画像をパソコンで編集する
- ディスクの複製を作る
- パソコンに取り込んだ画像を素材にしてオリジナルDVDを作る

ご注意

- お使いのパソコンによっては本機との画像のやりとりがうまくできないことがあります。その場合は、本機の設定画面で、(初期設定) の［USBスピード］を［固定（フルスピード）］に設定してください（111ページ）。
- アプリケーションソフトによっては、静止画ファイルを開くとファイルサイズが大きくなる場合があります。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰しないことがあります。
- 付属のCD-ROMはMac OSおよびMac OS Xでは使用できません。

ちょっと一言

- 本機はHi-Speed USB（USB 2.0 準拠）に対応しています。Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）に対応したUSBインターフェイスに接続すると、高速な転送（high-speed 転送）が行えます。
- Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）に対応していないUSBインターフェイスに接続した場合、USB1.1相当の転送速度（full-speed 転送）になります。

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は以下のホームページをご覧ください。

デジタルイメージングカスタマーサポート：

http://www.sony.co.jp/support-di/

パソコンの推奨使用環境

OS：Microsoft Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードされた場合やマルチブート環境の場合は保証いたしません。

CPU：Intel Pentium III500 MHz以上が必要です。（Pentium III 1 GHz以上を推奨します。）

ソフトウェア：
DirectX 8.0a以降が必要です。

サウンドカード：
16bitのステレオサウンドカード及びスピーカー

メモリ：64 MB以上が必要です。

ハードディスク：
約250 MB以上の空きディスク容量がインストールに必要（推奨2GB以上。編集する画像ファイルのサイズにより異なります）。

ディスプレイ：
4 MB以上のVRAMを搭載したビデオカード、解像度は800×600 ドット以上、High Color（16bitカラー、65 000色）、DirectDraw ドライバ対応（800×600 ドット未満、256色以下では正常に動作しません）

USB端子：
標準装備されていることが必要です。

お持ちのパソコンの各端子、編集ソフトについては、パソコンメーカーにお問い合わせください。

USBドライバをインストールする

次の操作はUSBケーブルを接続する前に行ってください。

本機をパソコンに認識させるUSBドライバをインストールします。

Windows XP/Windows2000をお使いの場合

Administrator権限・コンピューターの管理者権限でログオンしてください。

❶ **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

パソコンを使用中の場合には、使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

❷ **付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。**

インストーラーが起動し、メニュー画面が表示されます。

メニュー画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］をダブルクリックしたあと［ImageMixer］（CD-ROMドライブ）をダブルクリックしてしばらくすると表示されます。

❸ **［USB Driver］をクリックする。**

USBドライバのインストールウィザードが起動します。

❹ **［次へ］をクリックする。**

USBドライバのインストールが始まります。しばらくすると［InstallShieldウィザードの完了］画面が表示されます。

❺ **［完了］をクリックする。**

USBドライバのインストールが完了します。

ご注意

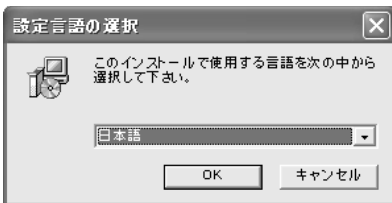
- USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続すると、USBドライバは正しくインストールされません。このときは、「USBドライバがインストールできない場合」（92ページ）の手順にしたがってUSBドライバを正しくインストールし直してください。

ソフトウェアをインストールする

本機から転送した画像をパソコン上で扱うためのソフトウェア「ImageMixer Ver.1.5 for Sony DVD Handycam」（以下ImageMixerと略します）と、CD-RやCD-RWへの書き込みソフトウェア「WINCDR Lite for Data」をインストールします。

1 USBドライバのインストールが完了したら、メニュー画面の［ImageMixer］をクリックする。

ImageMixerのインストールウィザードが起動し、［設定言語の選択］画面が表示されます。

メニュー画面が表示されないときは、［マイ コンピュータ］をダブルクリックしたあと［ImageMixer］（CD-ROMドライブ）をダブルクリックしてしばらくすると表示されます。

2 言語を選択して［OK］をクリックする。

ここでは日本語を選択します。

3 画面の指示にしたがって操作する。

「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されます。

4 ［完了］をクリックする。

ImageMixerのインストールが完了します。続いてWINCDRのインストール画面が表示されます。

5 ［はい］をクリックし、画面の指示にしたがって操作する。

6 ［InstallShieldウィザードの完了］画面が表示されたら［完了］をクリックする。

7 パソコンが再起動してからCD-ROMを取り出す。

ご注意

- DirectX 8.0a以降が入っていないパソコンではDirectXのインストール画面が表示されます。画面の指示にしたがって操作し、DirectXをインストールしてください。インストールが終了したら、パソコンを再起動してください。

次のページへつづく

WIN CDRについて
ImageMixerのCD書き込み機能を有効にするためにWINCDRのインストールが必要です。お使いのパソコンに他の書き込みソフトがインストールされていると、CDへの書き込みが正しく行われないことがあります。このときは、そのソフトをアンインストールしてください。ImageMixerのCD書き込み機能が正常にはたらくようになります。

本機をパソコンにつなぐ

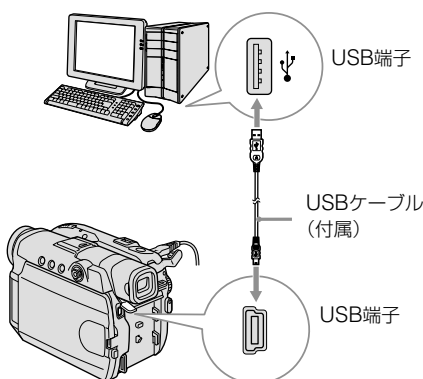
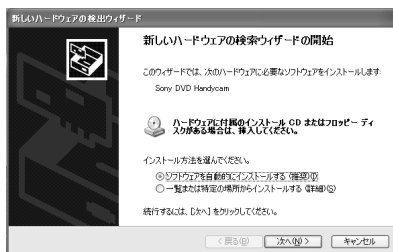
ご注意
- 本機とパソコンは、USBドライバのインストールが完了してからつないでください。ドライバをインストールする前につなぐと、USBドライバが正しくインストールできません。
- パソコン1台につき、本機は1台のみつなぐことができます。
- USBハブを介した接続や、パソコンに標準装備されていないUSB端子に接続した場合は動作保証いたしません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについての動作を保証するものではありません。

Windows XPをお使いの場合

1 本機にACアダプターを接続する。

2 本機のモードダイヤルを（見る/編集）にする。

3 本機の電源ボタンを数秒間押して、電源を入れる。

4 付属のUSBケーブルで、本機の（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。

パソコンが本機を認識し、［新しいハードウェアの検索ウィザードの開始］画面が表示されます。

5 ［ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）］にチェックをして、［次へ］をクリックする。

❻ **ハードウェアに最適なソフトウェアとして［Sony DVD Handycam］が選ばれていることを確認して、［次へ］をクリックする。**

［Sony DVD Handycam］が選ばれていない場合はクリックして選びます。

［新しいハードウェアの検索ウィザードの完了］画面が表示されます。

❼ **［完了］をクリックする。**

以上で本機とパソコンの接続は完了です。

USBドライバのインストールを確認するには

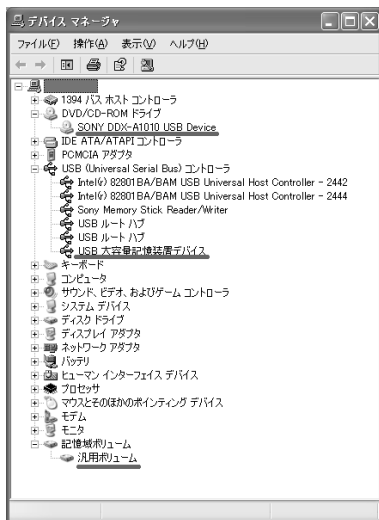
1 **［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする。**

2 **［パフォーマンスとメンテナンス］→［システム］をクリックする。**
［システムのプロパティ］画面が表示されます。

3 **［ハードウェア］タブをクリックする。**

4 **［デバイスマネージャ］をクリックする。**
デバイスマネージャが表示されます。

5 **［DVD/CD-ROMドライブ］に［SONY DDX-A1010 USB Device］が、［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］に［USB大容量記憶装置デバイス］が、［記憶域ボリューム］に［汎用ボリューム］が表示されていることを確認する。**
3つとも確認できたら、USBドライバは正常にインストールされています。いずれかが表示されていない場合は、「USBドライバがインストールできない場合」（92ページ）をご覧ください。

次のページへつづく

本機とパソコンをつなぐ – はじめに（つづき）

Windows 2000をお使いの場合

❶ **本機にACアダプターを接続する。**

❷ **本機のモードダイヤルを▶（見る/編集）にする。**

❸ **本機の電源ボタンを数秒間押して、電源を入れる。**

❹ **付属のUSBケーブルで、本機の ψ（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。**

パソコンが本機を認識し、［新しいハードウェアが見つかりました］画面が表示され、自動的にUSBドライバのインストールが完了します。

❺ **画面の指示にしたがって操作する。**

パソコンが再起動し、本機とパソコンの接続は完了です。

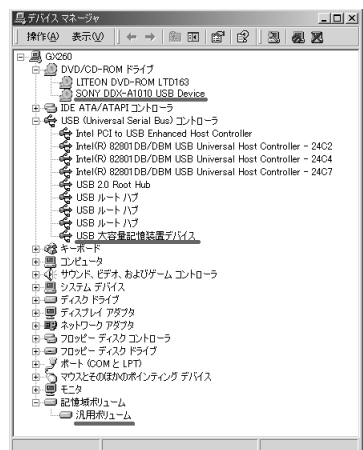
USBドライバのインストールを確認するには

1 **［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックする。**

2 **［システム］をクリックする。**
［システムのプロパティ］画面が表示されます。

3 **［ハードウェア］タブをクリックする。**

4 **［デバイスマネージャ］をクリックする。**
デバイスマネージャが表示されます。

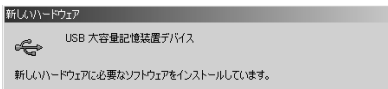
5 **［DVD/CD-ROMドライブ］に［SONY DDX-A1010 USB Device］が、［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］に［USB大容量記憶装置デバイス］が、［記憶域ボリューム］に［汎用ボリューム］が表示されていることを確認する。**
3つとも確認できたら、USBドライバは正常にインストールされています。いずれかが表示されていない場合は、「USBドライバがインストールできない場合」（92ページ）をご覧ください。

Windows Meをお使いの場合

❶ **本機にACアダプターを接続する。**

❷ **本機のモードダイヤルを▶（見る/編集）にする。**

❸ **本機の電源ボタンを数秒間押して、電源を入れる。**

❹ **付属のUSBケーブルで、本機の⇆（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。**

パソコンが本機を認識し、[新しいハードウェア] 画面が表示され、自動的にUSBドライバのインストールが完了します。

❺ **画面の指示にしたがって操作する。**

パソコンが再起動し、本機とパソコンの接続は完了です。

USBドライバのインストールを確認するには

1 **[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする。**

2 **[システム] をクリックする。**
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。

3 **[デバイスマネージャ] をクリックする。**
デバイスマネージャが表示されます。

4 **[CD-ROM] に [SONY DDX-A1010] が、[USB（Universal Serial Bus）コントローラ] に [USB Mass Strage Device] が、[記憶装置] に [Sony DVD Handycam] が表示されていることを確認する。**
3つとも確認できたら、USBドライバは正常にインストールされています。
いずれかが表示されていない場合は、「USBドライバがインストールできない場合」（92ページ）をご覧ください。

パソコンとつなぐ

次のページへつづく

USBケーブルをはずすときは

❶ ［ハードウェアの安全な取り外し］または［ハードウェアの取り外し］のアイコンをクリックし、タスクトレイに表示されるデバイスから該当するものを選んでクリックする。

❷ ［'USB大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます］（Windows XP/Windows2000）または［'Sony DVD Handycam' は安全に取り外すことができます］（Windows Me）が表示されたらUSBケーブルを抜き、本機の電源を切る。

ご注意

- 本機の電源は、USBケーブルをパソコンからはずしてから切ってください。パソコンにつないだまま本機の電源を切ると、パソコンから正しく取りはずせない場合があります。
- 本機のアクセスランプの点灯中は、USBケーブルをパソコンからはずさないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

USBドライバがインストールできない場合

USBドライバのインストールが完了する前に本機とパソコンを接続したため、USBドライバが誤って登録されています。USBドライバを正しくインストールすることによって、誤った情報は削除されます。次の手順にしたがってUSBドライバをインストールしてください。

❶ 「USBケーブルをはずすときは」（92ページ）の手順にしたがって、本機をパソコンから取りはずす。

❷ 「USBドライバをインストールする」（86ページ）の手順にしたがって、USBドライバを再インストールする。

❸ ［InstallShieldウィザードの完了］画面が消えたあと、パソコンを再起動する。

❹ 「本機をパソコンにつなぐ」（88ページ）の手順にしたがって、本機とパソコンをつなぐ。

以上でUSBドライバのインストールと、パソコンへの本機の接続は完了です。

ソフトウェアのオンラインヘルプを使う

ImageMixerの詳しい操作方法を調べられるオンラインヘルプが用意されています。

1 ImageMixer 画面右上の?ボタンをクリックする。

または［スタート］→［プログラム］（Windows XPでは［すべてのプログラム］）→［PIXELA］→［ImageMixer］→［ヘルプ］の順に開きます。

ImageMixerのヘルプ画面が表示されます。

2 目次から知りたい内容を探し、調べる。

オンラインヘルプを閉じるには

ImageMixerのヘルプ画面右上の☒ボタンをクリックする。

ImageMixerに関するお問い合わせ

ImageMixerは株式会社ピクセラの製品です。お問い合わせはピクセラユーザーサポートセンターまでお願いいたします。

ピクセラユーザーサポートセンター

電話：06-6633-3900

受付時間：月～日曜日 午前9時～午後5時

（ただし、年末、年始、祝日を除く）

URL: http://www.imagemixer.com

画像をパソコンで見る

パソコンでディスクの画像を見るには、USBドライバとImageMixer がインストールされていることが必要です（86ページ）。

Windows XP/Windows2000をお使いの場合

Administrator権限・パソコンの管理者権限でログオンしてください。

ディスクの画像を見る

本機に記録済みのディスクを入れてパソコンにつなぐと、ディスクをファイナライズせずにパソコンで画像を見ることができます。

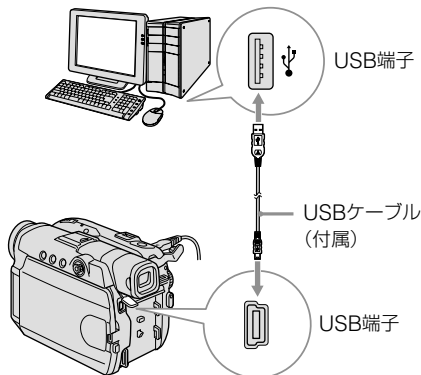
1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 本機にACアダプターを接続する。

3 本機のモードダイヤルを ▶（見る/編集）にする。

4 電源ボタンを数秒間押して、本機の電源を入れる。

5 本機にディスクを入れる。

6 付属のUSBケーブルで、本機の ψ(USB) 端子とパソコンのUSB端子を接続する。

7 Windowsのデスクトップにある［ImageMixer Ver.1.5 for Sony DVD Handycam］アイコンをダブルクリックする。

または［スタート］メニューから［プログラム］（Windows XPでは［すべてのプログラム］）→［PIXELA］→［ImageMixer］→［ImageMixer Ver.1.5 for Sony DVD Handycam］の順に開きます。

ImageMixerが起動し、タイトル画面が表示されます。

8 **画面一番左の をクリックする。**

ディスクに記録された画像のサムネイル一覧が表示されます。
表示されない場合は、まず 、つぎに をクリックします。

サムネイル

動画を見る場合は を、
静止画を見る場合は を
クリックします。

9 **サムネイル一覧から見たい画像をダブルクリックする。**

一時的にコピーされた後、パソコン上のプレビュー画面に選んだ画像が表示されます。
サムネイル一覧に戻るには、画面右の をクリックします。

画像をパソコンに保存するには

1 **保存したい画像のサムネイルをクリックする。**

2 **をクリックする。**

選んだ画像がアルバムに保存されます。

アルバムを見るには

1 **をクリックする。**

2 **サムネイル一覧から見たい画像をダブルクリックする。**

選んだ画像が表示されます。動画の場合は をクリックして再生します。
サムネイル一覧に戻るには、画面右上の をクリックします。

ご注意

- USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続すると、USBドライバが誤って登録されます。「USBドライバがインストールできない場合」（92ページ）の手順にしたがって、正しくインストールしてください。
- 動画の録画モードや撮影時間によっては、画像をパソコンに保存するのに時間がかかる場合があります。
- パソコンの画面にサムネイル一覧が表示されている間は、本機からディスクを取り出すことはできません。
- 不具合が生じたときは、起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンを再起動してください。

ちょっと一言

- アルバムとは、本機から取り込んだ静止画や動画ファイルを登録、管理する単位です。
- 静止画から変換された動画は表示されません。

複製ディスクを作る – ディスクダビング

パソコンから新しいディスクにコピーする

ファイナライズ済みのディスクの内容をコピーして、複製ディスクが作れます。

❶ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

❷ 本機にACアダプターを接続する。

❸ 本機のモードダイヤルを▶（見る/編集）にする。

❹ 本機の電源ボタンを数秒間押して、電源を入れる。

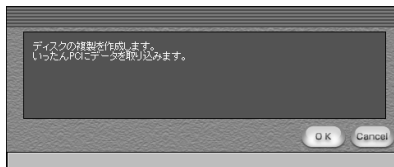
❺ 本機にファイナライズ済みのディスクを入れる。

❻ 付属のUSBケーブルで、本機の(USB)端子とパソコンのUSB端子を接続する。

❼ ImageMixerを起動する。

❽ 画面左の をクリックする。

❾ （イメージ作成ボタン）をクリックする。

確認画面が表示されます。

❿ [OK] をクリックする。

⓫ パソコン画面上に取り込み完了のメッセージが表示されたら、本機のディスクを取り出し、新しいディスクを入れる。

⓬ [OK] をクリックする。

パソコンから新しいディスクへのデータコピーが始まります。複製が完成すると、続けて複製を作成するか確認の画面が表示されます。

⓭ 続けて複製を作る場合は、画面の指示にしたがってディスクを入れ換え、[OK] をクリックする。

続いて複製が始まります。

作業を終える場合は [Cancel] をクリックします。

⓮ 画面の指示にしたがってディスクを取り出す。

ご注意

- コピー先のディスクには、推奨ディスク（6ページ）をお使いください。
- 動画の録画モードや撮影時間によってはコピーに時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないディスクのコピーはできません。
- VRモードで記録したDVD-RWをDVD-Rへコピーすることはできません。DVD-RWをお使いください。
- ディスクのコピー中は本機のアクセスランプが点灯します。この間は本機からディスクを取り出すことはできません。
- コピーした画像は本機の記録方式とは異なるため、コピー先のディスクにDVD-RWを使った場合でも、ファイナライズ解除や追記はできません。本機で新たに記録したい場合は、DVD-RWを初期化する必要があります。

ちょっと一言

- ImageMixerで動画をパソコンに取り込み、形式を変換して他のDVDオーサリングアプリケーションソフトウェアで使うには、エクスポート作業が必要です。詳しくはImageMixerのオンラインヘルプをご覧ください。

画像を編集して保存する

ImageMixerを使い、パソコンに取り込んだ画像を編集できます。

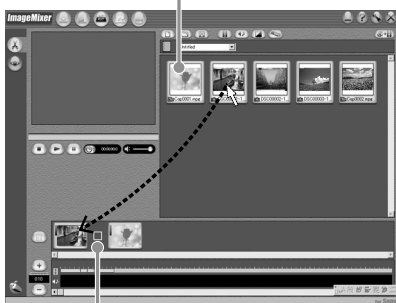
動画を編集する

撮影した場面をつなぎ合わせて、1つの画像に編集できます。

❶ メニュー画面の （アイコン） をクリックする。

動画編集モードに切り換わり、サムネイルが表示されます。

❷ つなげたい順番に、サムネイルをストーリーボードにドラッグアンドドロップする。

サムネイル

ストーリーボード

場面を削除したいときは、削除したい場面をクリックし、（ごみ箱アイコン）（ごみ箱）をクリックします。

画像をパソコンに保存する

編集した作品を動画ファイルとして保存します。

ここでは例として、［マイ ドキュメント］フォルダに保存します。

❶ 画面右上の （アイコン）（ムービーを作成）ボタンをクリックする。

［出力フォーマットの設定］画面が表示されます。

❷ ［OK］をクリックする。

［名前を付けて保存］画面が表示されます。

❸ 保存する場所に、［マイ ドキュメント］フォルダを選び、名前を付けて保存する。

保存が完了すると、新しいファイルとしてImageMixerのアルバムにも登録されます。

ご注意

- 以下の場合は保存に時間がかかります。
  - 動画と静止画のファイルが混在している。
  - 動画の記録モードが混在している（HQ/SP/LP）。
  - フェーダーなどの効果を加えている。

保存した作品を見るには

保存した作品（この例では［マイ ドキュメント］フォルダの中に保存されています）のアイコンをダブルクリックする。

Windows Media Playerが起動し、再生が始まります。

オリジナルディスクを作る

ImageMixerでは、アルバムに登録した画像を編集、レイアウトして、オリジナルDVDを作れます。

メニューを作る

DVDプレーヤーで再生できるように、メニュー画面を作ります。

1 メニュー画面の をクリックする。

メニューレイアウト画面が表示されます。

2 タブをクリックして、背景を選ぶ。

3 DVDに記録したい画像のサムネイルを、背景にドラッグアンドドロップする。

背景にアイコンが表示され、選んだ画像がコンテンツに登録されます。

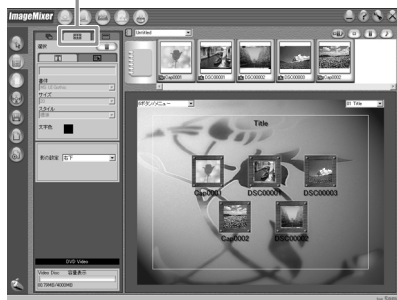
アルバムをドラッグアンドドロップして、アルバムを1つのタイトルとして登録することもできます。

また、複数のアルバムから画像をつなぎ合わせて1つのタイトルとして表示することもできます。

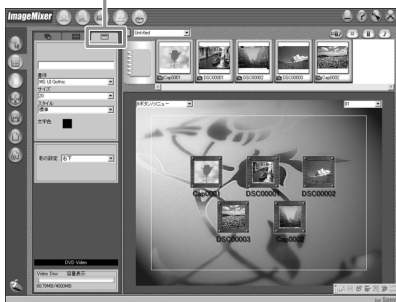
4 アイコンの名前やデザインを変えたい場合は、 タブをクリックする。

変更したいアイコンをクリックして、設定を変更します。

パソコンとつなぐ

次のページへつづく

❺ **メニューに表示されるディスクタイトルを変えたい場合は、［タブ］タブをクリックする。**

タイトル名、書体など変更したい項目を変更します。

タブ

ちょっと一言

- お手持ちのパソコンのDVDドライブでDVDを作成するときは、右上の（設定）画面で「ディスクタイプ」を「1.4G」から「4.7G」（Gバイト）に変更できます。パソコンで12 cm DVD-R/DVD-RWの容量いっぱいに記録できるようになります。

コンテンツを編集する

画像の追加や削除、並べ換え、サムネイルに使用する画像の選択ができます。

❶ **編集したいコンテンツのアイコンをクリックして、画面左の をクリックする。**

アルバム画面が表示されます。

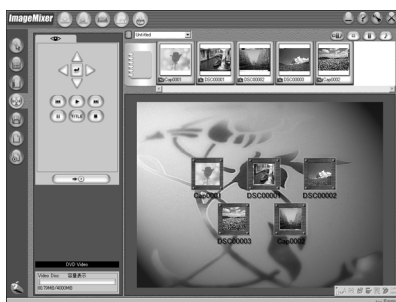
❷ **コンテンツを追加したり並び換えたりする場合は、コンテンツをドラッグアンドドロップする。**

コンテンツを削除する場合は、削除したいコンテンツをクリックし、（ごみ箱）をクリックします。ただし、サムネイルに選んでいる画像は削除できません。

ディスクに書き込む

作成したメニュー、コンテンツの内容をプレビュー画面で確認してからディスクに書き込めます。

❶ 画面左の をクリックする。

プレビュー/作成画面が表示されます。

❷ 画面左上の （プレビューパネル）のボタンをクリックして、コンテンツを確認する。

選んでいるアイコンの画像を再生します。

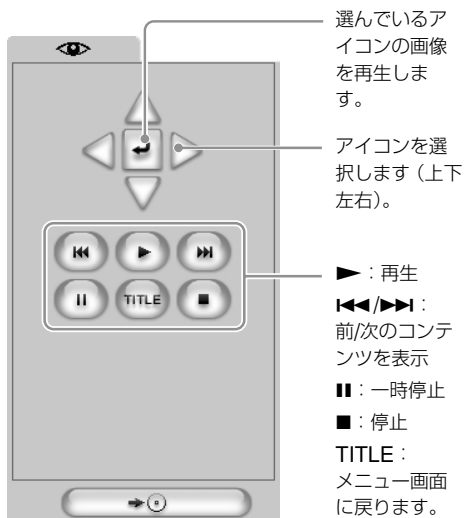
アイコンを選択します（上下左右）。

►：再生

◄◄/►►：前/次のコンテンツを表示

❚❚：一時停止

■：停止

TITLE：メニュー画面に戻ります。

❸ 内容が正しいことを確認して、本機に新しいディスクを入れ、パソコンにUSBケーブルでつなぐ。

❹ をクリックする。

［DVD Videoの作成］画面が表示されます。

❺ ［OK］をクリックする。

ディスクの作成が始まります。

作成が完了すると、もう一枚ディスクを作成するかの確認画面が表示されます。

❻ もう一枚ディスクを作成するときは［OK］をクリックする。

再度ディスクの作成が始まります。作業を終える場合は［Cancel］をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってディスクを取り出す。

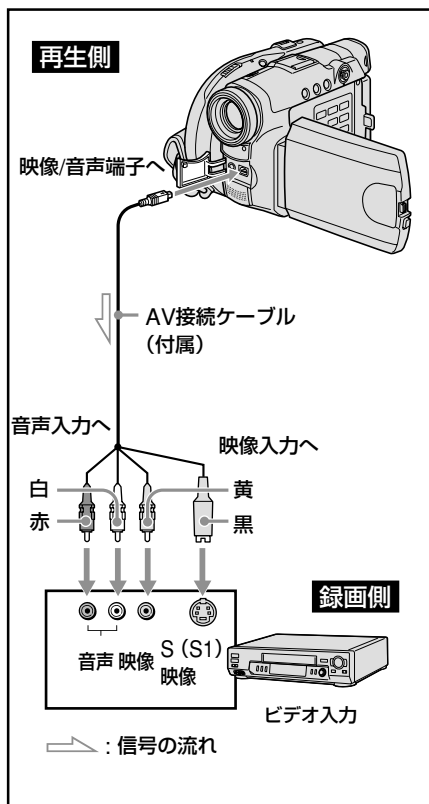
ご注意

- 動画の録画モードや撮影時間によっては、ディスク作成に時間がかかる場合があります。
- ディスクへの記録中は、本機のアクセスランプが点灯します。この間は本機からディスクを取り出すことはできません。

他のビデオへダビングする

本機を再生機として使い、接続したビデオで録画できます。

ビデオを接続する

本機をビデオにAV接続ケーブル（付属）でつなぐ。

ちょっと一言

- 相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。
  8、Hi8、VHS、VHS C、S VHS、S VHS C、B、ED Beta、Mini DV、DV、D8、MICRO MV
- 録画側ビデオの音声入力が1つ(モノラル)の場合、AV接続ケーブルの黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。
- S映像端子を使うと、より忠実に映像を再現できます。接続先の機器にS（S1）映像端子が付いているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）の代わりにS映像プラグを接続先の機器のS（S1）映像端子につないでください。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

テープにダビングする

操作の前に、次のことをおこなってください。

- 設定画面の ETC（その他）で［画面表示］を［パネル］にしてください。（お買い上げ時は［パネル］に設定されています。）
- 本機の画面表示/バッテリーインフォボタン、リモコンの画面表示ボタン、データコードボタンを押して画面表示を消してください。消さないでダビングすると録画側に記録されます。

❶ 本機に撮影済みのディスクを入れる。

❷ ビデオの準備をする。

ビデオに録画用のテープを入れます。入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にします。

詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

❸ ビデオで録画を始める。

❹ 本機でディスクを再生する。

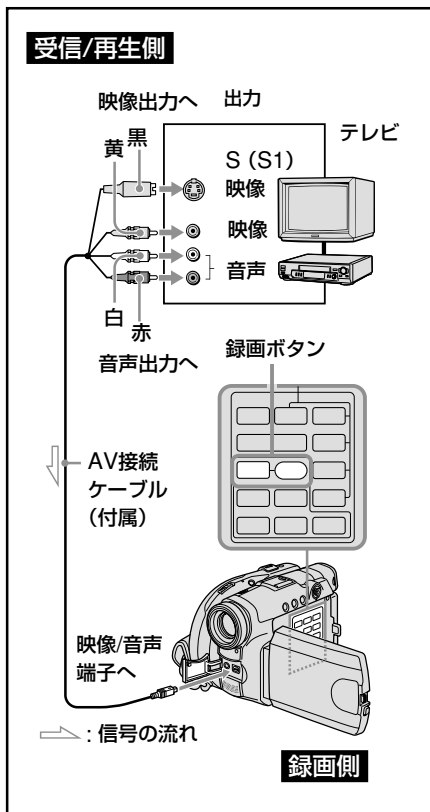
ダビングが終わったら

ビデオの録画を停止し、■を押して本機での再生を停止する。

ディスクにテレビやビデオからダビングする

本機を録画機として使い、本機に接続したビデオで再生した画像やテレビ番組を録画できます。

テレビやビデオに接続する

本機をテレビやビデオにAV接続ケーブル（付属）でつなぐ。

映像端子を選ぶ

本機に付属のAV接続ケーブルには映像プラグとS映像プラグがあります。お使いになる機器に合わせて使用する端子を設定する必要があります。

メニューのETC（その他）の項目の［画面表示］を［パネル］にしてから以下の操作を行ってください（お買い上げ時は「パネル」に設定されています）。

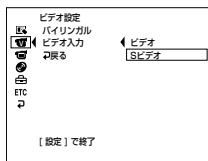
リモコンでも操作できます。

1 **モードダイヤルを▶（見る/編集）にする。**

2 **設定ボタンを押す。**

設定画面が表示されます。

3 **マルチセレクターで［ビデオ設定］を選び、押して決定する。**

4 **マルチセレクターで［ビデオ入力］を選び、押して決定する。**

5 **マルチセレクターで［ビデオ］または［Sビデオ］を選び、押して決定する。**

6 **設定ボタンを押す。**

設定画面が消えます。

録画する

❶ 再生機を準備する。

ビデオから録画するときは、録画済みのテープを入れます。

❷ 本機のモードダイヤルを ▶（見る/編集）にして電源を入れる。

❸ 本機に録画用のディスクを入れる。

新しいDVD-RWを入れると、初期化画面が表示されます。画面の指示にしたがってVIDEOモードまたはVRモードで初期化してください。

❹ 本機のビジュアルインデックスボタンを押す。

ビジュアルインデックス画面が消え、ライン入力の映像が液晶画面に表示されます。

❺ ビデオから録画するときはビデオを再生する。テレビから録画するときは録画したいテレビ番組を受信する。

つないだ機器の画像が液晶画面またはファインダーに映ります。

❻ 録画したい場面で録画（●）ボタンと、その右隣のボタンを同時にを押す。

録画が始まります。

ダビングが終わったら

■ボタンを押して本機での録画を停止し、再生機で再生を停止する。

ご注意

- 本機のフォトボタンを押して、テレビやビデオから入力している映像を、ディスクに静止画として記録することはできません。

ちょっと一言

- 録画ボタンを押した時点と、実際に録画が始まる時点にはずれがあります。
- 録画モードを変更するには、29ページを参照してください。
- ビデオやテレビの音声出力端子が1つ（モノラル）の場合、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声出力につなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグを使うと右音声が、記録されます。
- S映像端子を使うと、より忠実に映像を再現できます。接続先の機器にS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）の代わりにS映像プラグを接続先の機器のS（S1）映像端子につないでください。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

お買い上げ時の設定を変える

画面上の設定項目を、マルチセレクターで選択することで、本機のお買い上げ時の設定を変更することができます。

変更したい設定項目は次の順で選択します。
設定画面→アイコン（絵文字）→項目→設定内容

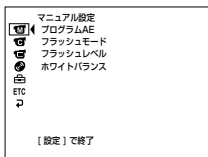
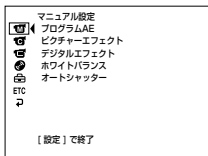
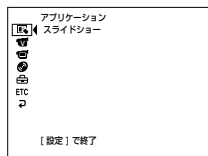
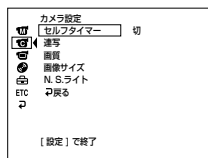
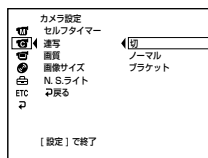
設定項目は以下のアイコン（絵文字）で区別されています。モードダイヤルの位置によって、表示される項目は異なります。

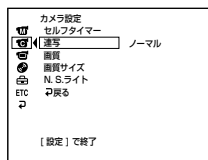
- アプリケーション
- マニュアル設定
- カメラ設定
- パネル/VF設定
- ビデオ設定
- ディスク設定
- 初期設定
- ETC その他

❶ 電源ボタンを数秒間押して、電源を入れる。

❷ 設定ボタンを押す。

モードダイヤルの位置によって、次のいずれかの画面が表示されます。

モードダイヤルが （静止画）のとき

モードダイヤルが （動画）のとき

モードダイヤルが （見る/編集）のとき

❸ マルチセレクターで希望のアイコンを選び、押して決定する。

❹ マルチセレクターで希望の項目を選び、押して決定する。

❺ マルチセレクターで設定を変更し、押して決定する。

❻ 必要なだけ手順❸～❺を繰り返す。

手順❸に戻るには、［ 戻る］を選びます。

詳しくは「各設定項目の説明」（次ページ）をご覧ください。

設定画面を消すには

もう一度設定ボタンを押す。

各設定項目の説明

モードダイヤルの位置によって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、そのとき使える項目のみ表示されます。

お買い上げ時は、下表の●印に設定されています。

マニュアル設定

項目	設定	設定の意味（参照ページ）	モードダイヤルの位置
プログラムAE	—	被写体や撮影状況により適した調整を自動的に行う。（48ページ）	
ピクチャーエフェクト	—	動画にテレビや映画のような特殊効果を加える。（51ページ）	
デジタルエフェクト	—	デジタル機能を使って、動画に演出を加える。（51ページ）	
フラッシュモード*1	●入	フラッシュ（別売り）が周囲の明るさにかかわらず発光する。	
	入 *3	フラッシュ（別売り）が周囲の明るさにかかわらず発光する。発光時は撮影前に予備発光し、目が赤く映ることを抑制する。	
	オート	光量が充分でないとき、フラッシュ（別売り）が自動的に発光する。	
	オート *3	光量が充分でないとき、フラッシュ（別売り）が自動的に発光する。発光時は撮影前に予備発光し、目が赤く映ることを抑制する。	
フラッシュレベル *1 *2	明るい	フラッシュ（別売り）の発光量を通常より多くする。	
	●ノーマル	通常の設定。	
	暗い	フラッシュ（別売り）の発光量を通常より少なくする。	
ホワイトバランス	—	ホワイトバランスを調整する。（47ページ）	
オートシャッター	●入	明るいとき、自動的に電子シャッター*4が働く。	
	切	明るいときでも、電子シャッター*4が働かない。	

*1 別売りのフラッシュを取り付けたときのみ設定できます。
*2 フラッシュレベルに対応していない外部フラッシュでは設定できません。
*3 赤目軽減に対応していない外部フラッシュでは設定できません。
*4 電子シャッターとは、電気的にシャッタースピードを調整する機能です。

次のページへつづく

カメラ設定

項目	設定	設定の意味（参照ページ）	モードダイヤルの位置
セルフタイマー	●切	セルフタイマーを使わない。	
	入	セルフタイマーを使って撮影する。（44ページ）	
デジタルズーム	●切	デジタルズームが働かない。 10倍までのズームが働く。	
	20×	ズームが10倍を超えると20倍までデジタルズームが働く。（31ページ）	
	120×	ズームが10倍を超えると120倍までデジタルズームが働く。	
ワイドTV	●切	ワイドTVモードにしない。	
	入	ワイドTVモードにする。（45ページ）	
手ぶれ補正	●入	手ぶれ補正が働く。	
	切	手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するとき自然な画像になる。	
連写	●切	連写しない。	
	ノーマル	1152×864の場合は最大4枚まで、 640×480の場合は最大12枚まで連写できる。 （38ページ）	
	ブラケット	露出を変えて3枚の画像を連写する。	
画質	●ファイン	高画質で静止画を記録する。（35ページ）	
	スタンダード	標準の画質で静止画を記録する。	
画像サイズ	●1152×864	静止画を1152×864サイズで記録する。 （36ページ）	
	640×480	静止画を640×480サイズで記録する。（36ページ）	
N.S.ライト	●入	NightShotライトを使用する。（43ページ）	
	切	NightShotライトを使用しない。	

ご注意

手ぶれ補正について

- 手ぶれ補正が［入］になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- コンバージョンレンズ（別売り）を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。

ちょっと一言

- 手ぶれ補正を解除すると、本機を左右に動かしたときにその動きを補正しようとするなどの、不必要な補正を防ぎます。このとき画面に手ぶれ補正［切］表示が出ます。

パネル/VF設定

項目	設定	設定の意味（参照ページ）	モードダイヤルの位置
パネル明るさ	—	液晶画面の明るさを、マルチセレクターを－/＋に動かして調整する。 暗くなる　明るくなる	動画 / 静止画 / 再生
パネルバックライト	●明るさノーマル	液晶画面のバックライトを標準の明るさにする。	動画 / 静止画 / 再生
	明るい	液晶画面のバックライトをより明るくする。	
パネル色のこさ	—	液晶画面の色のこさを、マルチセレクターを－/＋に動かして調整する。 うすくなる　こくなる	動画 / 静止画 / 再生
VFバックライト	●明るさノーマル	ファインダーのバックライトを標準の明るさにする。	動画 / 静止画 / 再生
	明るい	ファインダーのバックライトをより明るくする。	

ご注意

パネルバックライト、VFバックライトについて

- ［明るい］を選ぶと撮影時のバッテリー使用時間が若干短くなります。
- バッテリー以外の電源で使うときは自動的に［明るい］になります。

ちょっと一言

- ［パネル明るさ］、［パネルバックライト］、［パネル色のこさ］、［VFバックライト］は調整しても記録される画像に変化はありません。

アプリケーション設定

項目	設定	設定の意味（参照ページ）	モードダイヤルの位置
スライドショー	—	スライドショーを実行する。（60ページ）	再生

設定を変える

次のページへつづく

お買い上げ時の設定を変える（つづき）

ビデオ設定

項目	設定	設定の意味（参照ページ）	モードダイヤルの位置
バイリンガル	●切	ステレオまたは主＋副音声で再生する。	
	メイン	左音声または主音声で再生する。	
	サブ	右音声または副音声で再生する。	
ビデオ入力	●ビデオ	AV接続ケーブルの映像端子を使って、相手機から映像を入力する。	
	Sビデオ	AV接続ケーブルのS映像端子を使って、相手機から映像を入力する。	

ディスク設定

項目	設定	設定の意味（参照ページ）	モードダイヤルの位置
録画モード	HQ	高画質設定（High Quality）で録画する。	
	●SP	標準設定で（Standard Play）録画する。	
	LP	長時間設定（Long Play）で録画する。	
初期化*1	—	ディスクを初期化する。（71ページ）	
ファイナライズ	—	ディスクへの書き込みを禁止して、他の機器で再生できるようにする。（62ページ）	
ファイナライズ解除*1 *2	—	ファイナライズしたディスクを記録できる状態に戻す。（69ページ）	
ディスクタイトル	—	ディスクに名前を付ける。（64ページ）	
ファイルナンバー	●連番	ディスクを取り換えてもファイル番号を連続して付ける。	
	リセット	ディスク毎にファイル番号を0001から付ける。	

*1 DVD-RWのみ
*2 VIDEOモードのみ

初期設定

項目	設定	設定の意味（参照ページ）	モードダイヤルの位置
日時あわせ	—	日付・時刻を合わせる。（22ページ）	動画・静止画・見る/編集
自動電源オフ	●5分後	本機の電源を入れたまま、何も操作をしない状態が5分以上続くと自動的に電源を切る。	動画・静止画・見る/編集
	なし	操作がなくても電源を切らない。	
設定文字サイズ	●ノーマル	標準の大きさの文字で画面に表示する。	動画・静止画・見る/編集
	2×	2倍の大きさの文字で画面に表示する。	
USBスピード	●オート	接続するパソコンに対応した速度でデータ転送を行う。	見る/編集
	固定（フルスピード）	USB1.1相当の速度（full-speed転送）でデータ転送を行う。	
デモモード	●入	本機の機能を一覧できる。	動画
	切	デモンストレーションを表示しない。	

ご注意

デモモードについて

- ディスクが入った状態では操作できません。
- NIGHTSHOT PLUSスイッチを「入」にしていると、“NIGHTSHOT PLUS” が表示され、デモンストレーションは始まりません。また、メニューでも［デモモード］が選べません。
- 次の操作をするとデモンストレーションが中断されます。
  - モードダイヤルを（静止画）または（見る/編集）にしたとき
  - 設定ボタンを押したとき
  - NIGHTSHOT PLUSスイッチを「入」にしたとき
  - ディスクオープン（開く）スイッチをスライドさせたとき
- お買い上げ時、デモモードの設定はスタンバイ状態になっています。これは約10分後にデモンストレーションが始まる設定です。

ディスクを入れるか、モードダイヤルを（静止画）または（見る/編集）にするか、設定で［切］にすれば解除されます。再びスタンバイ状態にするには設定で［入］にしたまま電源を1度切り、モードダイヤルを（動画）に戻して電源を入れます。

次のページへつづく

ETC その他

項目	設定	設定の意味（参照ページ）	モードダイヤルの位置
データコード（リモコン操作時）	●日付/カメラデータ	リモコンのデータコードボタンを押すたびに、日時→カメラデータ→表示切の順に切り換わる。（58ページ）	▶
	日付データ	リモコンのデータコードボタンを押したとき、日付・時刻を表示する。	
エリア設定	—	使用する地域を合わせる。（22ページ）	🎞 📷 ▶
サマータイム	●切	サマータイムを設定しない。	🎞 📷 ▶
	入	サマータイムを設定する。（22ページ）	
おしらせブザー	●メロディー	撮影スタート/ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。	🎞 📷 ▶
	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。	
	切	メロディー、ブザー、シャッター音が鳴らない。	
リモコン	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	🎞 📷 ▶
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。	
画面表示	●パネル	カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。	🎞 📷 ▶
	ビデオ出力/パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	🎞 📷
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。	

ちょっと一言

- **サマータイムについて**
  サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うため、時間を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。
  本機で［サマータイム］を［入］にすると、設定されている時間より1時間進んだ時間になります。

ETC その他

項目	設定	設定の意味（参照ページ）	モードダイヤルの位置
ディスク残量表示	●オート	次のときにディスク残量を表示する。 • 電源を入れ、モードダイヤルを（動画）または（静止画）にした後、ディスク残量を認識してから8秒間。 • ディスクが入った状態でモードダイヤルを（動画）または（静止画）にしてから8秒間。 • モードダイヤルを（動画）または（静止画）にして、画面表示/バッテリーインフォボタンを押してから8秒間。 • ディスク残量が動画で5分以下、静止画で20枚以下になったとき。 • 外部入力録画を始めてから8秒間。	
	入	ディスク残量を常に表示する。	

ご注意

- 画面設定で［画面表示］が［ビデオ出力/パネル］のとき、画面表示/バッテリーインフォボタンを押すと、本機がテレビやビデオの出力端子に接続されていても、画像が液晶画面に表示されません。
- 電源をはずして5分以上たつと、［プログラムAE］、［フラッシュレベル］、［ホワイトバランス］、［リモコン］、［バイリンガル］はお買い上げ時の設定に戻ります。
  その他の設定項目は電源をはずしても設定を保持します。

ちょっと一言

- 被写体に接近して撮るときに［録画ランプ］が［入］になっていると、録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合は、［録画ランプ］を［切］にすることをおすすめします。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、以下の項目をもう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、電源コードを抜いて、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

液晶画面やファインダーに「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。122ページをご覧ください。

全体操作について

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源ボタンを数秒間押しても動作しない。	●バッテリーが消耗している、消耗が近い、または取り付けられていない。 ●ACアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	→ 充電されたバッテリーを取り付ける。 → コンセントに差し込む。	14 15
本機が振動する。	●ディスクの状態によっては本機が振動することがありますが、故障ではありません。	—	—
[結露マーク]が点滅する。	●結露している。	→ 電源を切り、約1時間放置してからもう一度電源を入れる。	130
[温度マーク] が点滅する。	●本機の温度が極端に高い。	→ 電源を切り、涼しい場所にしばらく放置する。	123
動作音が本機から定期的に聞こえる。	●ディスクの回転音です。故障ではありません。	—	—
振動が手に感じられる。または、操作中にかすかな音が聞こえる。	●ディスクドライブによるものです。故障ではありません。	—	—
長時間使用すると本機が熱くなる。	●故障ではありません。	—	—
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	●設定画面の ETC （その他）で[リモコン]を[切]にしている。 ●リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。 ●リモコンのボタン電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。 ●ボタン電池そのものの寿命。	→ [入]にする。 → 障害物を取り除く。 → ⊕極と⊖極を正しく入れる。 → 新しいボタン電池に交換する。	112 — 138 138

全体操作について

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源が入っているのに操作できない。	●周囲の温度が極端に高い。	➔ 本機の電源を切り、涼しい場所にしばらく放置する。	—
	●本機に強い衝撃を与えた。	➔ 本機が壊れている可能性があります。テクニカルインフォメーションセンターにご連絡ください。	—
	—	➔ バッテリーまたはACアダプターの電源コードを取りはずし、約1分後再び取り付けて電源を入れる。それでも操作できないときは、RESET(リセット)ボタンを先のとがったもので押す。(この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。)	15
電源が入っているのに記録、編集、ファイナライズ、ファイナライズ解除、初期化、およびディスクの取り出しができない。	●本機の温度が著しく高くなっている。	➔ 電源を切り、涼しい場所にしばらく放置する。	—

バッテリー、電源について

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
バッテリーの消耗が早い。	●周囲の温度が極端に低い。	—	—
	●充電が不充分。	➔充電する。	15
	●バッテリーそのものの寿命。	➔新しいバッテリーに交換する。	14
バッテリー残量表示が正しくない。	●温度が極端に高い、または低いところで長時間使用している。	—	—
	●バッテリーそのものの寿命。	➔新しいバッテリーに交換する。	14
	●バッテリーが消耗している。	➔充電されたバッテリーを取り付ける。	14
	●バッテリー残量表示画面に問題が起こった。	➔満充電すると残量が正しく表示される。	15

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

バッテリー、電源について

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
バッテリーを充電できない。	●本機の電源が入っている	➔電源を切る。	18
バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。	●バッテリー残量表示画面に問題が起こった。 ●バッテリー残量時間が20分程度あっても周囲の温度が低いとバッテリーの使用時間が短くなる。	➔満充電する。残量が正しく表示される。 ➔充電する。	15 15
バッテリーを充電中、電源/充電ランプが点灯していない。	●充電が完了している。 ●バッテリーが正しく取り付けられていない。	— ➔正しく取り付ける。	— 14
バッテリーを充電中に電源/充電ランプが点滅する。	●バッテリーが正しく取り付けられていない。 ●バッテリーが故障している。	➔正しく取り付ける。 ➔症状が消えないときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。	14 127

ディスクについて

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ディスク残量表示が出ない。	●設定画面の ETC （その他）で[ディスク残量表示]が[オート]になっている。	➔常にディスク残量を出したいときは[ディスク残量表示]を[入]にする	113
ディスクが取り出せない。	●電源（バッテリーやACアダプター）がはずれている。 ●バッテリーが消耗している。 ●結露している。 ●ファイナライズ中に本機の電源を切ったため、ファイナライズ中断状態になっている。	➔電源をきちんと取り付ける。 ➔充電されたバッテリーを取り付ける。 ➔電源を切り、約1時間放置する。 ➔電源を入れ、ファイナライズを終了させてから、ディスクを取り出す。	15 14 130 62
他の機器でディスクに追加録画できない。	●本機で録画したディスクは他の機器では追加録画できない場合があります。	—	—

液晶画面、ファインダーについて

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
液晶画面またはファインダーに見慣れない画面が現れる。	●ディスクを入れずにモードダイヤルを 🎞(動画)にして約10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まる。	➔ ディスクを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできる。	111
ファインダーの画像がはっきりしない。	●視度調整が正しくない。	➔ 視度調整する。	21
ファインダーの画像が消えている。	●液晶画面が開いている。	➔ 液晶画面を閉じる。	19
液晶画面の文字が反転する。	●対面撮影時におこる現象で、故障ではありません(出力したモニターでも反転しますが故障ではありません)。	—	32
液晶画面に画像が残る。	●電源を入れた状態でバッテリーをはずしたり、DCプラグを抜いたためで、故障ではありません。	—	—

撮影について

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート/ストップボタンやフォトボタンを押しても動画や静止画が撮影できない。	●モードダイヤルが ▶(見る/編集)になっている。	➔ 🎞(動画)または 📷(静止画)にする。	18
	●ディスクの空き容量がない。	➔ 新しいディスクを入れるか、初期化する(DVD-RWの場合のみ)。	71
	●ディスクがファイナライズされている。	➔ ファイナライズ解除する(DVD-RWの場合のみ)。または新しいディスクを入れる。	69
	●静止画と動画を繰り返し切り換えて撮影すると、ディスク残量が減り、動画が撮れなくなる場合がある。	—	—

故障かな？と思ったら（つづき）

撮影について

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源が途中で切れる。	•バッテリーを取り付けて本機の電源を入れたまま、何も操作をしない状態が5分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐために自動的に電源が切れる。 •バッテリーが消耗している。	→ 電源ボタンを数秒間押して電源を入れる。 → 設定画面の(初期設定)で[自動電源オフ]を[なし]にする。 → 充電されたバッテリーを取り付ける。	18 111 14
手ぶれ補正が働かない。	•設定画面の（カメラ設定）で[手ぶれ補正]が[切]になっている。	→ [入]にする。	108
オートフォーカスが働かない。	•手動ピント合わせになっている。 •オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	→ フォーカスボタンを押して自動調整にする。 → 手動でピントを合わせて撮影する。	49 49
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	•背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	—	—
明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。	•スミア現象といい、故障ではありません。	—	—
画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。	•Super NightShot plusやColor Slow Shutterのときに出る現象で、故障ではありません。	—	—
画面が明るくなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化する。	•蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で、プログラムAEの設定を[ソフトポートレート]や[スポーツレッスン]にして撮影した。	→ プログラムAEを解除する。	48
画像の色が正しくない。	•NIGHTSHOT PLUSスイッチが「入」になっている。	→ 「切」にする。	42
画面が白すぎて画像が見えない。	•明るいところでNIGHTSHOT PLUSスイッチを「入」にしている。 •逆光補正()が働いている。	→ 「切」にする。 → 逆光補正ボタンを押して解除する。	42 40

撮影について

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
シャッター音が出ない。	●設定画面の ETC (その他)で[おしらせブザー]が[切]になっている。	→ [おしらせブザー]を[メロディー]または[ノーマル]にする。	112
テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。	—	→ 設定画面の (カメラ設定)で[手ぶれ補正]を[切]にする。	108
録画が止まる。	●本機の温度が極端に高い。	→ 本機の電源を切り、涼しい場所にしばらく放置する。	—
実際の動画の録画時間が目安とされている時間より短い。	●動きの速い映像を撮影すると、録画時間が短くなる。	—	—

本機でのディスク再生について

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
再生できない。	●ディスクが入っていない。	→ ディスクを入れる。	24
	●片面ディスクが裏返しに入っている。	→ ラベル面を外側にしてディスクを入れ直す。	24
	●モードダイヤルが (動画)または (静止画)になっている。	→ (見る/編集)にする。	18
	●本機では再生できないディスクを再生しようとした。	→ ディスクの種類を確認する。	6
	●本機以外で記録したディスクを再生しようとした。	→ 本機以外で記録したディスクは再生できないことがある。	—
画像が乱れる。	●ディスクが汚れている。	→ 付属のクリーニングクロスできれいにする。	—
音声が小さい。または聞こえない。	●音量を最小にしている。	→ 音量を大きくする。	55
	●液晶画面を閉じている。	→ 液晶画面を開く。	19

故障かな？と思ったら（つづき）

他機でのディスク再生について

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
再生できない、またはディスクが認識されない。	●ディスクが汚れている。	→ 付属のクリーニングクロスできれいにする。	ー
	●ディスクがファイナライズされていない。	→ ディスクをファイナライズする。	62
	●VRモードで記録したディスクを、モードの再生に対応していない機器で再生しようとした。	→ 再生機器の取扱説明書で、その機器がVRモードの再生に対応しているかを確認する。対応していない場合は再生できません。	ー
画像が乱れる。	●ディスクが汚れている。	→ 付属のクリーニングクロスできれいにする。	ー
各場面のつなぎめで、再生画像が一瞬止まる。	●再生するDVDプレーヤーによっては、場面のつなぎめで再生画像が一瞬止まることがあります。	–	ー
⏮ ボタンを押しても前の場面に移動しない。	●本機で自動的に作成された2つのタイトルをまたぐと、⏮ ボタンを押しても場面に移動しないことがあります。	→ メニュー画面から選んで移動させる。再生機器の取扱説明書をご覧ください。	ー

編集について

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
編集ボタンを押しても編集画面が表示されない。	●モードダイヤルが 🎞（動画）または 📷（静止画）になっている。	→ ▶（見る/編集）にする。	18
	●DVD-R を使用している。	→ DVD-Rは編集できません。	ー
	●DVD-RWをVIDEOモードで初期化している。	→ VRモードで初期化する（この場合、記録されていたデータは全て削除される）。	71
プレイリストに登録できない。	●登録した場面数が999を超えた。	→ 不要な場面を削除するか、静止画を一括で登録する。	75,76
	●ディスクの空き容量がない。	→ 不要な場面を削除する。	83
分割できない。	●極端に記録時間の短い動画は分割できない。	–	ー
	●動画変換された静止画は分割できない。	–	ー
	●他機でプロテクト（誤消去防止）をかけた動画は分割できない。	→ プロテクトをかけた機器でプロテクトを解除する。	ー

編集について

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
削除できない。	•他機でプロテクト(誤消去防止)をかけた動画は削除できない。	→ プロテクトをかけた機器でプロテクトを解除する。	―
編集できない。	•本機以外の機器で編集しようとしている。	→ 本機で記録したディスクは他の機器では編集できない場合がある。	―

その他

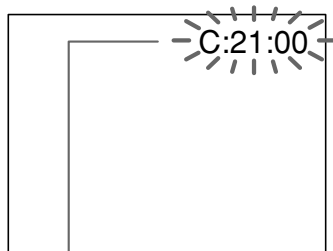
こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ディスクタイトルを入れられない。	•ディスクがファイナライズされている。	→ DVD-RWの場合はファイナライズ解除する。DVD-Rはファイナライズした後にタイトルを入れることはできません。	69
	•ディスクタイトルが本機以外で作成されている。	→ この場合は、ディスクタイトルを入れられないことがある。	―
静止画が動画に変換できない。	•静止画の撮影枚数が極端に多い場合などは、ディスクの空き容量が少なくなるため、変換できない。	→ 不要な場面を削除する。	83
外部入力しているのに液晶画面やファインダーに画像が映らない。	•設定画面の ETC (その他)で[画面表示]が[ビデオ出力/パネル]になっている。	→ [パネル]にする。	112
	•ビジュアルインデックス画面が表示されている。	→ ビジュアルインデックスボタンを押して画面を消す。	―
おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。	•結露している。	→ 電源を切って約1時間放置してからもう一度電源を入れる。	130
	•本機に異常が発生している。	→ ディスクを入れ直し、再度操作する。	―
付属のUSBケーブルでつないでも、画像を取り込めない。	•USBドライバのインストールが完了する前に、本機とパソコンをつないだため、USBドライバが誤って登録された。	→ 正しくインストールする。	92

自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、液晶画面またはファインダーにアルファベットと数字の5桁の表示で症状をお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面またはファインダー

自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせいただく状態

表示	原因	対応のしかた	参照ページ
C:04:□□	"インフォリチウム"以外のバッテリーを使用している。	"インフォリチウム"バッテリーをご使用ください。	15, 127
C:13:□□	ディスクが不良です。	本機に対応したディスクをご使用ください。	6
C:21:□□	結露している。	約1時間放置してからもう一度電源を入れてください。	130
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	• ディスクを入れ直し、再度操作してください。 • 電源をいったん取りはずし、取りつけ直してから再度操作してください。	24
E:20:□□ E:61:□□ E:62:□□ E:93:□□ E:94:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	修理が必要と思われます。テクニカルインフォメーションセンターにご連絡ください。	裏表紙

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

警告表示

液晶画面またはファインダーには、次のような表示が出ます。

詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。

１００−０００１ ファイル関連の警告

遅い点滅

- ファイルが壊れている
- 本機では扱えないファイル

Ｃ：２１：００ 自己診断表示（122ページ）

ディスク関連の警告

遅い点滅

- ディスクが入っていない*
- 動画撮影時にディスク残量が5分を切った
- 静止画撮影時にディスク残量が20枚を切った
- 本機と異なるテレビカラーシステムで記録されたディスクが入っている*

速い点滅

- 認識できないディスクが入っている*
- モードダイヤルが（動画）、または（静止画）のときにVIDEOモードでファイナライズされたディスクを入れた
- 本機ではディスクの容量がいっぱいである*
- 著作権保護の信号が記録されたディスクが入っている*
- 片面のディスクを裏表逆に入れているため、読み出しや記録ができない

⏏ ディスクを取り出す必要がある警告*

速い点滅

- 本機では認識できないディスクが入っている
- ディスクの容量がいっぱいである
- 著作権保護の信号が記録されたディスクが入っている
- 本機と異なるテレビカラーシステムで記録されたディスクが入っている

ディスク関連の警告

速い点滅

- 本機では認識できないディスクが入っている

バッテリー残量に関する警告

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない
  使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が20分程度でも警告表示が点滅することがあります。

速い点滅

- バッテリーエラー

結露の警告*

速い点滅

- ディスクが結露している
  電源を切って約1時間放置します（130ページ）。

温度の上昇関連の警告

速い点滅

- 本機の温度が著しく上昇している*

遅い点滅

- 本機の温度が上昇中である

フラッシュ（別売り）関連の警告

遅い点滅

- フラッシュ充電中*

速い点滅

- 別売りのフラッシュに異常がある

* 警告表示/お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

こんなメッセージが出たら

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。
メッセージにしたがって操作してください。

メッセージ	原因・対策	参照ページ
“インフォリチウム”バッテリーをつかってください	ー	15,127
バッテリーを取りかえてください	充電したものと交換する。	14
このバッテリーは古くなりました　取りかえてください	バッテリーが古くなったので、新しいものと交換する。	14
結露しています*1	電源を切って約1時間放置する。	130
結露しています しばらくしてから取り出してください*1	ディスクを取り出さずに、電源を切って約1時間放置する。	130
高温のため記録できません*1	本機の温度が高くなっているため、記録できない。電源を切って涼しい場所でしばらく放置する。	ー
高温のためディスクは取り出せません しばらくお待ちください*1	電源を切って涼しい場所でしばらく放置してから、ディスクを取り出す。	ー
記録できません*1*2	ディスクに異常があり、記録できない。	ー
動画用ディスク領域がいっぱいです*1	動画用の記録領域がいっぱいである。	ー
シーン数がいっぱいです*1	動画のシーン数、または静止画の記録枚数が最大数に達している。	ー
ディスクがいっぱいです*1	ディスクの空き容量がなく、動画も静止画も記録できない。	ー
再生できません*1	本機に対応していないディスクを再生しようとした。	6
編集できません*1	動画も静止画も記録されていないディスクで編集しようとした。	ー
ファイナライズ済みのディスクです*1	ファイナライズ済みのディスクをファイナライズしようとしている。	ー
ファイナライズ済みです 記録できません*1	ファイナライズ済みのDVD-Rへ記録しようとした。	ー
ファイナライズ解除してください*1	ファイナライズ済みのVIDEOモードのDVD-RWへ記録しようとした。	69
データを修復できませんでした*1*2	データを修復できないため、新しいディスクを使用する。	ー
データを修復できませんでした 初期化してください*1*2	データを修復できないため、ディスクを初期化する。（DVD-RWのみ）	71

メッセージ	原因・対策	参照ページ
ディスクがプロテクトされています*1	他の機器でプロテクトをかけたディスクが入っている。プロテクトをかけた機器で解除する。	—
ダビングプロテクトされています 録画できません*1	著作権保護のための信号が記録されている映像は録画できない。	—
ディスクエラー*1	本機に対応していないディスクが入っている。またはディスクに傷がある、裏返しに入っているなどの原因で認識ができない。	6
フォーマットエラー*1	本機と異なるフォーマットのディスクが入っている。DVD-RWの場合は初期化を行えば使用できる場合もある。	71
アクセスエラー*1	ディスクへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。	—
充電中です*1	別売りのフラッシュの充電中は本機を操作できない。	—

*1 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「お知らせブザー」が鳴ります。

*2 本機ではディスクに正常な記録がされなかった場合、次回起動時に自動的にデータの修復を試みます。

ディスクについて

使えるディスク

本機で使用できるディスクは、8cmDVD-Rと8cmDVD-RWのみです。DVD-R または DVD-RW マークのついたディスクをお使いください。

ご注意

本機との互換性が確認されているソニー製のディスクを使用することをおすすめします。推奨ディスクについては6ページをご覧ください。

ディスク使用時のご注意

- ディスクは記録/再生面（印刷されていない面）に手を触れないように持ちます。

- 撮影の前にディスクの汚れ、指紋などを同梱のクリーニングクロスで拭き取ってください。ディスクの状態によっては正常な記録・再生ができない場合があります。
- ディスクを装着する際は、カチッという音がするまで確実に取り付けてください。本機の液晶画面に［C：13：□□］が表示された場合は、ディスクカバーを開け、もう一度ディスクを装着し直してください。
- ディスクには、ラベルなどの粘着性のあるものを貼らないでください。ディスクのバランスが崩れると回転ムラが生じ、故障の原因となることがあります。

お手入れと保管

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 付属のクリーニングクロスでディスクの中心から外側へ向かって軽く拭きます。汚れのひどいときは、水で少し湿らせたやわらかい布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

- 直射日光の当たるなど温度の高い場所や、湿度の高い場所には置かないでください。
- 持ち運びや保管の際は付属の収納ケースに入れてください。
- ディスクに文字などを記入する場合は、印刷されている面に記入してください。ボールペンなどの先の硬いものは避け、油性フェルトペンで記入し、インクが乾くまで放置してください。また、加熱による乾燥は避けてください。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリーMシリーズには InfoLITHIUM M マークがついています。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター/チャージャーを使用すると、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- 本機をご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、電源/充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜くかバッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。安心してより長い時間ご使用いただくために、次のことをおすすめします。
  - –バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取りつける。
  - –高容量バッテリー「NP-QM71/QM71D/QM91/QM91D（別売り）」を使用する。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-QM71/QM71D/QM91/QM91D（別売り）」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影または再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にDVD-RW（別売り）でためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

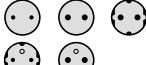
バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安としてお使いください。
- バッテリー残量時間が20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、設定画面の （初期設定）→［自動電源オフ］を［なし］に設定して、ディスクを入れずに電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

海外で使う

付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V・50/60Hz）で使えます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、**電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。**

ご注意

電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米など	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	**不要です。** ACアダプターのプラグを直接差し込みます。	

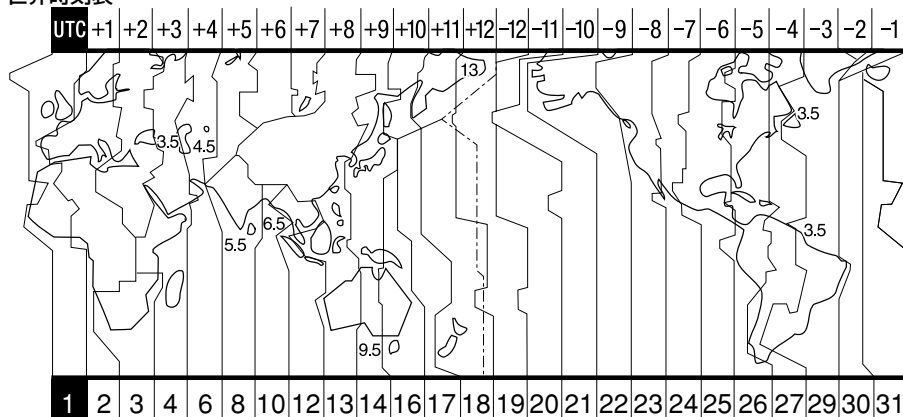
日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

本機の映像信号はNTSC方式です。再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- ガイアナ
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- サモア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダード・トバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

時差補正機能について

海外でお使いになるときは、設定画面のETC（その他）の項目から［エリア設定］と［サマータイム］を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます。詳しくは22ページをご覧ください。

世界時刻表

エリア	時差	地名・国名
1	GMT	リスボン、ロンドン
2	+01:00	ベルリン、パリ
3	+02:00	ヘルシンキ、カイロ
4	+03:00	モスクワ、ナイロビ
5	+03:30	テヘラン
6	+04:00	アブダビ、バク
7	+04:30	カブール
8	+05:00	カラチ、イスラマバード
9	+05:30	カルカッタ、ニューデリー
10	+06:00	アルマトイ、ダッカ
11	+06:30	ラングーン
12	+07:00	バンコク、ジャカルタ
13	+08:00	ホンコン、シンガポール
14	+09:00	トウキョウ、ソウル
15	+09:30	アデレード、ダーウィン
16	+10:00	メルボルン、シドニー

エリア	時差	地名・国名
17	+11:00	ニューカレドニア
18	+12:00	フィジー、ウェリントン
19	−12:00	エニウェトク、クエジェリン
20	−11:00	サモア
21	−10:00	ハワイ
22	−09:00	アラスカ
23	−08:00	サンフランシスコ、ティファナ
24	−07:00	デンバー、アリゾナ
25	−06:00	シカゴ、メキシコシティ
26	−05:00	ニューヨーク、ボゴタ
27	−04:00	セントジョン、サンティアゴ
28	−03:30	ニューファンドランド
29	−03:00	ブラジリア、ブエノスアイレス
30	−02:00	フェルナンド デ ノローニャ
31	−01:00	アゾレス、カボベルデ

取り扱い上のご注意とお手入れ

使用・保管について

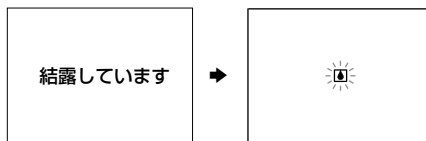
使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因となります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- テレビやラジオ、チューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。
- 窓際や室外などファインダーや液晶画面、レンズが太陽に向いたままとなる場所
  ファインダー内部や液晶画面を傷める原因となります。

本機を長時間使用しないときは

- 本機からディスクを取り出しておいてください。
- 本機の性能を維持するために定期的に本機の電源を3分間入れ、動画と静止画の撮影、および再生をおこなってください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるピックアップレンズやディスクに水滴が付くことで、故障の原因になります。結露が起こると、次のように警告表示が出ます。

（5秒間表示）

結露が起きたときは

電源を切って、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ちこんだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

お手入れ

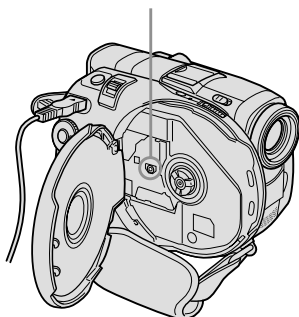
- 液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、付属のクリーニングクロスを使ってきれいにすることをおすすめします。
  別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキットを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れがひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり、塗装を傷めたりすることがあるので、次のような取り扱いは避けてください。

– シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け・殺虫剤のような化学薬品類
– 上記が手についたまま本機を扱うこと
– ゴムやビニール製品との長時間の接触

ピックアップレンズについて

- 本機のピックアップレンズ（ディスクカバーの内側）に触れないでください。また、ほこりがつかないように、ディスクを出し入れするとき以外はディスクカバーを閉じておいてください。

- ピックアップレンズが汚れて本機が動作しなくなったときは、市販のブロアーを使ってクリーニングしてください。ピックアップレンズに直接触れてのクリーニングはしないで下さい。故障の原因となります。

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などがついたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使用したときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたってご使用いただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し約3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源を切って24時間以上放置する。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

システム

録画方式	DVD-Video DVD-VR（DVD-RWのみ）
録音方式	2チャンネル Dolby Digital（ステレオ）
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能ディスク	8cm DVD-RまたはDVD-RW
記録フォーマット	DVD-VideoRecording：VRモード DVD-VIDEO：VIDEOモード 静止画記録方式：Exif* Ver.2.2
映像圧縮方式	MPEG2/JPEG（静止画）
録画/再生時間	HQ：約20分 SP：約30分 LP：約60分
ファインダー	電子ファインダー：カラー
撮像素子	3.6 mm（1/5型）CCD固体撮像素子 総画素数：約107万画素 静止画時有効画素数：約100万画素 動画時有効画素数：約69万画素
レンズ	カールツァイス　バリオテッサー 10倍（光学）、120倍（デジタル） フィルター径25mm F値=1.8-2.3 f（焦点距離）：3.2 - 32mm 35mmカメラ換算： 46 - 460mm（動画撮影時） 38 - 380mm（静止画撮影時）
色温度切り換え	オート、 ホールド、 屋内（3 200K）、 屋外（5 800K）
最低被写体照度	15 lx（ルクス）（F1.8） 0 lx（ルクス）（NightShot plus時）**

*（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のフォーマットです。
** 明るさが足りないために視認できない被写体を、赤外線ライトを使用して撮影可能にすること

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

入・出力端子

映像/音声入出力端子	AVミニジャック 入力/出力自動切替え 映像：1 Vp-p、75Ω不均衡 音声：327mV、（47kΩ負荷時） 出力インピーダンス 2.2kΩ以下 入力インピーダンス 47kΩº以上
USB端子	mini-B
REMOTE（リモート）端子	ステレオミニミニジャック（Ø2.5mm）
MIC（マイク）端子	ステレオミニジャック（Ø3.5mm）

液晶画面

画面サイズ	8.8cm（3.5型）
総ドット数	123 200ドット 横560×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力（バッテリー使用時）	液晶画面使用時：4.4W ファインダー使用時：4.1W
動作温度	0 ℃ ～ +40 ℃
保存温度	–20 ℃～ +60 ℃
外形寸法（最大突起部を除く）	71.8×88×136mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約 570g（本体のみ） 約 675g（バッテリーパック、ディスク、レンズキャップを含む）
付属品	レンズキャップ（1） ワイヤレスリモコン（1） AV接続ケーブル（1） クリーニングクロス（1） 取扱説明書（1） 安全のために（1） 保証書（1） ACアダプター（1） 電源コード（1） バッテリーパック NP-FM50（1） USBケーブル（1） CD-ROM SPVD-011（1） 8cm DVD-R DMR30（1）

主な仕様（つづき）

ACアダプター　AC-L15A/L15B

電源	AC100〜240V、50/60Hz
消費電力	18W
定格出力	DC8.4V、1.5A
動作温度	0 ℃ 〜 +40 ℃
保存温度	–20 ℃ 〜 +60 ℃
外形寸法 （最大突起部をのぞく）	約 56×31×100mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約 190g（本体のみ）

リチャージャブルバッテリーパック NP-FM50

最大電圧	DC 8.4V
公称電圧	DC 7.2V
容量	8.5wh（1 180mAh）
最大外形寸法	約 38.2×20.5×55.6mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約 76g
使用温度	0 ℃ 〜 +40 ℃
使用電池	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

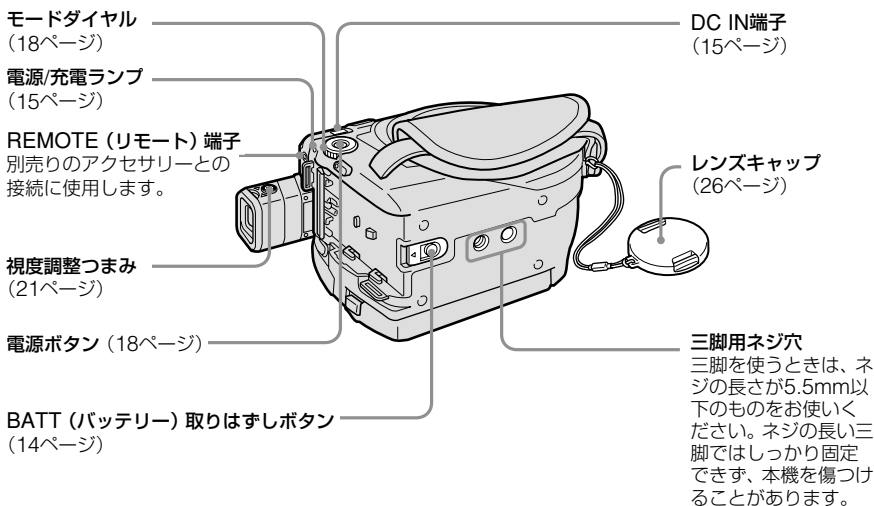
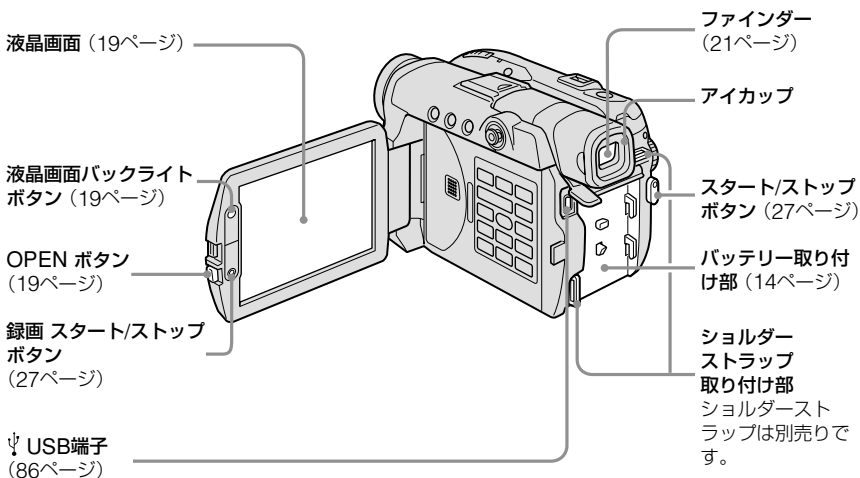
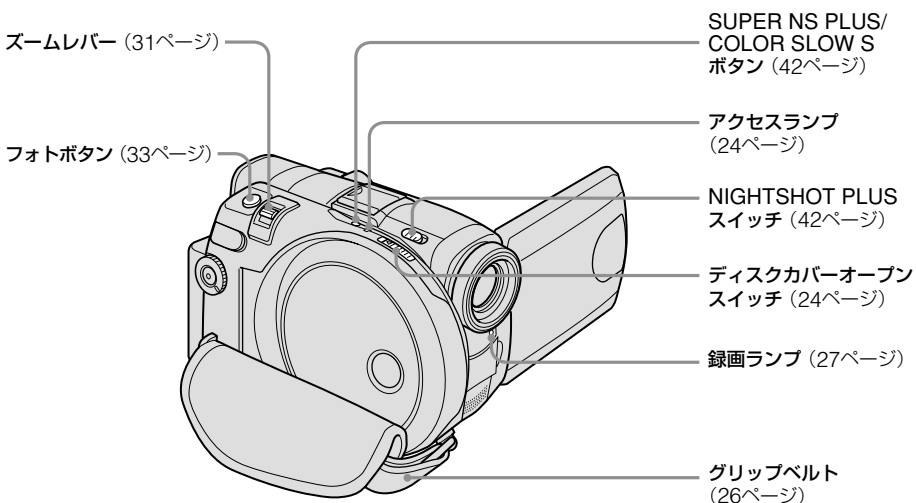
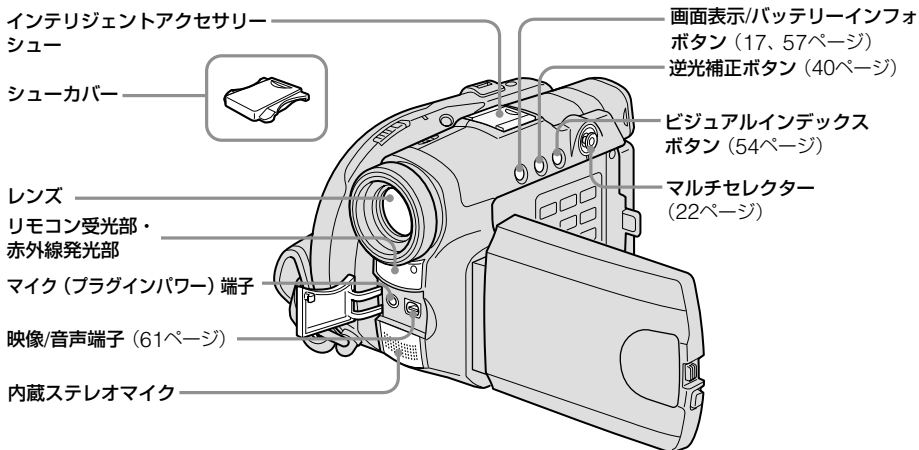
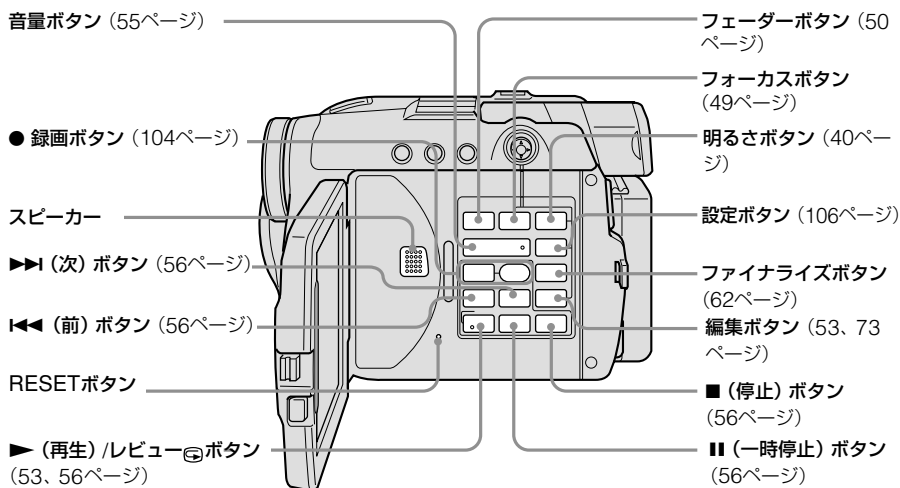
各部のなまえ

使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

本体

各部のなまえ（つづき）

インテリジェントアクセサリーシュー
シューカバー
レンズ
リモコン受光部・赤外線発光部
マイク（プラグインパワー）端子
映像/音声端子（61ページ）
内蔵ステレオマイク
画面表示/バッテリーインフォボタン（17、57ページ）
逆光補正ボタン（40ページ）
ビジュアルインデックスボタン（54ページ）
マルチセレクター（22ページ）

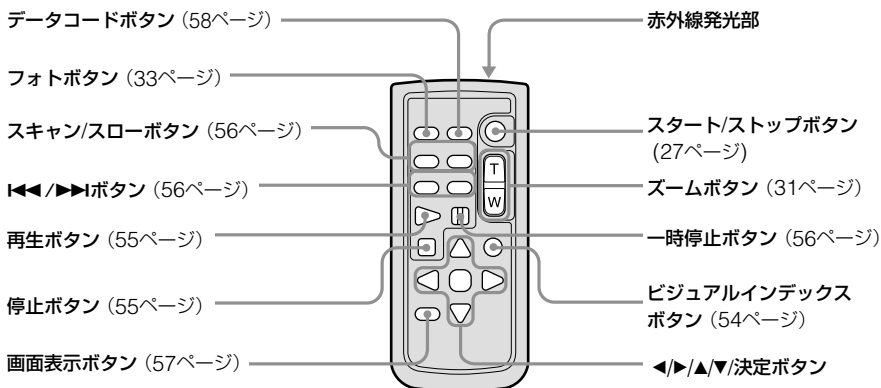
ズームレバー（31ページ）
フォトボタン（33ページ）
SUPER NS PLUS/COLOR SLOW Sボタン（42ページ）
アクセスランプ（24ページ）
NIGHTSHOT PLUSスイッチ（42ページ）
ディスクカバーオープンスイッチ（24ページ）
録画ランプ（27ページ）
グリップベルト（26ページ）

Intelligent Accessory Shoe

インテリジェントアクセサリーシューについて

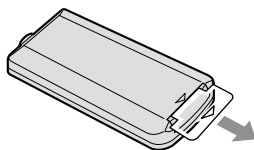
- インテリジェントアクセサリーシューを使用するときは、ファインダーを伸ばして、付属のシューカバーを取りはずしてください。
- 別売りの専用マイクなどをお使いになると、本機から電源を供給できます。
- 本機の電源スイッチに連動して、アクセサリーの電源の入/切ができます（お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください）。
- 取り付けたアクセサリーがはずれて落ちたりしないように、はずれにくい構造になっています。アクセサリーを取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、取り付けネジを確実に締め付けてください。
- アクセサリーを取りはずすときは、取り付けネジをゆるめ、上から押しながらはずしてください。

別売りの外部マイクを使う場合

マイク（プラグインパワー）端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。外部マイクを接続すると、外部マイクが優先されます。

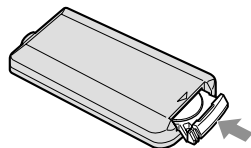
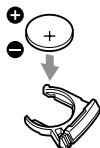
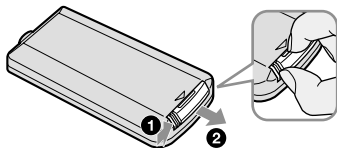
次のページへつづく

ワイヤレスリモコン

初めて使うときは

図のように、絶縁シートを抜いてください。

電池の交換のしかた

❶ 押しながらずらす。

❷ ボタン型リチウム電池を取り出し、新しい電池を+面を上にして入れる。

❸ 元に戻す。

ご注意

ワイヤレスリモコンについて

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

ファインダーと液晶画面の表示

液晶画面とビューファインダーの表示

撮影時

録画モード（29ページ）

バッテリー残量（17ページ）

ズーム（31ページ）、明るさ（40ページ）

フェーダー（50ページ）、ワイドTVモード（45ページ）、エフェクト（51ページ）

ホワイトバランス（47ページ）

手ぶれ補正「切」（108ページ）

逆光補正（40ページ）

プログラムAE（48ページ）

手動フォーカス（49ページ）

連写（38ページ）、外部フラッシュ（107ページ）、赤目軽減（107ページ）

撮影スタンバイ/撮影中（27ページ）、画像サイズ（36ページ）、画質（35ページ）

AE/AFロック（34ページ）

カウンター、静止画撮影済枚数（33ページ）、自己診断（122ページ）

ディスクの種類（6ページ）

記録フォーマット（6ページ）

液晶画面バックライト「切」（19ページ）

ディスク残量（29ページ）、静止画撮影可能枚数

セルフタイマー（44ページ）

NightShot plus（42ページ）、Super NightShot plus（42ページ）、Color Slow Shutter（43ページ）

警告（123ページ）

再生時

各部のなまえ・索引

索引

ア行

明るさ調節 40
一時停止 56
インテリジェント
　アクセサリーシュー 137
“インフォリチウム”
　バッテリー 127
液晶画面 19
液晶画面の表示 139
オーバーラップ 50
オールドムービー 51
お知らせブザー 123

カ行

カウンター 29
画質 35,108
画像サイズ 36,108

画面表示 57
カラースローシャッター 43
カラーテレビ方式 128
記録フォーマット 7
逆光補正 40
グリップベルト 26
警告表示 123
結露 130
広角 31

サ行

再生時間 16
再生ズーム 59
削除 53, 83
撮影可能時間 16
サブ（音声）....................... 110
サマータイム 22,112
サンセット＆ムーン 48
自己診断表示 122
時差補正 129
視度調整 21
充電 15
充電式ボタン電池 131
初期化 71
消去（プレイリスト）........... 76
ショルダーストラップ 135
ズーム 31
スタンダード（画質）........... 35
スーパーナイトショット
　プラス 42
スポーツレッスン 48
スポットライト 48
スライドショー 60
スロー再生 56
赤外線発光部 42,138
設定項目 107
セピア 51
セルフタイマー撮影 44,108
ソフトポートレート 48

タ行

タイトル 99
対面撮影 32
ディスク 6,126
ディスク残量表示 113
ディスクタイトル 64
ディスクダビング 96
データコード 58
デジタルエフェクト 51
デジタルズーム 31
手ぶれ補正 108
デモモード 111
テレビ 45,61,104

ナ行

並び換え 77
ナイトショットプラス 42
ノーマル（連写）.................. 38
ノーマルフェーダー 50

ハ行

バイリンガル 110
バッテリー 14
バッテリーインフォ 17
パステル 51
バッテリー残量 29
ピクチャーエフェクト 51
ビジュアルインデックス 54
ビーチ＆スキー 48
日付・時刻合わせ 22
日付・時刻表示 29,58
ピント合わせ 49
ファイナライズ 62
ファイナライズ解除 69
ファイン（画質）.................. 35
ファインダー 21
風景（フウケイ）.................. 48
フェーダー 50
フェードイン・
　フェードアウト 50
フォーカス 49
フォトムービー 63,75
フォルダ 68
ブラケット撮影 38
フラッシュ 107
プレイリスト 73
プログラムAE 48
分割 79,82
望遠 31
ホワイトバランス 47

マ行

マイク端子 136
マルチセレクター 22
満充電 16
メイン（音声）.................... 110
モザイク 51
モノトーン 51

ラ行

リセット 110,137
リモート端子 135
リモコン 138
リモコン受光部 136
ルミキー（ルミナンスキー）...... 51
レビュー 53
連写 38
録画モード 29

ワ行

ワイドTVモード 45
ワイプ 50

アルファベット順

ACアダプター 15
AV接続ケーブル ....
　............... 61,102,104,110
Color Slow Shutter 43
DVD-R 6
DVD-RW 6
FINE（ファイン）................ 35
HQ（録画モード）.............. 29
ID-1方式 45
ID-2方式 45
ImageMixer 87
JPEG 37
LP（録画モード）................ 29
NightShotライト 43
NightShot plus 42
NTSC方式 128
RESET（リセット）ボタン
　..................................... 137
S1映像端子 45,61,102,104
SP（録画モード）................ 29
STD(スタンダード) 35
Super NightShot plus 42
USBスピード 85,111
USB端子 88,135
VIDEOモード 7
VRモード 7

商標について

- DVD-VIDEO、DVD-RW、DVD-Rロゴは商標です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- "PlayStation"および"PSX"は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac OS は、Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

カスタマーご登録のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。
詳しくは付属の「デジタルイメージング カスタマー登録のお勧め」をご覧ください。

■カスタマー登録および登録内容の変更はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/di-regi/

■カスタマー登録に関するお問い合わせは
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク
電話： 0466-38-1410
受付時間： **月～金曜日　午前10時～午後6時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■ デジタルイメージングカスタマーサポート
デジタルハンディカムとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

■ テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、
および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。
修理に関するご案内をさせていただきます。
また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。
電話：0564-62-4979
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話される前にあらかじめ以下の内容をご用意いただきますとより迅速な対応が可能になります。
① お客様のデジタルイメージングカスタマーID
（既にカスタマー登録されたお客様にはカスタマーIDが発行されています）
② 本機の型名（DCR-DVD301）および製造番号
（保証書などに記載されています）

■ ピクセラユーザーサポートセンター
ImageMixerに関するお問い合わせはこちらへ
電話：06-6633-3900
受付時間：月～日曜日　午前9時～午後5時（年末、年始、祝日を除く）

■ ハンディカムホームページ
ハンディカムの活用法やアクセサリー情報、パソコンへの画像取りこみ方法を掲載しています。
http://www.sony.co.jp/cam/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35　http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

2186668020